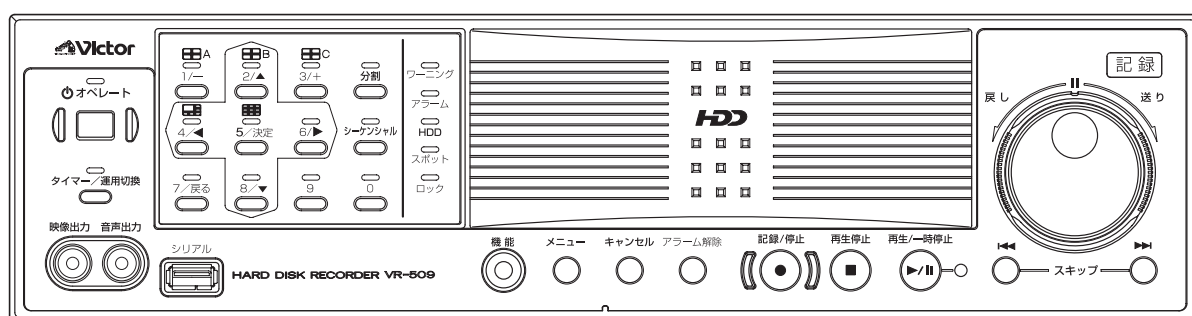


ハードディスクレコーダー

型名 **VR-509N**
VR-509BN

取扱説明書
(B)



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよく読みのうえ、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」は必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の上面後部に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

取り扱い上のご注意

- 本機は精密機器であるハードディスクを搭載しております。振動や衝撃を与えないよう取り扱いには十分ご注意ください。
- 特に通電中やハードディスクへのアクセス中に振動や衝撃を与えると、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 本機を移動する場合は、電源を抜いて約1分間経過してから行なってください。
- 記録・再生の動作中やハードディスクへのアクセス中に、背面の電源スイッチを切ることや電源コードを抜くことをしないでください。故障の原因となります。

目次

はじめに

この取扱説明書の見かた.....	4
おもな特長.....	5
オペレーションロックをする／解除する.....	5
正しくお使いいただくためのご注意.....	6
各部の名称とはたらき（前面）.....	8
各部の名称とはたらき（背面）.....	10
各部の名称とはたらき（信号入出力端子）.....	11

設置と準備

システム接続例（9台のカメラをつなぐ）.....	13
縦置きスタンドの取り付けかた.....	14
電源を入れる／切る.....	14
前面ボタンでオペレート ON / OFF を切り換える.....	15
信号入出力端子でオペレート ON / OFF を切り換える... ..	15
メニュー画面の操作方法.....	16
時刻を設定する.....	17
基本設定をする.....	18

カメラのライブ映像を見る

表示画面の切換.....	20
分割画面の配置を変更する.....	21
モニター出力の設定をする.....	22
シーケンシャルの時間を設定する.....	22
4分割シーケンシャル出力選択.....	23
表示設定.....	23
スポット出力でライブ映像を見る.....	24
手動でスポット出力を変更する.....	24
背面端子の入力でスポット出力を変更する.....	24
非表示カメラ設定.....	25
非表示カメラ（WEB）設定.....	25

カメラ映像を記録する

記録の種類について.....	26
通常記録をする.....	27
外部記録入力端子で通常記録をする.....	27
記録状態を通知する.....	27
記録詳細設定をする.....	28
記録運用設定をする.....	29
動作設定をする （停電復帰動作、記録表示灯動作、ループ記録）.....	31
アラーム記録をする.....	32
アラーム入力端子設定をする.....	33
アラーム記録設定をする.....	34
アラーム記録を停止する.....	34
動き検出機能を使う.....	35
決められた感度で動き検出する.....	35
感度を自由に決めて動き検出する.....	36
動き検出エリア設定をする.....	37
動き検出のチェックモード.....	37
週間タイマー.....	38
日付指定タイマー.....	39

記録した画像を再生する

画像を再生する.....	40
記録中に再生する（記録同時再生モード）.....	40
再生画面の切換.....	41
アラーム検索をする.....	42
日時検索をする.....	43
再生スピードを変える（ジョグ・シャトル再生）.....	43
記録画像をスキップして見る.....	44
記録画像を拡大して見る.....	45
音声出力設定.....	45

目次 (つづき)

便利な機能

オンスクリーン表示の位置を変える	46
カメラタイトル設定	47
カメラ映像を調整する (設置時)	48
オペレーションロックの設定をする	49
ブザー設定	50
信号入出力端子設定	50
ハードディスクのメンテナンス	51
オートスキャンディスク	51
マニュアルスキャンディスク	51
データベースの再構築	52
ハードディスクを初期化する (フォーマット)	52
ハードディスクをミラーリング設定する	53
アラームリストを消去する	54
パスコード設定	55
停電時間リストやログを表示させる	56
システムを再起動する	56
ハードディスク異常時システム復旧機能	56

外部機器を使う

静止画をフラッシュメモリにキャプチャする	57
設定データをフラッシュメモリに保存する	58
設定データをフラッシュメモリから読み込む	58
UPS を接続する	59

パソコンと接続する

こんなことができます	60
接続可能なパソコンの仕様	60
LAN ケーブルで接続する	60
本機のネットワーク設定をする	61
パソコンのネットワーク設定をする	62
ネットワーク接続 (ログイン) する	63

パソコンでライブ画を見る

ライブ画表示画面	64
----------------	----

パソコンで記録予約する

週間タイマーを追加する	65
週間タイマーを変更／削除する	65
日付指定タイマーを追加する	66
日付指定タイマーを削除する	66
タイマーモード	67

パソコンで再生画を見る

アラーム検索	68
日時検索	69
再生画表示画面	70

パソコンを使った便利な機能

カメラタイトルを入力する	71
ライブ画／再生画表示画面の非表示カメラ設定をする	71
アラーム入力時にメールを発報する	72
NTP サーバーで時刻を合わせる	73
NTP サーバーを登録する	73
NTP サーバーの登録を解除する	73
本体の設定値を本機からダウンロードする	74
本体の設定値を本機にアップロードする	75
保守	76
操作ログ	76
記録ログ	76
オープンソース	76
ステータス	76

ネットワークの設定を変更する

ネットワークのアドレス設定をする	77
NAT 対応を設定する	77
アクセスユーザーを登録する	78
アクセスユーザーを確認する	78

※目次は次ページにもあります

目次 (つづき)

パソコンで本体の設定を変更する

モニター出力	79
表示	79
シーケンシャル	79
分割シーケンシャル出力選択	79
非表示カメラ	80
記録詳細	80
記録運用	80
アラーム記録	80
動作	81
音声出力	81
アラーム入力端子	81
信号入出力端子	81
ブザー	81

解説

メニューの流れ	82
メニュー 一覧	86
トラブル時の対応	92
トラブル時の対応 (Web ブラウザ)	96
Web ブラウザ用語解説	98
通常記録のしくみ	99
ループ記録のしくみ	100
プリアラーム記録のしくみ	101
スキップジャンプについて	102
NTP サーバー機能を利用する場合	103
NAT 設定について	104
VR-509N : HDD 記録時間について	106
VR-509BN : HDD 記録時間について	108
ActiveX コントロールとプラグインを有効にする	110

ハードディスクを増設する

外付けハードディスクを新規に増設する場合	111
別の外付けハードディスクに変更する場合	111
外付けハードディスクを切断する場合	112

RS-232Cインターフェース

1. 電気仕様	113
2. RS-232C コマンド一覧	114
3. コマンド詳細	115

その他

保証とアフターサービスについて	123
仕様	124
索引	125

この取扱説明書の見かた

本書は、VR-509NおよびVR-509BNの取扱説明書です。
VR-509NとVR-509BNは、内蔵ハードディスクの容量が異なります。機能や動作は同じです。

機種名	ハードディスク容量
VR-509N	320 GB (160 GB×2)
VR-509BN	500 GB (250 GB×2)

■ 本書では、本機を“VR-509”と記述しています。
機種によって限定される内容に対しては、文末に“(VR-509N)”、“(VR-509BN)”と記述したり、または文頭に“VR-509N : ”、“VR-509BN : ”と記述しています。

■ 操作手順中のボタン名称については [] で囲っています。

例 メニューボタン → [メニュー]

※ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。

はじめに

おもな特長

- **大容量ハードディスク内蔵**
VR-509N : 320 GB
VR-509BN : 500 GB
- **9 チャンネル同時120 イメージ記録**
120 イメージ／秒 の記録が可能です。
- **記録同時再生モード**
記録中であっても再生やジョグ・シャトル再生、スキップ再生が可能です。
- **ダイレクト画面サーチ**
呼び出したい日時・アラーム位置を、すばやく検索できます。
- **停電復帰記録**
記録中に停電が発生した場合、停電復帰後に停電前の記録モードで自動的に記録を開始します。
- **タイマー記録機能**
毎日、毎週のタイマー記録を8プログラムまで設定できます。
- **アラーム記録機能**
記録中にアラーム信号が入ると、メニューで設定したアラーム記録モードへ自動で切り換わります。
- **9 チャンネル非同期カメラ入力対応**
非同期の9台のカメラ映像を同時に、記録・再生が可能です。
- **ネットワーク対応**
LAN接続したパーソナルコンピュータ（パソコン）で、記録画像を見ることができます。またパソコンでのタイトル設定、タイマープログラム設定も可能です。
- **動き検出機能**
設定したエリア内映像の“動き”を自動検出し、アラーム記録を開始させることができます。
- **アラームメール発報機能**
アラーム入力時に、任意のパソコンへメールを発報することができます。
- **保存期間指定ループ記録**
指定した保存期間の記録がハードディスクに保存されません。

オペレーションロックをする／解除する

本機は、誤って電源を切ってしまうたり、いたずらにより記録されてしまうなどを、未然に防止するシークレットオペレーションロックを採用しています。

オペレーションロックする

1. オペレーションロックの設定をする（49ページ）

- オペレーションロックの内容や解除方法を設定します。
 - ※ 設定メニュー表示中や再生中は、オペレーションロックしたり、解除することはできません。
 - ※ オペレーションロック解除方法で「パスコード（モード2）」を選択した場合は、すべてのボタン操作を禁止します。「簡易」または「パスコード（モード1）」を選択した場合は、オペレーションロック項目で選択したボタン操作を禁止します。

2. [機能]を押しながら[決定]を押す

- オペレーションがロックされます。
オペレーションロックモード時、[ロック]表示灯が点灯します。

オペレーションロックを解除する

3. [機能]を押しながら[キャンセル]を押す

- 解除方法に「簡易」を選んだとき
→オペレーションロックが解除されます。
- 解除方法に「パスコード（モード1）」または「パスコード（モード2）」を選んだとき
→パスコード入力画面が表示されます。

パスコードを入力してください

決定を押してください

4.

パスコード（モード1）の場合は、パスコード入力のみ有効です。

パスコード（モード2）の場合は、パスコードまたはサブパスコードを入力します。

- ※ パスコード入力時は、数字の代わりに“*”が表示されます。

4. テンキーでパスコードを入力し、[決定]を押す

- サブパスコード入力時は、任意のオペレーションロックのみ解除されます。（詳しくは、49ページ参照）
サブパスコードによる解除時は、[ロック]表示灯は点灯したままです。
- パスコード入力時は、全てのオペレーションロックが解除されます。
 - ※ [キャンセル]を押すと、それまでの入力がキャンセルされ、はじめから入力のやり直しができます。
(28ページ 「パスコード不適合検出記録」)
(55ページ 「パスコード設定」)

このページのオペレーションロック／解除に関する部分は、防犯上、切り取って保管されることをおすすめします。

正しくお使いいただくためのご注意

ハードディスクドライブについて

ハードディスクドライブ（以下HDD）のデータを読み書きするヘッドとディスクの距離はわずか0.02 μ m程度です。HDDに振動や衝撃が与えられた場合、ヘッドがディスクに衝突し、ディスクの表面に打痕やディスクのかけらが発生することになります。これにより、データが読み出せなくなるばかりか、使用しつづけますとヘッドクラッシュ（損傷）に陥る原因になりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■ 設置時および設置場所の移動について

- 通電中や電源を切った直後（約1分間）は、移動や設置作業は絶対に行なわないでください（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しているため、この間振動や衝撃を与えるとHDD故障の原因になることがあります）。
- 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。

■ 取り扱いについて

- 本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いください。
- 記録・再生の動作中やHDDへのアクセス中に、電源プラグを抜かないでください。
- HDDは消耗品です。10000時間のご使用を目安にメンテナンスしてください（これは25℃環境で使用した時の目安であり、使用環境により異なります）。メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または別紙のサービス窓口案内をご覧ください。最寄のビクターサービスセンターへお願いします。

■ 外付けハードディスクを増設される場合は、システムの安定動作のため、UPS（無停電電源装置）のご使用をおすすめします。（59ページ）

■ ハードディスクのフォーマット、切断処理、ミラーリング設定、ミラーリングの解除などの処理をしているときに停電が発生すると、UPSを接続している場合でも、その後の運用に支障が生じることがあります。

■ 万一本機およびハードディスクドライブ等の不具合により、正常に記録できなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

■ ハードディスクを交換した場合は、記録された画像が消去されます。また、ソフトウェアのバージョンアップによって、記録画像が消去されることがありますので、ご注意ください。

正しくお使いいただくためのご注意（つづき）

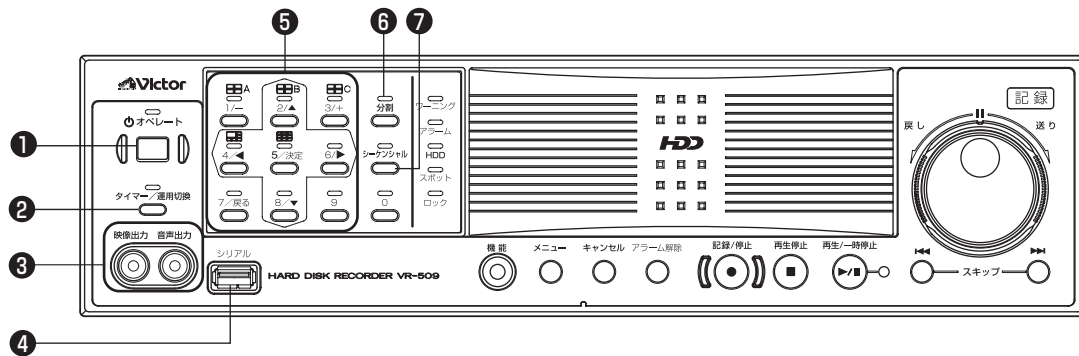
- 付属の電源コードは、本機以外の機器で使用しないでください。誤って使用すると、発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。
- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用したり、指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 輸送するときは、電源コードを抜いた状態で移動してください。
- 次のような場所では保管または使用しないでください。誤動作や故障原因になります。
 - ・ 許容動作温度（5℃～ 40℃）範囲外の極端に暑いところや寒いところ
 - ・ 許容動作湿度（30% ～ 80%）範囲外の湿気の多いところ
 - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - ・ トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ ほこりや砂の多いところ
 - ・ 振動の激しいところ
 - ・ つゆつき（結露）の発生しやすいところ
 - ・ 放射線やX 線、および腐食性ガスの発生するところ
- 機器内部の温度上昇を防ぐため、機器を重ねて使用したりファンの通気孔をふさいだりしないでください。
- 振動する場所、タバコの煙やヤニ、ちりやほこりの多いところでの使用や保管は避けてください。
- 本機を縦置きで使用されるときは、転倒に十分ご注意ください。
- 本機の上にモニターテレビなどの重いものをのせないでください。動作不良をおこす恐れがあります。また、本機を重ねて置かないでください。
- 本機はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふきますと表面が溶けたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。
- 機器設置等で入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去した後、作業を行なってください。
- 静電気により誤動作をする場合がありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。
- 本機底面のフットを外し、再度取り付ける場合、フット取り付け用スクリューは長さが8mm以下のものをご使用ください。
- 本機はオープンソースのソフトウェアを一部使用しています。

これらは本機のご使用には影響はありません。ソフトウェアライセンスに関する情報の表示については本取扱説明書の76ページをご参照ください。
- 短いアラーム記録などで本機に記録されたデータの数が多くなると、検索やバックアップ動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
- テレビ放送や録画（録音）物などから、記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- 分割画面のとき、映像の境目（黒く見える部分）の幅が、入力信号によって異なって見えます。これはカメラ入力信号の特性であり、故障ではありません。本機の調整により改善することができます。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- 節電のため長時間使用しないときは電源を切ってください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものを営利目的、または公衆に試聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

各部の名称とはたらき（前面）



① [オペレート] オペレートボタン・表示灯

オペレートON/OFFを切り換えます。オペレートON時は、表示灯が点灯します。(15ページ)

電源スイッチではありません。電源を切る前に必ずオペレートOFFしてください。

② [タイマー／運用切換] タイマー／運用切換ボタン

「記録詳細設定」メニューの「運用切換ボタン操作」で設定した動作をします。

「運用切換ボタン操作」が“プログラムタイマー”のとき

タイマー運用にします。もう一度押すと、タイマー運用を解除します。タイマー運用のときに、表示灯が点灯します。(26ページ)

「運用切換ボタン操作」が“プログラムタイマー”以外
のとき

運用を変更します。“標準記録運用” ⇄ “記録運用1～9”を切り換えます。“記録運用1～9”のとき、表示灯が点灯します。(26ページ)

※ メニュー画面表示中、[タイマー／運用切換]ボタンは利用できません。

③ [映像出力] 端子／[音声出力] 端子

ライブ画表示のときは、ライブ映像、およびライブ音声を出力します。

再生中は、記録されている映像及び音声を出力します。ただし、次のようなときは音声出力されません。

- ・ 静止画再生時や、× 1以外のサーチ時、コマ送り再生のとき。
- ・ メニュー [記録詳細設定]画面の[通常音声記録]／[アラーム音声記録]を“切”で記録したときの再生。
- ・ 再生時にメニューまたは検索メニューを表示しているとき。

④ [シリアル] 端子 (USB A-TYPEメス)

フラッシュメモリ (別売)、増設用ハードディスクドライブ (別売) (111ページ 「ハードディスクを増設する」)、またはUPS (別売) の通信制御端子と接続します。

⑤ テンキー・カメラ入力表示灯

■ [1]～[9]

ライブ画を見たり、記録画像を再生するときに、表示するカメラ入力を選びます。選んだカメラ入力に対応する表示灯が点灯します。また、数値入力時のテンキーとして使用します。

■ [▲/▼/◀/▶]

メニューや再生メニューで、カーソルを移動します。

■ [-/+]

メニューで、設定値を変更します。

■ [決定]

メニューで、次の画面に進んだり、設定値を確定します。ハードディスクのスキャンディスクやフォーマットなどを実行します。

■ [戻る]

メニューで、一つ前の画面に戻ります。

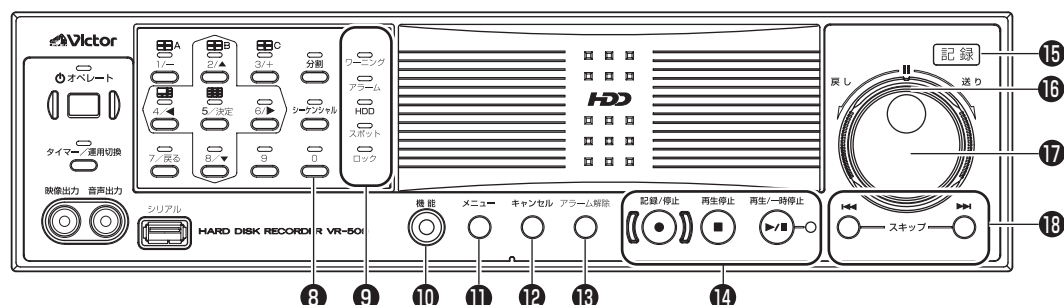
⑥ [分割] 分割ボタン・表示灯

ライブ画や、記録画像の再生画で分割画面と単画面の切替をします。分割表示のとき、表示灯が点灯します。

⑦ [シーケンシャル] シーケンシャルボタン・表示灯

ライブ画を1画面シーケンシャルや4分割画面シーケンシャルで表示するときに押します。自動切替表示のとき、表示灯が点灯します。

各部の名称とはたらき（前面）（つづき）

**⑧ [0] 0ボタン**

数字の0を入力します。

⑨ 状態表示灯**■ ワーニング表示灯**

ワーニングが発生すると、点灯します。

■ アラーム表示灯

アラーム記録中に、点灯します。アラーム記録が終了すると、赤色の点滅に変わります。

■ HDD表示灯

内蔵HDDアクセス中に、点灯します。

■ スポット表示灯

スポット出力の操作中に、点灯します。

■ ロック表示灯

オペレーションロック中に、点灯します。

⑩ [機能] 機能ボタン

このボタンを押しながら[再生停止]を押すと、時計の“秒”を0に合わせます。(17ページ)

⑪ [メニュー] メニューボタン

メニュー画面を表示します。メニュー画面表示中に押すと通常画面に戻ります。(16ページ)

⑫ [キャンセル] キャンセルボタン

- ・ワーニング表示の取り消しやワーニングブザーの解除を行ないます。
- ・タイマー設定で、記録予約を取り消します。(38, 39ページ)

⑬ [アラーム解除] アラーム解除ボタン

アラームが発生したときに、アラーム記録やアラームブザーの停止をします。アラーム表示灯は消灯します。

⑭ 操作ボタン**■ [記録/停止] 記録/停止ボタン**

記録を開始/停止します。停止するときには、約2秒間長押しをします。(27ページ)

■ [再生停止] 再生停止ボタン

再生や静止画再生を停止します。また、記録同時再生のときは、記録を継続したまま再生を停止します。

■ [再生/一時停止] 再生/一時停止ボタン・表示灯

ライブ画表示や記録中に、再生メニューを表示します。再生中に押すと、一時停止にします。一時停止中に押すと、再生を開始します。(40ページ)

⑮ 記録表示灯

記録中に、点灯します。(27ページ)

⑯ シャトルダイヤル

再生や一時停止のときに、再生スピードを変更します。(43ページ)

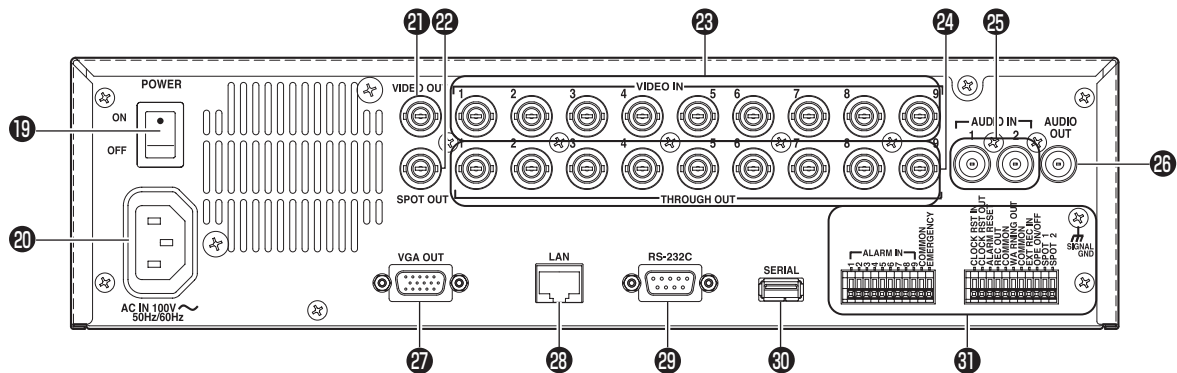
⑰ ジョグダイヤル

再生や一時停止のときに、コマ送り再生やコマ戻し再生します。(43ページ)

⑱ [スキップ] スキップサーチボタン

再生メニュー表示中に押すと、ハードディスク先頭の記録開始点か記録終了点にジャンプします。再生中に押すと、再生メニューで設定したスキップ機能を開始します。(44ページ)

各部の名称とはたらき（背面）



19 電源スイッチ

電源を入／切します。電源を入れると、自動的にオペレートONになります。(14ページ)

※ 電源を切る場合は、必ずオペレートOFF状態にしてください。

20 [AC IN (AC100 V)] 電源入力端子

付属の電源コードでAC 100 Vのコンセントに接続します。(14ページ)

21 [VIDEO OUT] 映像出力端子 (BNC)

前面の[映像出力]端子③と同じ機能の端子です。

22 [SPOT OUT] スポット出力端子 (BNC)

ライブ映像を出力します。[VIDEO OUT]と別の内容を出力することができます。(24ページ)

23 [VIDEO IN] カメラ映像信号入力端子 (BNC)

ビデオカメラ（別売）の映像出力端子と接続します。

24 [THRU OUT] カメラ映像出力端子 (BNC)

各[VIDEO IN]端子に対応したカメラ映像信号を出力します。モニターテレビなどにつなぎます。(自動終端)

25 [AUDIO IN] 音声入力端子1・2 (RCA)

音声記録したい機器のオーディオ出力端子と接続します。

26 [AUDIO OUT] 音声出力端子 (RCA)

前面の音声出力端子③と同じ機能の端子です。

27 [VGA OUT] VGA出力端子 (D-Sub 15ピン)

ライブ映像、再生画像やメニュー画面を出力します。[VIDEO OUT]端子と同じ内容出力します。[VIDEO OUT]端子との同時出力が可能です。(22ページ)

28 [LAN] LAN 接続端子 (100 Base-T)

LAN ケーブルでイントラネットなどのネットワークに接続します。(60ページ)

29 [RS-232C] リモート端子 (D-sub 9 ピン)

パソコンなどと接続して、本機を外部からコントロールできます。

※ RS-232Cインターフェースについては、113ページをご覧ください。

30 [SERIAL] シリアル端子 (USB A-TYPEメス)

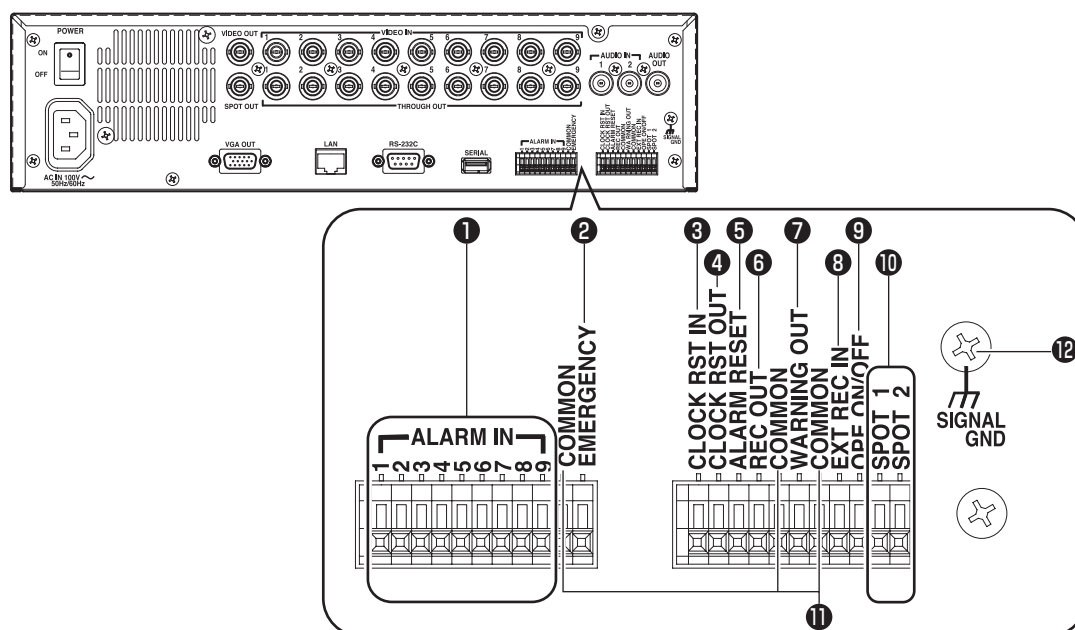
フラッシュメモリ（別売）、増設用ハードディスク（別売）(111ページ「ハードディスクを増設する」)、またはUPS（別売）の通信制御端子と接続します。前面のシリアル端子④と同じ機能の端子です。

31 信号入出力端子

外部アラームの信号や、外部機器からの信号を受け本機を動作させたり、また信号を出力することにより外部機器を動作させたりします。(11ページ)

※ 適合線径 $\phi 0.3\text{mm} \sim \phi 0.8\text{mm}$ (AWG22~28)
(バラ線の場合は、燃って半田あげしてください。)

各部の名称とはたらき（信号入出力端子）



① [ALARM IN 1～9] アラーム入力端子1～9

信号がこの端子に入力されるタイミングでアラーム記録を開始させます。(33ページ)

② [EMERGENCY] エマージェンシー入力端子

信号がこの端子に入力されるタイミングでエマージェンシー記録を開始させます。(33ページ)

③ [CLOCK RST IN] クロックリセット入力端子

時計合わせのための端子です。信号が入力されると、本機の時計の秒の単位がリセットされます。(17ページ)

④ [CLOCK RST OUT] クロックリセット出力端子

時計合わせのための端子です。定期的にクロックリセット信号を出力します。(17ページ)

⑤ [ALARM RESET] アラームリセット入力端子

アラーム記録中に信号が入力されたとき、アラーム記録を停止させます。アラーム記録停止中に入力があると、アラーム表示灯が消灯します。

⑥ [REC OUT] 記録状態出力端子

本機の記録状態を出力します。(27ページ)

⑦ [WARNING OUT] ワーニング出力端子

ハードディスクの動作異常など、エラーが起きたときに信号を出力します。(92ページ)

⑧ [EXT REC IN] 外部記録入力端子

外部からの信号で記録を始めます。(27ページ)

⑨ [OPE ON/OFF] オペレートON/OFF端子

信号が入力されると、オペレートON/OFFが切り換わります。(15ページ)

⑩ [SPOT 1・2] スポット出力選択端子

入力される信号により、[SPOT OUT]端子から出力する映像を変更します。(24ページ)

⑪ [COMMON] 共通グランド端子

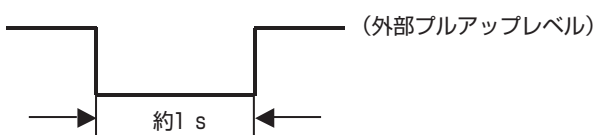
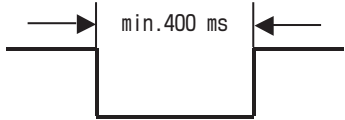
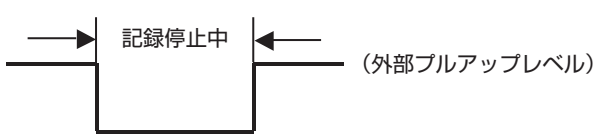
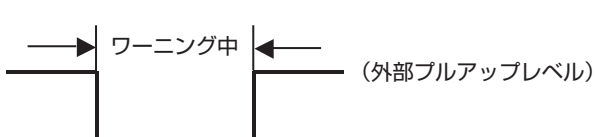
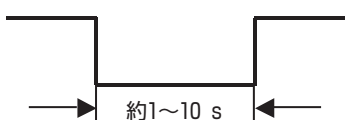
共通のグランド端子です。接続機器の信号グランド端子とつながります。

⑫ [SIGNAL GND] 信号グランド端子

共通のグランド端子です。接続機器の信号グランド端子とつながります。
(共通グランド端子が足りなくなった場合にご使用ください。)

※ 安全アースとして使用しないでください。

各部の名称とはたらき（信号入出力端子）（つづき）

端子	信号レベル	備考
[ALARM IN] アラーム入力 [EMERGENCY] エマージェンシー入力 [EXT REC IN] 外部記録入力	 ※ 出力側のインピーダンスは10kΩ以下にしてください。	メイク接点入力
[CLOCK RST IN] クロックリセット入力	 ※ 出力側のインピーダンスは10kΩ以下にしてください。	メイク接点入力
[CLOCK RST OUT] クロックリセット出力		オープンコレクタ出力 (DC15V、10mA以下)
[ALARM RESET] アラームリセット入力	 ※ 出力側のインピーダンスは10kΩ以下にしてください。	メイク接点入力
[REC OUT] 記録状態出力		オープンコレクタ出力 (DC15V、10mA以下)
[WARNING OUT] ワーニング出力		オープンコレクタ出力 (DC15V、10mA以下)
[OPE ON/OFF] オペレートON/OFF	 オペレートON時はOFFに移行します。 オペレートOFF時はONに移行します。	メイク接点入力
[SPOT 1・2] スポット出力選択	[SPOT 1・2]端子のメイク／オープンの組み合わせ入力により、スポット出力モードが選択されます。(24ページ)	メイク接点入力

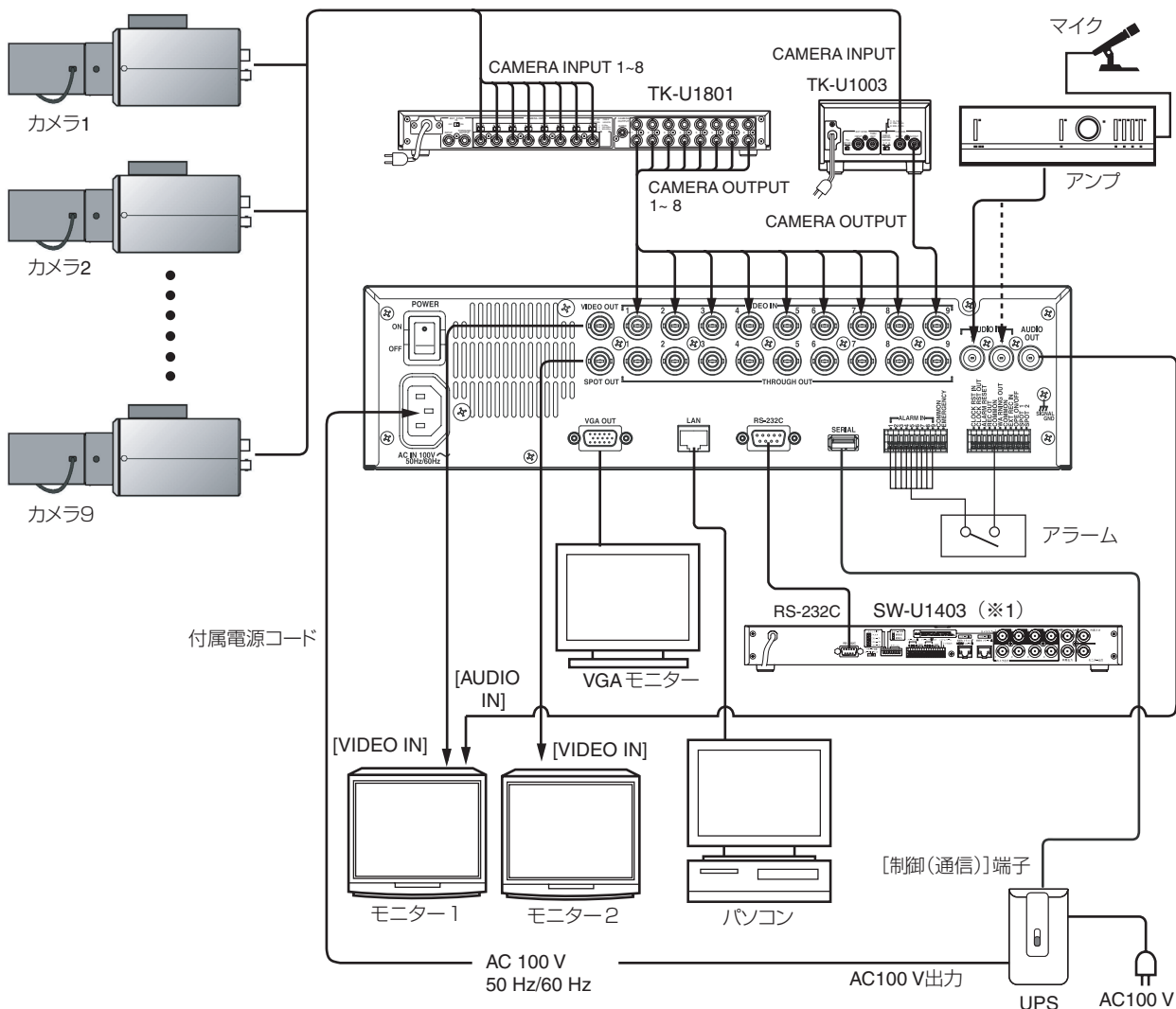
設置と準備

システム接続例（9台のカメラをつなぐ）

本機のスイッチャー機能を使用し、カメラを9 台まで接続することができます。

<接続例>

- 9 台のカメラをつなぎ、記録／再生を行なう。
- モニターで記録画像の確認を行なう。
- アラーム信号を検知して、アラーム記録を行なう。



ご注意

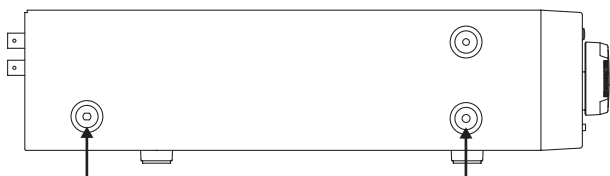
- CCU の [CAMERA INPUT] 端子と本機の [VIDEO IN] は絶対に接続しないでください。CCUの [CAMERA INPUT] 端子には、カメラ用の電源が供給されているため、本機の入力回路が破損します。
- TV映像信号等のカメラ以外の映像信号を入力した場合、ライブ映像表示や記録再生が正常に行なわれないことがあります。
- 映像信号の入力に異常があると“VIDEO IN ** 入力なし (E-03)” がオンスクリーン表示されます。(**にはカメラ番号が表示されます) この状態で記録を続けると異常発生カメラ、正常カメラともに正しく記録できない場合があります。異常が発生した入力の記録を無効にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。(18ページ「基本設定 - 1」)
- 接続はすべての機器の電源をOFF にしてから行なってください。
- カメラを接続しない入力メニューで“なし”に設定してください。(18ページ「基本設定 - 1」)
- THRU OUT にBNC コネクターを接続したとき、内蔵の75Ω 終端がOPEN になります。最終段の機器で必ず75Ω を終端にしてください。
- 本機とSW-U1403システムコントロールユニットは、市販のRS-232Cクロスケーブルで接続してください。
- 接続可能なSW-U1403は、(A)バージョン以降の商品です。SW-U1403ネームプレート機種名表示部の (バージョン表記)を確認してください。(※1)
- 本機以外の使用機器につきましては、それぞれの機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、接続してください。
- パソコンとの接続は60ページ「パソコンと接続する」をご覧ください。

縦置きスタンドの取り付けかた

添付の縦置きスタンドを使用することで、縦置きに設置できます。

1. 本体左側のネジを外す

- 本体左側のネジ（2箇所）を外します。

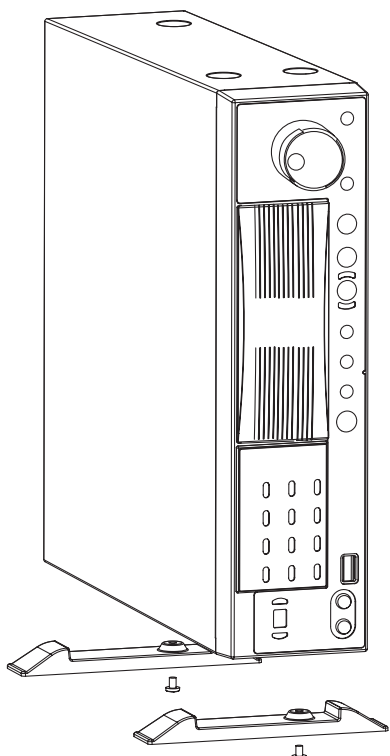


ご注意

縦置きスタンドは、必ず本体の左側面に取り付けてください。本体右側面に取り付けると、重心が高くなり、転倒の原因となります。

2. 縦置きスタンドの出っ張り部分をネジを外した場所に合わせる

3. 1.で外したネジを使い、スタンドを本体に取り付ける



ご注意

取り付けは必ず1.で外したネジを使用してください。他のネジを使用すると、故障の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 電源コードをつなぐ

- 付属の電源コードでAC100 V（50 Hz/60 Hz）のコンセントにつながます。

2. 背面の電源スイッチを「ON」にする

- 電源が入り、システムチェックが始まります。
- オペレート表示灯が点滅します。
- その後、オペレート表示灯が点灯に変わり、オペレートON状態になります。オンスクリーン画面に記録／停止マークが表示された後、操作が可能になります。

ご注意

システムチェック中は、電源コードを絶対に抜かないでください。故障の原因となります。

電源を切る

1. [オペレート]を約2秒間長押ししてオペレートOFFにする

- しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。

2. 背面の電源スイッチを切る

ご注意

電源を切った後、1分間は本機を動かさないでください。衝撃により内蔵ハードディスクが故障することがあります。

前面ボタンでオペレートON／OFFを切り換える

操作可能状態（オペレートON）と休止状態（オペレートOFF）の切換ができます。

オペレートONにする

- （オペレートOFF状態で）**[オペレート]**を押す
 - オペレート表示灯が点滅します。
 - オペレートON状態になります。オンスクリーン画面に時刻が表示された後、操作が可能になります。
 - オペレート表示灯が点灯します。
 - ※ 背面の電源スイッチを入れると、自動的にオペレートON状態まで立ち上がります。

オペレートOFFにする

- （オペレートON状態で）**[オペレート]**を約2秒長押しする
 - オペレート表示灯が点滅します。
 - 画面に「しばらくお待ちください…」と表示されます。
 - 画面の表示が消え、オペレートOFF状態になり、オペレート表示灯が消灯します。
 - ※ 電源は、オペレートOFF状態にしてから切ってください。
 - ※ 外付けハードディスクの電源を切る場合は、先に本機の電源を切ってください。

信号入出力端子でオペレートON／OFFを切り換える

オペレートONにする

- （オペレートOFF状態で）オペレートON/OFF端子をLow（OV）にする
 - システムチェックが始まります。
 - オペレートON状態になります。オンスクリーン画面に時刻が表示された後、操作が可能になります。

オペレートOFFにする

- （オペレートON状態で）オペレートON/OFF端子をLow（OV）にする
 - 画面に「しばらくお待ちください…」と表示されます。
 - 画面の表示が消え、オペレートOFF状態になり、オペレート表示灯が消灯します。
 - ※ 電源は、オペレートOFF状態にしてから切ってください。
 - ※ エマージェンシー記録中やスキャンディスク実行中は機能しません。

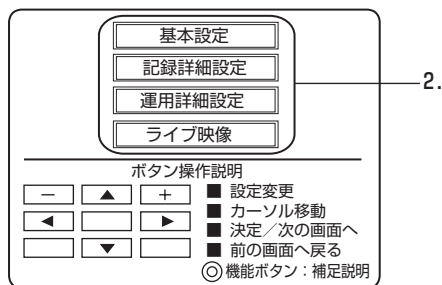
停電などにそなえて、UPS（無停電電源装置）をご使用くださることを推奨します。
 （13ページ「システム接続例」）
 （59ページ「UPSを接続する」）

メニュー画面の操作方法

メニュー画面を開く

1. [メニュー]を押す

- メニュー画面が開きます。
- ※ [メニュー]を再度押すと、メニュー画面を閉じます。

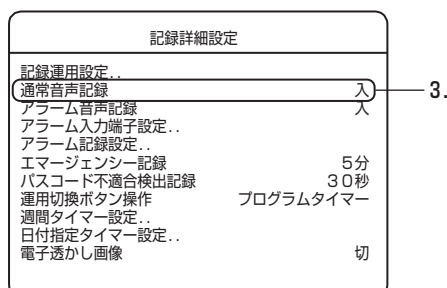


- ※ メニュー操作中は、動き検出やアラーム入力信号による記録はできません。

メニュー画面を進む

2. [▲/▼]で項目を選び、[決定]を押す

- 設定画面が開きます。
- ※ [戻る]を押すと、1つ前の画面に戻ります。



- ※ 上図は「記録詳細設定」の例です。

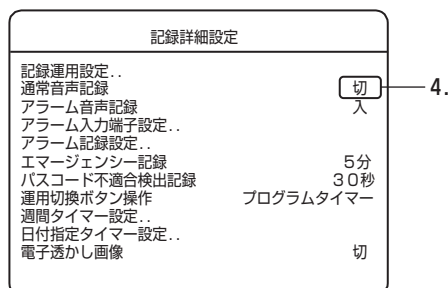
3. [▲/▼]で項目を選ぶ

- 設定した項目の右に設定値があるときは、設定値の変更が可能です。→4. へ
- 設定した項目の右に設定値がないときは、さらにメニューを進むことができます。希望の設定項目が表示されるまで、2. の操作を繰り返してください。

設定値を変更する

4. [-/+]で設定値を変更する

- [-/+]を押すと、画面上で設定値が変わります。

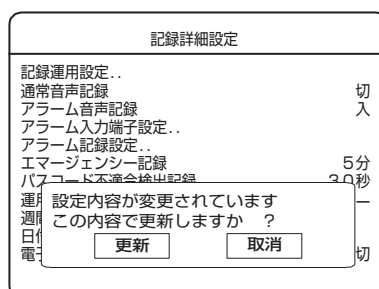


- ※ 上図は「記録詳細設定」の例です。

確認ウィンドウを表示させる

5. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。



- ※ 上図は「記録詳細設定」の例です。

確定する

6. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

- 設定内容が保存されます。
- ※ [◀/▶]で「取消」を選び、[決定]を押すと、確認画面が消え、設定内容は保存されません。
- ※ 記録中は、更新・保存できない項目があります。
- ※ タイマーモード中は、変更できない項目があります。

メニュー画面のユーザーガイダンスを表示させる

- メニュー画面で[機能]を押すと、ユーザーガイダンスを表示させることができます。

メニュー画面を閉じる

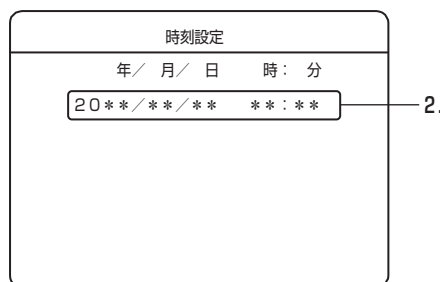
- [戻る]を押すか、または[メニュー]を約1秒間長押しすると、メニュー画面が閉じます。

時刻を設定する

メニューで時刻を設定する

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「時刻設定」の順に開きます。
- ※ 本機が記録中、タイマーモード運用中の場合は時刻設定できません。
- ※ また、WebブラウザのNTPサーバーとの同期設定が有効な場合も時刻設定できません。(73ページ)
- ※ ハードディスク内に記録データがある状態での日時変更はご注意ください。記録日時が重複や逆転すると再生動作やスキップジャンプ、検索などが正しく行なわれない場合があります。



2. [◀/▶]で設定項目を選び、[-/+]で数値を変更する

- “年”、“月”、“日”、“時”、“分”に現在の日付と時刻を設定します。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

- 時刻が設定されます。設定した時刻の00秒から時計が動き始めます。

ボタン操作で秒数を合わせる

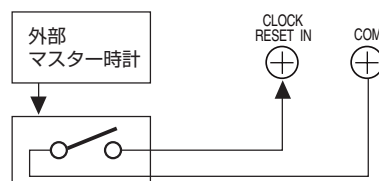
- [機能]を押しながら[再生停止]を押すと、時計の“秒”を合わせられます。ただし、記録中はリセットできません。
- 秒の値が29秒以下のとき、分の値はそのまま秒の値が00 秒にリセットされます。
- 秒の値が30秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が00 秒にリセットされます。

信号入出力端子で秒数を合わせる

■ クロックリセット入力端子

信号が入力されると、本機の時計がリセットされます。リセットされる内容は、上記「ボタン操作で秒数を合わせる」と同じです。

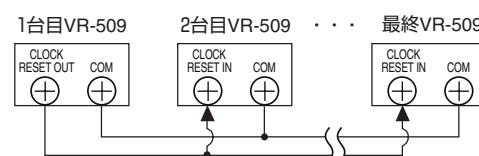
- 信号を受けマスター時計や他機器の時計に合わせることができます。



■ クロックリセット出力端子

クロックリセット信号を次のタイミングで出力します。

- 本機 内部の時計が00:00 または、12:00 のとき。
- 2台以上のVR-509の時計を秒単位で合わせることができます。



メモ

- [CLOCK RESET OUT/IN]端子を接続すると1日に2回、昼と夜の12時に2台以上のVR-509の時間を同じ時刻になるように合わせます。

ご注意

- 接続は、使用機器の電源を切ってから行ってください。
- クロックリセット出力端子を複数の機器に並列接続する場合は、同一機種に揃えてください。入力機器側の電圧が合っていないと誤動作する場合があります。また、入力側の機器によっては、1台の電源が切れた場合、他の入力機器の時計がリセットされる場合がありますのでご注意ください。

NTPサーバーで時刻を合わせる

NTPサーバーに接続して時刻を合わせることが可能です。詳細は73ページ「NTPサーバーで時刻を合わせる」をご参照ください。

- ※ 本機の時刻精度は月差60秒程度（周囲温度25℃時）です。より高い精度が必要な場合は、NTPサーバー等を利用してください。
- ※ 103ページ「NTPサーバー機能を利用する場合」を参考にしてください。

ご注意

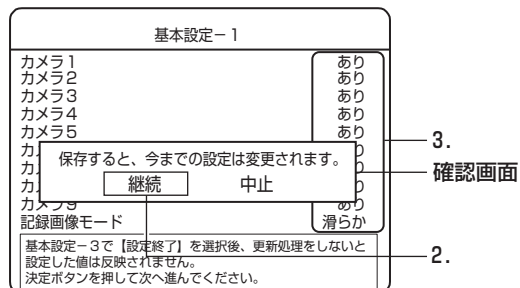
記録中にクロックリセット入力あるいはNTPサーバーで時刻を合わせる場合、時刻が進んだ状態で合わせると、記録時間の重複が発生します。この部分を再生すると、検索や音声再生が正常に動作しません。

- ※ 正確な時刻表示を行なうため、月に1回程度で時刻設定することをおすすめします。

基本設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「基本設定」の順に開きます。
 - 「基本設定 - 1」画面と確認画面が開きます。
- ※ 記録中は、設定変更できません。



2. [◀/▶]で確認画面の「継続」を選び[決定]を押す

- 確認画面が閉じます。
- ※ 「中止」を選び[決定]を押すと、トップメニューに戻ります。

基本設定 - 1

3. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定内容

カメラ1～9

あり、なし： 記録対象とするカメラ入力は“あり”に、それ以外のカメラ入力は“なし”に設定します。

記録画像モード

滑らか： 記録コマ数の合計を120イメージ/秒、画像サイズを352x240ピクセルに設定して記録します。

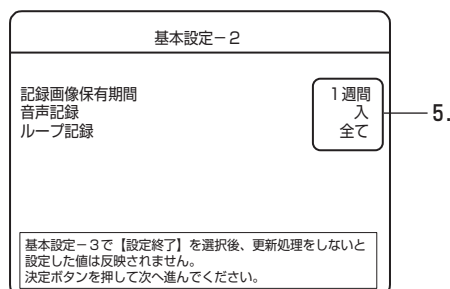
高精細： 記録コマ数の合計が60イメージ/秒、画像サイズを720x240ピクセルに設定して記録します。

ご注意

カメラの台数運用設定は基本設定-1でのみ変更可能です。後からカメラ台数を変更する場合は、標準記録運用設定、記録運用1～9で使用している記録運用設定データ（通常運用、アラーム記録時の各コマ数、画質、動き検出）の設定をやり直さなければなりません。（29ページ 記録運用設定）

4. 「基本設定 - 1」画面表示時、[決定]を押す

- 「基本設定 - 2」画面が開きます。



基本設定 - 2

5. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定内容

記録画像保有期間

1日、3日、5日、1週間、2週間、3週間、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月： 設定した記録画像モードと接続したカメラ台数を中心に、記録画像がハードディスク上に保有したい期間を設定します。

※ この保有期間は目安のため、基本設定-3でコマ数、画質などを変更した場合、記録画像保有期間が変動することがあります。（記録画像保有期間については106～109ページの記録時間を参照してください。）

音声記録

入、切： 通常運用、およびアラーム記録のときに、音声記録するかどうかを設定します。

ループ記録

ハードディスクの残容量がなくなったときの動作の設定をします。1週間/2週間/1ヶ月のいずれかを設定した場合、保存期間指定ループ記録を設定したことになります。（100ページに説明があります。）

切： 記録を停止します。

アラームロック：古い記録から上書きして記録を継続します。但し、アラーム記録は上書きしません。

全て： 古い記録から上書きして記録を継続します。

1週間： 保存期間指定ループ記録の保存期間を1週間に設定します。

2週間： 保存期間指定ループ記録の保存期間を2週間に設定します。

1ヶ月： 保存期間指定ループ記録の保存期間を1ヶ月（31日間）に設定します。

保存期間指定ループ記録：

指定した保存期間（1週間、2週間または1ヶ月）の記録がハードディスクに保存されます。保存期間よりも古い記録は、アラーム記録、通常記録の区別なく自動的に削除されます。保存期間に達する前にハードディスクが一杯になった場合、アラーム記録、通常記録の区別なく古い記録から削除されます。

メモ

保存期間指定ループ記録の動作時間は、指定期間に対して最大7時間の誤差があります。

（例）保存期間を1週間（168時間）に設定した場合

- 現時点から168時間以内の記録は保存されます。（ただし、ハードディスクの容量が十分ある場合に限りです。）
- 168時間から175時間内の記録は、削除されているかどうかは不定です。
- 175時間以前の記録は、確実に削除されます。

基本設定をする（つづき）

6. [決定]を押す

- 「基本設定 - 1」～「基本設定 - 2」の設定により、標準記録運用モードの記録設定が自動で設定され、「基本設定 - 3」画面に表示されます。

基本設定-3					
	通常運用		アラーム記録		動き検出
	コマ数	画質	コマ数 (AUTO)	画質	
カメラ1	10	N	--	--	--
カメラ2	10	N	--	--	--
カメラ3	10	N	--	--	--
カメラ4	10	N	--	--	--
カメラ5	10	N	--	--	--
カメラ6	10	N	--	--	--
カメラ7	10	N	--	--	--
カメラ8	10	N	--	--	--
カメラ9	10	N	--	--	--
詳細に設定する			設定終了		

7.

基本設定 - 3

7. [▲/▼/◀/▶]で項目を選び、[決定]を押す

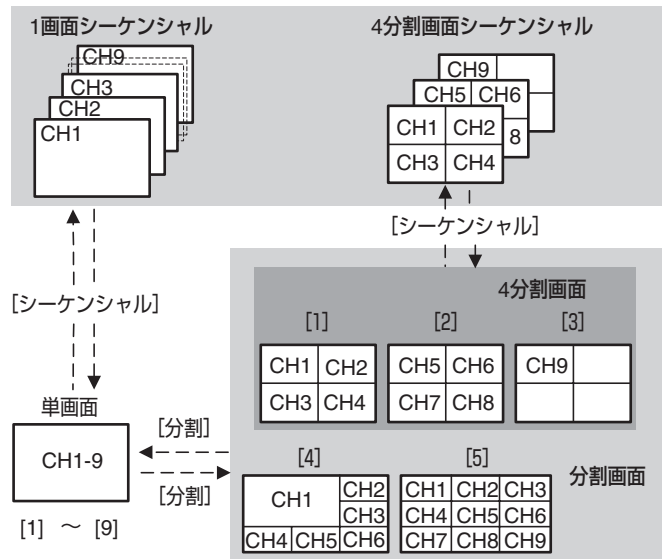
- 「詳細に設定する」を選ぶと、標準記録運用モードの記録設定を変更できます。
（設定方法は29ページ「記録運用設定をする」をご参照ください。）
 - 「設定終了」を選ぶと、更新確認画面が表示されます。
「更新」を選び[決定]を押すと設定内容が確定し、基本設定を終了します。
- ※ 変更後、設定更新すると、現在の運用設定が全て変更され、標準記録運用および記録運用1～記録運用9の全ての設定に反映されます。

カメラのライブ映像を見る

表示画面の切換

本機は、単画面、分割画面、シーケンシャル画面でライブ映像を見ることができます。

※ 再生画面でのシーケンシャル表示切換はできません。



単画面

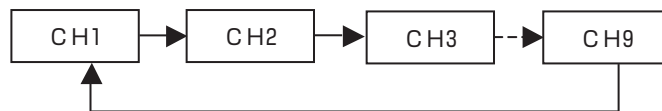
- 分割表示灯とシーケンシャル表示灯の両方が消灯します。



- [1]~[9]を押すと、対応するカメラ入力に切り換わります。
- [分割]を押すと前回設定した分割画面になります。
- [シーケンシャル]を押すと、1画面シーケンシャルになります。

1画面シーケンシャル

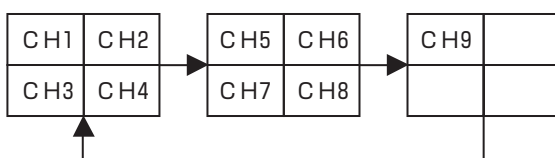
- 単画面表示中に[シーケンシャル]を押します。
- 分割表示灯は消灯、シーケンシャル表示灯は点灯します。



- 再度[シーケンシャル]を押すと、固定単画面になります。

4分割画面シーケンシャル

- 分割画面表示中に[シーケンシャル]を押します。
- 分割表示灯とシーケンシャル表示灯の両方が点灯します。

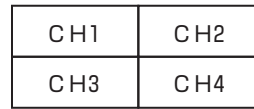


- 再度[シーケンシャル]を押すと、固定4分割画面になります。

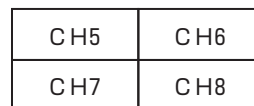
分割画面

- 分割表示灯は点灯、シーケンシャル表示灯は消灯します。

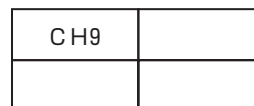
- [1]を押すと、4分割A画面になります。



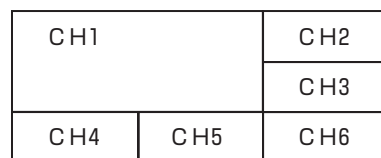
- [2]を押すと4分割B画面になります。



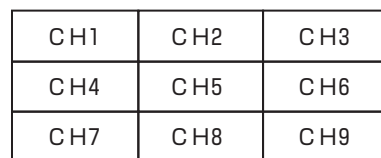
- [3]を押すと4分割C画面になります。



- [4]を押すと6分割画面になります。



- [5]を押すと9分割画面になります。



※ 分割画面ごとの画面配置は、「ライブ映像」画面で設定できます。(21ページ)

- [分割]を押すと単画面になります。
前回設定した単画面で表示されます。
- [シーケンシャル]を押すと、4分割画面シーケンシャルになります。(4分割画面表示中のみ可能)
※ 6分割画面、9分割画面からは、シーケンシャル表示にはなりません。

メモ

ライブ画面表示時、本機の動作状態を示すマーカーが画面の左下部に表示されます。(表示位置は変更られません。)

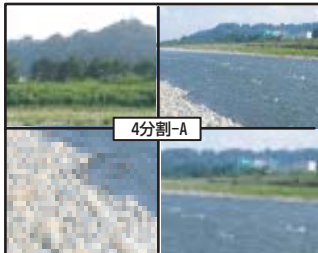


マーカーの色	本機の状態
青	記録していない時
赤	通常記録時
黄	アラーム記録時
白	ビデオロス時

分割画面の配置を変更する

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「ライブ映像」の順に開きます。
- 画面中央に設定する分割パターンが表示されます。
- はじめに、4分割-Aの分割画面が表示されます。
- ※ 再生モード中、配置変更はできません。



2. [◀/▶]を押して設定する分割パターンを選択する

- [▶]を押すと、4分割-A → 4分割-B → 4分割-C → 6分割 → 9分割 → 4分割-A… の順に切り換わります。
- [◀]を押すと、逆の順に切り換わります。

3. [決定]を押す

- 青色枠が左上の子画面に表示されます。



※ 上図は4分割画面の例です。

4. [1]～[9]を押す

- 押した番号のカメラ入力が青色枠の子画面に配置されます。
- 青色枠が次の子画面に移動します。



※ 上図は4分割画面の例です。

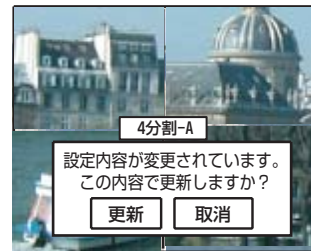
- [0]を押すと、黒画面を選択できます。
- [シーケンシャル]を押すと、青色枠が前の子画面に戻り、変更前の画面が表示されます。

5. [分割]を押す

- 分割選択画面が表示されます。
- 6分割画面、9分割画面など他の分割画面の配置を変える場合は、上記2.～5.を繰り返してください。

6. [戻る]を押す

- 確認画面が表示されます。



※ 上図は4分割画面の例です。

7. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

- 分割画面の配置が変更されます。
- ※ [取消]を選択すると、トップメニュー画面に戻ります。

ご注意

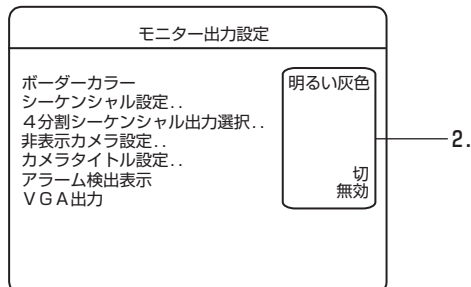
4分割画面の配置設定において4分割-A、4分割-B、4分割-Cで同じ位置に同一のカメラを配置することはできません。

カメラのライブ映像を見る

モニター出力の設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「モニター出力設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

ボーダーカラー

分割画の境界線の明るさを設定します。

黒色／暗い灰色／灰色／明るい灰色

※ スポット出力の境界線の明るさも同時に変更されます。

アラーム検出表示

アラーム検出されたときに表示するカメラ入力を設定します。

切： 表示を切り換えません。

固定： 最後にアラーム記録を開始したカメラ入力の表示に切り換えます。同時に複数のカメラ入力アラーム記録を開始したときは、1秒間隔で順に切り換えて表示したあと、一番小さいカメラ入力の表示に切り換えます。

シーケンシャル：

アラーム記録中のカメラ入力を1秒間隔で切り換えて順に表示します。

VGA出力

無効： VGA出力から映像を出力しません。

有効： VGA出力から映像を出力します。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

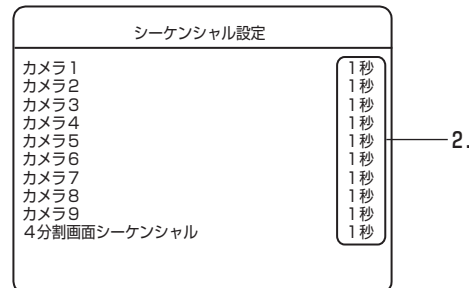
4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

- ※ この設定を変更すると、「VIDEO OUT」の画像の特性が変わって見えることがあります。

シーケンシャルの時間を設定する

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「モニター出力設定」→「シーケンシャル設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

カメラ1～9

1画面シーケンシャルの時間を設定します。

1秒、2秒、3秒、5秒、10秒：

設定した時間でシーケンシャル表示します

切： シーケンシャルで表示しません

4分割画面シーケンシャル

1秒、2秒、3秒、5秒、10秒：

設定した時間でシーケンシャル表示します

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

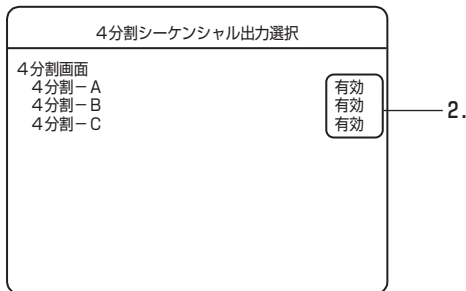
- ※ 4分割画面シーケンシャルモードで表示する場合、ご使用になるモニターによっては、画面切り換え時、モニター映像が一瞬乱れる場合があります。

4分割シーケンシャル出力選択

分割画面シーケンシャルで各画面を表示するかどうかを設定します。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「モニター出力設定」→「4分割シーケンシャル出力選択」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

4分割 - A

無効： スキップします。
有効： 表示します。

4分割 - B

無効： スキップします。
有効： 表示します。

4分割 - C

無効： スキップします。
有効： 表示します。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

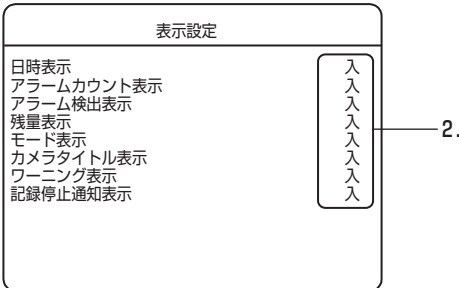
4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

表示設定

各項目を画面にオンスクリーン表示するかどうかの設定をします。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「表示／動作設定」→「表示設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する 設定項目

- 日付表示： 日付、時刻表示
- アラームカウント表示：
アラーム番号の表示 (AL- ** と表示)
ライブ映像の場合は、最後に記録されたアラーム番号を表示します。
また、アラーム記録の映像を再生した場合は、再生中のアラーム番号を表示します。
- アラーム検出表示：
アラーム発生時に “I-AL-I” と赤色で表示
- 残量表示： 「ループ記録」設定が “切” の時、残量を表示 (** % と表示)
「ループ記録」設定が “切” 以外に設定されている場合、残量は表示されません。
- モード表示： 再生モード (▶や▶▶など) および動作状態 (青丸など) の表示
メンテナンス中、 “DB/” 表示
※ メンテナンス実行中は、再生音が途切れたり、画像が遅れることがあります
が、記録には影響しません。このような場合は、 “DB/” 表示が消えてから、再度、再生してください。
- カメラタイトル表示：
現在設定しているカメラに対するカメラタイトルを表示します。
※ 記録後、 “接続なし” に変更したカメラの再生画には、カメラタイトルは表示されません。
- ワーニング表示：
ワーニング発生時のオンスクリーン表示、ワーニング表示灯の表示
(例： “ハードディスクの残量がありません。”)
- 記録停止通知表示：
“記録が停止しました” とオンスクリーン表示、ワーニング表示灯の表示

設定値

入： 表示します
切： 表示しません

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

カメラのライブ映像を見る

スポット出力でライブ映像を見る

スポット出力でライブ映像を見ることができます。スポット出力の表示内容の変更方法は、以下の2通りがあります。

- 手動でスポット出力を変更する
- 背面端子の入力でスポット出力を変更する

手動でスポット出力を変更する

- [シーケンシャル]を押しながら[分割]を押す
- スポット表示灯が点灯し、スポット出力選択モードになります。
 - [1]～[9]、[シーケンシャル]、[分割]を押すと、モニター出力と同じ操作で、スポット出力の表示内容を切り換えられます。

モニター出力選択モードに戻るには

- [シーケンシャル]を押しながら[分割]を押す
- スポット表示灯が消灯し、モニター出力選択モードになります。
- ※ スポット出力にはオンスクリーン表示はありません。

背面端子の入力でスポット出力を変更する

本体背面の「SPOT1」「SPOT2」端子を400ms以上メイ

- クする
- SPOT1・2端子の入力により、SPOT出力を切り換えることができます。

SPOT1	SPOT2	画面変更
メイク	オープン	次の画面を表示
オープン	メイク	前の画面を表示
メイク	メイク	レイアウト変更
オープン	オープン	何もしない

- 次の画面を表示
- 単画面のとき： 1 → 2 → 3 → … → 9 → 1 → … の順に切り換わります。
- 4分割画面のとき： 4-A → 4-B → 4-C → 4-A → … の順に切り換わります。
- 6分割、9分割画面のとき： 入力は無効です。
- ※ シーケンシャル動作中は、動作しません。

- 前の画面を表示
- “次の画面を表示” と逆の順番で画面が切り換わります。

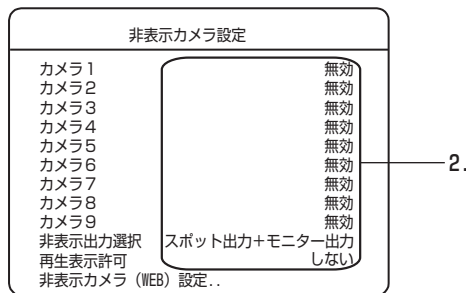
- レイアウト変更
- 単画面→4分割画面→6分割画面→9分割画面→単画面→… の順に切り換わります。

非表示カメラ設定

各カメラ入力を、モニター画面に表示させず、ブラック画にするかどうかを設定します。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「モニター出力設定」→「非表示カメラ設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

カメラ1～カメラ9

有効： 非表示にします。(ブラック画を表示します。)

無効： 非表示にしません。

※ 非表示カメラ設定を有効にしても、映像は記録されます。

非表示出力選択

非表示カメラ設定を有効にする映像出力端子を選びます。

切： 非表示カメラ設定を無効にします。

スポット出力、モニター出力、スポット出力+モニター出力：
選んだ出力端子で設定が有効になります。

再生表示許可

非表示カメラ設定された入力の再生を許可するかどうかを設定します。

しない：再生を禁止します。

する： 再生を許可します。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

非表示カメラ (WEB) 設定

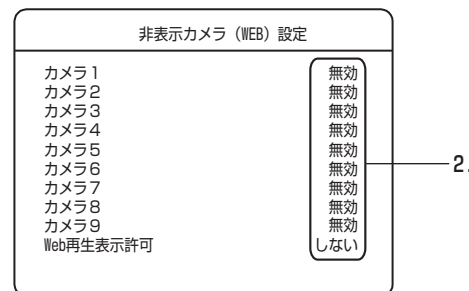
パソコンでライブ画を見るときに、各カメラ入力をモニター画面に表示させず、ブラック画にするかどうかを設定します。

(64ページ パソコンでのライブ画表示画面)

70ページ パソコンでの再生画表示画面)

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「モニター出力設定」→「非表示カメラ設定」→「非表示カメラ (WEB) 設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

カメラ1～カメラ9

有効： 非表示にします。(ブラック画を表示します。)

無効： 非表示にしません。

※ 非表示カメラ (WEB) を有効に設定しても、映像は記録されます。

Web再生表示許可

記録された映像のパソコンでの再生表示を許可するかどうかを設定します。

しない：再生を禁止します。

する： 再生を許可します。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

カメラ映像を記録する

記録の種類について

通常記録

「記録詳細設定」(28ページ)の「運用切換ボタン操作」の設定と、[タイマー／運用切換]のON/OFFによって、通常記録の記録モードは下表のようになります。

表1：通常記録の記録モード

	運用切換ボタン操作	
	プログラムタイマー	記録運用1～9
タイマー／運用切換OFF (表示灯消灯)	標準記録運用モード	標準記録運用モード
タイマー／運用切換ON (表示灯点灯)	タイマー記録	記録運用1～9モード

■ 標準記録運用モード

- 標準記録運用モードの設定で記録をします。
- [記録/停止]ボタンで記録の開始/停止ができます。(27ページ)
- [EXT REC IN]端子で記録の開始/停止ができます。(27ページ)

■ 記録運用1～9モード

- 「運用切換ボタン操作」で設定した記録運用モードの設定で記録をします。
- [記録/停止]ボタンで記録の開始/停止ができます。(27ページ)
- [EXT REC IN]端子で記録の開始/停止ができます。(27ページ)

タイマー記録

- 週間タイマー設定/日付指定タイマー設定で指定した通りに記録が開始・停止します。
 - 週間タイマー設定 (38ページ)
 - 日付指定タイマー設定 (39ページ)
- [記録/停止]ボタンや[EXT REC IN]端子で操作することはできません。

アラーム記録

停止中、および通常記録/タイマー記録中に、信号の入力や動きの検出がされたとき、アラーム記録が開始されます。

アラーム記録には、以下の3種類があります。

■ エマージェンシー記録

- [EMERGENCY]端子に信号が入力されたときに記録を開始します。(32ページ)

■ アラーム記録 (信号入力端子)

- [ALARM IN]端子に信号が入力されたときに記録を開始します。(32ページ)

■ アラーム記録 (動き検出)

- 映像の動きが検出されたときに記録を開始します。(32ページ)

記録の優先順位

記録には優先順位があります。優先順位の高い記録は、優先順位の低い記録の途中からでも記録を開始します。

- エマージェンシー記録
- パスコード不適合検出記録
- アラーム記録 (信号入力端子、動き検出)
- 日付指定タイマー記録
- 週間タイマー記録
- 通常記録

通常記録をする

標準記録運用モード

1. 記録詳細設定をする（28ページ）
2. 「標準記録運用モード」の通常記録設定をする（29ページ）
3. タイマー／運用切換 表示灯が消灯しているのを確認する

■ [記録/停止]を押す

- 記録を開始します。

■ [記録/停止]を約2秒間、長押しする

- 記録を停止します。

記録運用 1～9

1. 記録詳細設定をする（28ページ）
「記録詳細設定」の「運用切換ボタン操作」設定を希望の記録運用モードに設定します。（記録運用 1～9より選択）
2. 記録運用 1～9の通常記録項目を設定する（29ページ）
3. メニュー画面を終了し、[タイマー／運用切換]を押す
• タイマー／運用切換 表示灯が点灯します。

■ [記録/停止]を押す

- 各モードの通常記録項目の設定内容で記録を開始します。

■ [記録/停止]を約2秒間、長押しする

- 記録が停止します。

メモ

- 記録の開始から停止までの内容が1イベントとしてハードディスクに記録されます。
- 「動作設定」の「記録表示灯動作」設定が“入”に設定時、記録中フロントパネルの[記録]表示灯が点灯します。
- 「動作設定」の「ループ記録」設定で、ハードディスクおよびイベントの残容量がなくなった時の動作を設定できます。
「ループ記録」を“アラームロック”、“全て”、“1週間”、“2週間”や“1ヶ月”に設定時は、古い記録から上書きして記録を継続します。
(31ページ「動作設定」)
- 記録できるイベント数は約10万件です。
記録できるイベント数（イベント残量）が少なくなると、メッセージがオンスクリーン表示されます。
(93ページ)

外部記録入力端子で通常記録をする

[記録/停止]ボタンの代わりに、背面の[EXT REC IN] 端子に信号を入力することで、記録の開始／停止を操作できます。

1. 「外部記録入力端子」設定を“トリガ”または“マニュアル”に設定する（50ページ）

■ 「外部記録入力端子」を“トリガ”に設定したとき

- [EXT REC IN] 端子をメイクすると通常記録を開始します。
[EXT REC IN] 端子をオープンにしても記録を続けます。
- 記録を停止するには、[記録/停止]を約2秒間 長押しします。

■ 「外部記録入力端子」を“マニュアル”に設定したとき

- [EXT REC IN] 端子をメイクすると通常記録を開始します。
- [EXT REC IN] 端子をオープンすると記録を停止します。

記録状態を通知する

記録中は、[記録]表示灯の点灯、および[REC OUT]端子からの信号出力によって記録状態を知らせることができます。

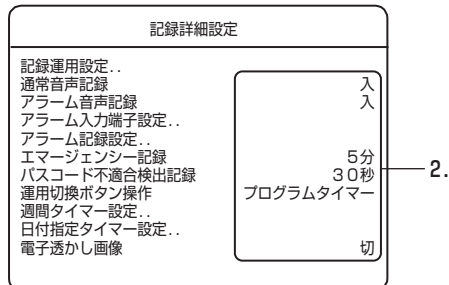
- 記録表示灯の動作設定（31ページ）
- 「記録出力端子」の設定（50ページ）

カメラ映像を記録する

記録詳細設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

通常音声記録 (45ページ 音声出力設定)

切： 音声を記録しません。

入： 音声を記録します。

- ※ 1秒間の記録コマ数（イメージ数）が1/5、1/10の場合、音声は記録されません。（29ページ）

アラーム音声記録 (45ページ 音声出力設定)

切： 音声を記録しません。

入： 音声を記録します。

エマージェンシー記録

エマージェンシー記録端子に信号が入力されたときの記録時間を設定します。記録画質は、H (High)：高画質記録になります。

切： 記録しません。

30秒、1分、5分、10分、20分：

設定した時間だけ記録します。

継続： 「アラーム解除」ボタンを押すまで、記録を継続します。

マニュアル： 信号が入力されている間、記録を継続します。

メモ

エマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）の場合、記録コマ数は合計コマ数（記録画像モードが「滑らか」の場合は120コマ、「高精細」の場合は60コマ）をエマージェンシー記録に選択したカメラ入力数で均等割したコマ数となります。

パスコード不適合検出記録

誤ったパスコードを検出した場合、記録するかどうかを設定します。記録時間以外はエマージェンシー記録と同じ設定で記録を始めます。

ただし、「アラーム解除」を押す操作をしても、強制的に記録を停止することはできません。

切： 誤ったパスコードが入力されても、記録を開始しません。

10秒、20秒、30秒：

誤ったパスコードが入力されたとき、設定時間だけ記録します。

(55ページ パスコード設定)

運用切換ボタン操作 (27ページ 通常記録をする)

プログラムタイマー：

週間タイマー設定、および日付指定タイマー設定に従って記録します。

記録運用1～9：各運用設定に従って記録します。

電子透かし画像

記録画像に改ざん検出信号を記録します。

切： 電子透かし機能をOFFにします。

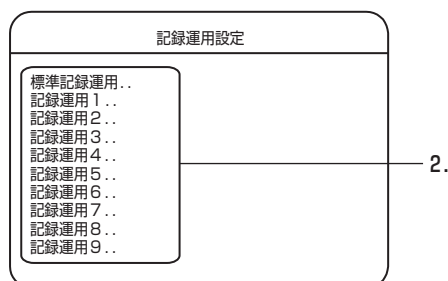
入： 電子透かし機能をONにします。

※ 改ざん検出には、専用のソフトが必要です。

記録運用設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「記録運用設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で設定するモードを選び、[決定]を押す

- 各記録運用モードの「記録運用設定」画面が開きます。
- 設定に応じた「記録可能時間」が最下行に表示されます。「ループ記録設定」が「切」の場合は、現在のハードディスク残量で記録可能な時間が表示されます。「ループ記録設定」が「全て」、「アラームロック」、「1週間」、「2週間」または「1ヶ月」に設定時は、ハードディスク総量に対する記録可能時間が表示されます。

標準記録運用			標準記録運用		
通常記録			アラーム記録		
カメラ	コマ数	画質	カメラ	コマ数(AUTO)	画質
カメラ1	10	H	カメラ1	10	H
カメラ2	10	H	カメラ2	10	H
カメラ3	10	H	カメラ3	10	H
カメラ4	10	H	カメラ4	10	H
カメラ5	10	H	カメラ5	10	H
カメラ6	10	H	カメラ6	10	H
カメラ7	10	H	カメラ7	10	H
カメラ8	10	H	カメラ8	10	H
カメラ9	10	H	カメラ9	10	H
記録可能時間			42h		

※ 上図は「標準記録運用」の例です。

3. [▲/▼/◀/▶]で「通常記録」の項目を選び、[-/+]でコマ数／画質を選ぶ

設定項目

コマ数

1/10、1/5、1/2、1、2、3、6、10、15、30：
1秒間に記録するコマ数（イメージ数）を設定します。

---： 記録しません。

画質

H(High)： 高画質記録
N(Normal)： 標準画質記録
B(Basic)： 中画質記録
L(Long)： 長時間画質記録

4. [▲/▼/◀/▶]で「アラーム記録」の項目を選び、[-/+]でコマ数／画質／動き検出の設定をする

設定項目

コマ数

1、2、3、6、10、15、30：
1秒間に記録するコマ数（イメージ数）を設定します。

---： 記録しません。

(AUTO)：他の入力に影響を与えない範囲で、そのとき記録できる上限のコマ数で記録します。

上限のコマ数：均等割で記録可能な最大のコマ数(AUTO)表示の右側に、設定した全てのカメラ入力のアラーム記録を開始した場合、想定されるコマ数の目安が表示されます。

画質

H(High)： 高画質記録
N(Normal)： 標準画質記録
B(Basic)： 中画質記録
L(Long)： 長時間画質記録

動き検出

動き検出の感度を設定します。

切： 動き検出を無効にします。

標準： 標準の感度で動き検出します。

ユーザー：感度を自由に設定できます。

出入口 高、出入口 低、通路 高、通路 低、
レジ 高、レジ 低、ATM 高、ATM 低、
ロビー 高、ロビー 低、通用門 高、通用門 低、
駐車場 高、駐車場 低、低照度 高、低照度 低、
エレベータ、カウンタ：

決められた感度で動き検出します。

※ 詳細は35ページ「決められた感度で動き検出する」をご参照ください。

5. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

6. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

記録運用設定をする（つづき）

コマ数設定の制限

- 下記(1)～(3)の合計コマ数が120（または60）を超えないように設定する必要があります。合計コマ数は、「基本設定-1」の「記録画像モード」（18ページ）で“滑らか”に設定した場合は120、“高精細”に設定した場合は60になります。

(1)通常記録のコマ数の合計

(2)アラーム記録のコマ数の合計

(3)各カメラの、通常記録とアラームの多い方のコマ数を合計したもの

- ※ アラーム記録のコマ数を[AUTO]に設定した場合は、アラーム記録のコマ数を1コマと見なして計算します。

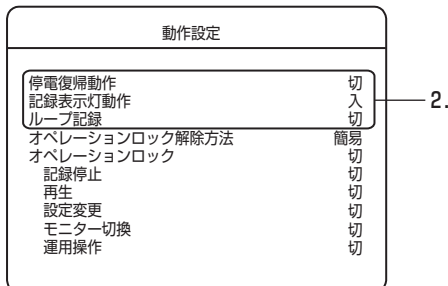
カメラ台数を変更する場合の手順

1. 標準記録運用設定や記録運用1～9を使用している場合は、記録運用設定データ（通常記録、アラーム記録時のコマ数、画質、動き検出）を全てメモしてください。
 2. 18ページに記載されている「基本設定」でカメラの台数運用設定を変更してください。
 3. 手順2.の「基本設定」完了後、手順1.でメモした記録運用設定データを元に設定してください。
- ※ 一時的な設定変更の場合は、元のデータをUSBメモリなどにバックアップを取っておくことをおすすめします。（58ページ「設定データをフラッシュメモリに保存する」をご参照ください。）

動作設定をする (停電復帰動作、記録表示灯動作、ループ記録)

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、
「メニュー」→「運用詳細設定」→「表示／動作設定」
→「動作設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

停電復帰動作

停電後の復帰で記録をするかどうかの設定をします。

切： 停止状態になります。

強制記録： 通常記録を開始します。

停電前保存：停電前に記録だった場合のみ、停電前と同じ設定で記録を開始します。

※ タイマー動作中は、タイマー設定の内容に従って記録動作を行ないます。

記録表示灯動作

記録中に「記録」表示灯を点灯させるかどうかを設定します。

切： 点灯しません。

入： 点灯します。

ループ記録

ハードディスクの残容量がなくなったときの動作の設定をします。1週間／2週間／1ヶ月のいずれかを設定した場合、保存期間指定ループ記録を設定したことになります。(100ページにループ記録の解説があります。)

切： 記録を停止します。

アラームロック：古い記録から上書きして記録を継続します。但し、アラーム記録、エマージェンシー記録やパスコード不適合検出記録は上書きしません。

全て： 古い記録から上書きして記録を継続します。

1週間： 保存期間指定ループ記録の保存期間を1週間に設定します。

2週間： 保存期間指定ループ記録の保存期間を2週間に設定します。

1ヶ月： 保存期間指定ループ記録の保存期間を1ヶ月(31日間)に設定します。

保存期間指定ループ記録：

指定した保存期間(1週間、2週間または1ヶ月)の記録がハードディスクに保存されます。保存期間よりも古い記録は、アラーム記録、通常記録の区別なく自動的に削除されます。保存期間に達する前にハードディスクが一杯になった場合、アラーム記録、通常記録の区別なく古い記録から削除されます。

メモ

保存期間指定ループ記録の動作時間は、指定期間に対して最大7時間の誤差があります。

(例) 保存期間を1週間(168時間)に設定した場合

- 現時点から168時間以内の記録は保存されます。(ただし、ハードディスクの容量が十分ある場合に限りです。)
- 168時間から175時間内の記録は、削除されているかどうかは不定です。
- 175時間以前の記録は、確実に削除されます。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

アラーム記録をする

停止中、および通常記録／タイマー記録中に、アラーム端子の入力や動き検出がされたとき、アラーム記録が開始されます。

エマージェンシー記録

1. [EMERGENCY] 端子にアラーム機器を接続する
 2. 記録詳細設定をする（28ページ）
「エマージェンシー記録」を“切”以外の設定にします。
 3. アラーム端子設定をする（33ページ）
「エマージェンシー入力」でエマージェンシー記録を行なうカメラを選択します。
 4. アラーム記録設定をする（34ページ）
「記録時間」でエマージェンシー記録時間を設定します。
- [EMERGENCY] 端子に信号が入力されたとき、記録が開始されます。

アラーム記録（信号入力端子）

1. [ALARM IN] 端子にアラーム機器を接続する
 2. 記録詳細設定をする（28ページ）
「アラーム音声記録」で音声記録の有無を設定します。
 3. 通常記録設定をする（29ページ）
「アラーム記録」の「コマ数」設定を“---”以外の設定にします。
 4. アラーム端子設定をする（33ページ）
アラーム入力端子に対し、有効となるカメラを選択します。
 5. アラーム記録設定をする（34ページ）
アラーム記録時間やブリアラーム記録の有無を設定します。
- [ALARM IN] 端子に信号が入力されたとき、記録が開始されます。

アラーム記録（動き検出）

1. 記録詳細設定をする（28ページ）
「アラーム音声記録」で音声記録の有無を設定します。
2. 通常記録設定をする（29ページ）
 - 「アラーム記録」の「コマ数」設定を“---”以外の設定にします。
 - 「動き検出」を“切”以外の設定にします。
3. アラーム記録設定をする（34ページ）
 - アラーム記録時間やブリアラーム記録の有無を設定します。
 - 動き検出レベルを設定します。（記録運用設定で動き検出の感度を“ユーザー”に設定した場合のみ）
4. 動き検出エリア設定をする（37ページ）

■ 入力映像で動きが検出されたとき、記録が開始されます。

メモ

- アラーム記録中やエマージェンシー記録中、フロントパネルの[アラーム]表示灯が点灯します。記録を終了すると点滅します。
- 「ブザー」設定の「アラームブザー」設定を“入”に設定した場合、アラーム／エマージェンシー記録中にブザーがなります。（50ページ）
- 設定メニュー画面が開いている場合は、アラーム記録は行なわれません。
- エマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）の場合、記録コマ数は、合計コマ数（記録画像コマ数が「滑らか」の場合は120コマ、「高精細」の場合は60コマ）を選択したエマージェンシー入力数で均等割したコマ数となります。

アラーム入力端子設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「アラーム入力端子設定」の順に開きます。

アラーム入力端子設定	
アラーム端子	
端子 1	(1)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 2	(-)(2)(-)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 3	(-)(-)(3)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 4	(-)(-)(-)(4)(-)(-)(-)(-)
端子 5	(-)(-)(-)(-)(5)(-)(-)(-)
端子 6	(-)(-)(-)(-)(-)(6)(-)(-)
端子 7	(-)(-)(-)(-)(-)(-)(7)(-)
端子 8	(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(8)
端子 9	(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(9)
エマージェンシー入力	(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)

- 縦軸にアラーム入力端子、横軸にカメラ入力を配列した表になっています。
 - それぞれのアラーム入力端子に信号が入力されたとき、その右にカメラ入力を表す数字が表示されていれば有効、“-”であれば無効であることを示しています。
- ※ エマージェンシー記録端子についても、アラーム入力端子と同じ扱いで対応カメラ入力を設定できます。

2. [▲/▼/◀/▶]で設定したい項目を選び、[-/+]で有効／無効を設定する

設定項目

端子⇄対応カメラ入力

1、2、3、4、5、6、7、8、9：

端子に信号の入力があつたとき、記録を開始します。

-： 端子に信号の入力があつても、記録を開始しません。

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

アラーム記録設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「アラーム記録設定」の順に開きます。

2. [◀/▶]で設定するカメラ入力を選ぶ

3. [▲/▼]で設定項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

記録時間

10秒、15秒、30秒、1分、3分、5分：

設定した時間だけアラーム記録します。
アラーム記録中に追加してアラーム検出すると、その時点からさらに設定した時間だけ記録を延長します。

マニュアル： 信号が入力されている間、記録を継続します。

ブリアラーム設定

切： ブリアラーム記録をしません。

10秒、30秒、60秒：

設定した時間だけブリアラーム記録します。

4. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

5. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

※ ブリアラーム記録は、アラーム記録設定をしていて、記録をしていない状態のときのみ、アラーム検出に備えて記録をしています。

101ページにブリアラーム記録の解説があります。

※ 設定メニュー画面が開いている場合は、動き検出を含むアラーム記録に入りません。

アラーム記録を停止する

アラーム記録（信号入力端子、動き検出）中に、[アラーム解除]を押したり[ALARM RESET]端子に信号を入力することで、アラーム記録を停止することができます。

※ アラーム記録を一度解除すると、15秒間新規の動き検出によるアラーム記録を受け付けません。

前面ボタンでアラームを解除する

■ アラーム記録中に[アラーム解除]を押す

- アラーム記録が停止します。

信号入出力端子でアラームを解除する

■ アラーム記録中に[ALARM RESET] 端子に信号を入力する

- アラーム記録が停止します。

※ アラーム記録を行なう場合は、「基本設定 - 3」あるいは「通常記録設定」においてアラーム記録のコマ数を「ー ー」以外に設定してください。
(19ページ、29ページ)

※ アラーム件数が増大すると、再生時の検索に時間がかかることがあります。

動き検出機能を使う

動き検出には、決められた設定で検出を行なう方法と、検出感度を自由に設定して検出を行なう方法の2通りがあります。また、画面中の検出をする範囲を設定することができます。

※ メニュー操作中は、動き検出できません。

決められた感度で動き検出する

決められた設定値で動き検出するときは、「通常記録設定」の「動き検出」の設定値に“標準”、またはシーン名を選びます。各シーンの設定値は下表の通り。

表1：シーン別設定値

シーン	詳細設定		
	動作感度レベル	停止レベル	対象エリアレベル
標準	8	2	2
ユーザー	[1～10] 8: 初期値*	[1～3] 2: 初期値*	[1～10] 2: 初期値*
出入口 高	9	1	1
出入口 低	8	3	2
通路 高	9	1	1
通路 低	8	3	2
レジ 高	9	1	1
レジ 低	8	3	2
ATM 高	8	1	1
ATM 低	7	3	3
ロビー 高	10	1	1
ロビー 低	9	3	2
通用門 高	10	1	1
通用門 低	9	3	3
駐車場 高	10	1	1
駐車場 低	9	3	3
低照度 高	10	1	1
低照度 低	10	3	2
エレベータ	9	2	1
カウンタ	7	2	2

* 初期値：工場出荷時の設定値で、アラーム記録設定（34ページ）の中で動作感度レベル、停止レベル、対象エリアレベルの3つの値が選択できます。

動作感度レベル：(1～10)

検出のレベル値で、大きいほど感度が高くなります。

停止レベル：(1～3)

動作感度レベルオフセット値で、大きいほどアラーム検出が途切れにくくなります。

対象エリアレベル：(1～10)

検出する物体の大きさの値で、大きいほど小さい物体の動きを検出しにくくなります。

対象エリアレベルと、検出エリア数の関係は、下表の通り。

表2：対象エリアレベルと検出エリア数

対象エリアレベル	1	2	3	4	5
検出エリア数	1	2	3	4	5
対象エリアレベル	6	7	8	9	10
検出エリア数	6	8	10	15	20

メモ

- 対象エリアレベルは、表2の該当する検出エリア数以上のエリアで動きを検出した場合に“動きあり”と判定するための設定です。
- 対象エリアレベルは37ページの「動き検出エリア設定」で設定したエリアの数を超えないように表2の検出エリア数に該当する対象エリアレベルを選択してください。
- 頻繁に動き検出するような設定にした場合、アラーム件数が増大して再生時の検索に時間がかかるようになりますのでご注意ください。
- カメラを接続した場合、蛍光灯などのフリッカーにより、動き検出の誤動作が発生することがあります。この場合は、カメラをフリッカーレスに設定してください。
- カメラ映像に含まれるノイズ成分が多いと、誤検出することがあります。夜間などカメラのAGCが働いた場合でも、誤検出しないように設定してください。
- 本機の動き検出機能は、明るさの変化を検知して動き検出を行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しないなどの誤動作を起こす場合があります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作しないように設定してください。

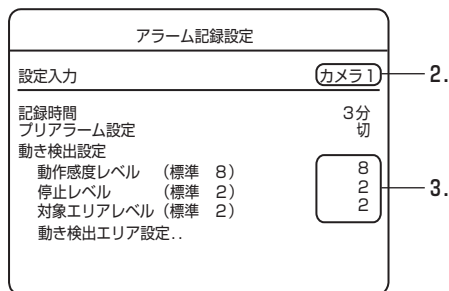
カメラ映像を記録する

感度を自由に決めて動き検出する

「通常記録設定」の「動き検出」の設定値を“ユーザー”に設定したときは、「動作感度レベル」「対象エリアレベル」「停止レベル」の3項目で感度の設定ができます。これらの設定は、“ユーザー”以外を選んだときには無効になります。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「アラーム記録設定」の順に開きます。



2. [◀/▶]で設定するカメラ入力を選ぶ

3. [▲/▼]で設定項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

動作感度レベル

検出のレベル値で、大きいほど感度が高くなります。

設定範囲

1 (低感度) ～ 10 (高感度)

停止レベル

動作感度レベルオフセット値で、大きいほどアラーム検出が途切れにくくなります。

設定範囲

1 ～ 3

対象エリアレベル

検出する物体の大きさのレベル値で、大きいほど小さい物体の動きを検出しにくくなります。

設定範囲

1 (小さい) ～ 10 (大きい)

4. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

5. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

マニュアル設定について

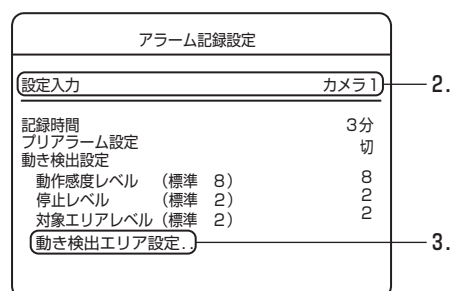
標準、もしくは他のシーンでご希望の検出ができない場合に、マニュアル設定をご使用ください。3つの設定値は、35ページの「表1：シーン別設定値」、「表2：対象エリアレベルと検出エリア数」を参考にして決めてください。

動き検出エリア設定をする

動き検出をするエリアを設定します。この設定は、感度に“ユーザー”を選んだとき、および“ユーザー”以外を選んだときの両方に適用されます。

1. [メニュー]を押す

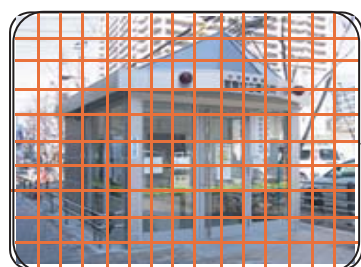
- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「アラーム記録設定」の順に開きます。



2. [◀/▶]でエリア設定をしたいカメラ入力を選ぶ

3. [▲/▼]で「動き検出エリア設定」を選び、[決定]を押す

- 「動き検出エリア設定」画面が開きます。画面が16 × 12 = 192エリアに分割されて表示されます。各エリアごとに検出の有効/無効の設定ができます。



現在の有効なエリアは青色で表示されています。

4. [▲/▼/◀/▶]で領域を選択し、[-/+]で有効/無効を切り換える

- [+]を押すとエリアは有効となり、青色で表示されます。[-]を押すとそのエリアは無効となります。
- [機能]を押しながら[+]を押すと全領域が有効になります。[機能]を押しながら[-]を押すと全領域が無効になります。

5. [決定]を押す

- 4.の操作で動き検出エリアを変えた場合は、確認画面が表示されますので、次の6.の操作を行ってください。
- 動き検出エリアを変えなかった場合は、動き検出チェック画面が表示されます。(37ページ 動き検出のチェックモード)

6. [◀/▶]で確認画面の「更新」を選び、[決定]を押す

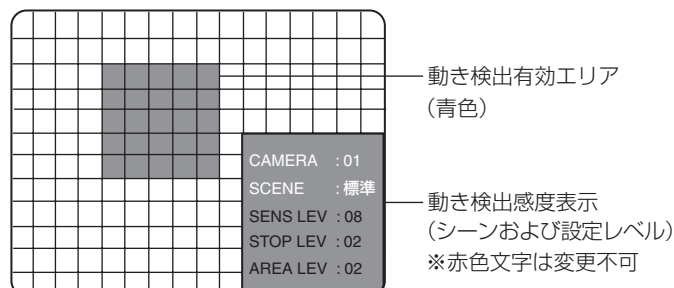
- 動き検出エリアの登録が完了します。

■ [戻る]を押すと、前の画面に戻ります。

動き検出のチェックモード

「動き検出エリア設定」画面表示時、[決定]を押すと、動き検出のチェックモードになります。

動き検出チェック画面



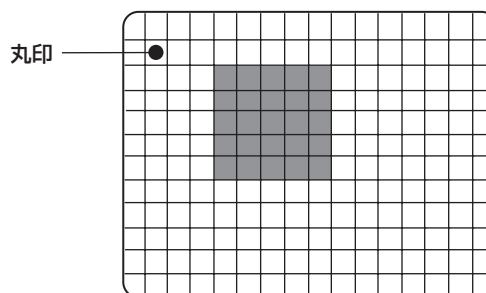
1. [-/+]を押すと、動き検出感度を選択できます。

2. [決定]を押すと、動き検出のチェックを始めます。

動き検出の有無により、チェック画面の左上部の丸印の色は下記のようになります。

赤色： 動き検出有り。

グレー： 動き検出無し。



3. [戻る]を押すと、「動き検出エリア設定」画面に戻ります。

※ 動き検出がうまくできなかった場合は、[決定]を押して「動き検出チェック」の画面を表示させ、再チェックを行なうため、上記1.~3.の操作を繰り返してください。

■ [戻る]を押すと、前の画面に戻ります。

※ 「動き検出設定 (シーンおよびレベル設定)」は動き検出が出来る設定に見直してください。

(29ページ 動き検出)

(36ページ 感度を自由に決めて動き検出する)

ご注意

動き検出有効のエリアが35ページ表2の対象エリアレベルの検出エリア数より小さい場合、動き検出は実行されません。

週間タイマー

毎日設定を含め8パターンのタイマー設定ができます。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「週間タイマー設定」の順に開きます。

2.	3.	4.	5.	6.	7.
週間タイマー設定					
開始	終了	モード	実行		
日曜	***	***	***	***	***
月曜	***	***	***	***	***
火曜	***	***	***	***	***
水曜	***	***	***	***	***
木曜	***	***	***	***	***
金曜	***	***	***	***	***
土曜	***	***	***	***	***
毎日	---	---	---	---	---
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜 土曜

8.

2. 開始曜日を設定する

3. 開始時刻を設定する

4. 終了曜日を設定する

5. 終了時刻を設定する

6. モード（記録運用モード）を選択する

7. 実行を選択する

8. 「毎日」設定時の記録曜日の設定をする

（開始曜日に「毎日」を設定した場合、曜日毎に記録する／しないを選択できます。）

- ※ 設定内容を削除したい場合は、カーソルを削除したいタイマー設定に合わせ[キャンセル]を押してください。

2. ～8. で使用するボタン

[▲/▼/◀/▶]：項目の選択

[-/+]：設定値の変更

設定項目

開始曜日

日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜：
記録を開始する曜日を設定します。

毎日： 毎日記録するときに指定します。「記録曜日」の設定と組み合わせて、月～金や月水金など決まった曜日に記録をする設定もできます。

開始時刻

00：00～23：59： 記録を開始する時刻を設定します。

終了曜日

日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜：
記録を終了する曜日を設定します。開始曜日に“毎日”を選んだときは設定できません。

終了時刻

00：00～23：59： 記録を終了する時刻を設定します。

モード

標準、記録運用1～9：

複数の記録運用設定の中から適切な設定を選択します。（記録運用設定 29ページ）

実行

切： タイマーを実行しません。

入： 1回だけ実行したのち、「切」になります。

毎週： 毎週、タイマーを実行します。

- ※ 開始曜日を「毎日」に設定した場合は「入」と「切」のみ選択できます。また「入」を選択した場合は、常に実行を継続します。

記録曜日

開始曜日に「毎日」を選んだときに、記録する曜日を設定します。開始曜日に「毎日」を選んだ全てのプログラムに適用されます。

- 「月曜」など、表示された曜日は記録します。
- 記録しない曜日の場所には「-」が表示されます。

9. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

10. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

- ※ 設定内容が不正な場合、“設定に不備があります。正しく入力しなおしてください。”と表示され、カーソルの上下移動やメニュー画面から抜けることができなくなります。
この場合は、[キャンセル]を押して設定をリセットするか、または該当する行の設定をやり直してください。

タイマー録画を行なうための操作やタイマー運用モードについては39ページをご覧ください。

メモ

- 週間タイマーと日付指定タイマーの設定が重なっているときは、日付指定タイマーが優先されます。（26ページ）
- プログラムタイマーが同時刻に起動する場合は、設定リストの上側の設定が優先されます。
- プログラムタイマーが重なった場合、先に開始したタイマーが優先され、タイマー記録が終了するまで設定が保持されます。
ただし、記録終了後、2つ以上のプログラムタイマーが登録されていた場合、開始時刻に関係なく、設定リストの上側の設定が優先されます。

日付指定タイマー

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「記録詳細設定」→「日付指定タイマー設定」の順に開きます。

2. 開始時刻を設定する

3. 終了時刻を設定する

4. モード（記録運用モード）を選択する

5. 実行を選択する

6. 記録日を設定する

2. ～6. で使用するボタン

[▲/▼/◀/▶] : 項目の選択

[−/+]: 設定値の変更

設定項目

開始時刻

00:00～23:59: 記録を開始する時刻を設定します。

終了時刻

00:00～23:59: 記録を終了する時刻を設定します。

モード

標準、記録運用1～9:

複数の記録運用設定の中から適切な設定を選択します。(記録運用設定 29ページ)

実行

切: タイマーを実行しません。

入: 毎年、タイマーを実行します。

記録日

1月1日～12月31日: 記録する日付を設定します。

7. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

8. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

※ 設定内容が不正な場合、“設定に不備があります。正しく入力しなおしてください。”と表示され、カーソルの上下移動やメニュー画面から抜けることができません。

この場合は、[キャンセル]を押して設定をリセットするか、または正しく入力しなおしてください。

タイマー録画モードにする

1. 「記録詳細設定」の「運用切換ボタン操作」設定を“プログラムタイマー”に設定する(28ページ)

2. フロントパネルの[タイマー／運用切換]を押し、タイマー／運用切換 表示灯を点灯させる

- タイマー運用モードになります。

週間タイマー設定／日付指定タイマー設定で指定した通りに記録が開始・停止します。

■ タイマー運用モード時、下記の操作はできません。

- オペレートOFF操作
- 信号入力出力端子によるオペレートOFF操作
- [記録／停止]ボタンや[EXT REC IN]端子による記録操作
- タイマープログラムの変更

上記の操作を行なう場合は、[タイマー／運用切換]を押し、タイマー運用モードを解除させてください。(タイマー／運用 表示灯を消灯させる。)

メモ

週間タイマー／日付指定タイマーを使用する場合、一旦記録を停止してからタイマー運用モードにしてください。記録状態のまま、直接タイマー運用モードにしても停止モードにはなりません。記録運用の設定により、記録を続行することがあります。

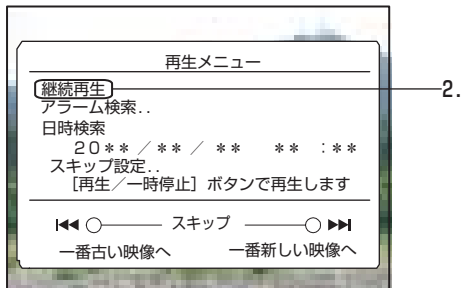
記録した画像を再生する

画像を再生する

記録した画像を再生します。再生したい画像の検索方法として、見たい日付けの画像を探す、日時検索（43ページ）やアラーム記録の画像を探す、アラーム検索（42ページ）があります。

1. [再生／一時停止]を押す

- 「再生メニュー」画面が開きます。



2. [▲/▼] で「継続再生」を選び、[再生／一時停止]を押す

- 再生が始まります。

■「再生メニュー」画面表示中に[スキップ]を押すと、一番古い画像／一番新しい画像を表示します。

再生を一時停止する

3. [再生／一時停止]を押す

- 再生を一時停止します。
- 再度、[再生／一時停止]を押すと再生を再開します。

再生をやめる

4. [再生停止]を押す

- 再生メニューに戻ります。

5. 再度[再生停止]を押す

- 再生メニューが閉じます。

記録中に再生する（記録同時再生モード）

記録中に記録した画像を見ることができます。
記録中の画像には影響しません。

1. 記録中に[再生／一時停止]を押す

- 記録中であっても、通常と同じ操作で再生が可能です。

■ 記録同時再生モードでは次の再生が可能です。

- 通常の再生
- アラーム検索 → 42ページ
- 日時検索 → 43ページ
- ジョグ・シャトル再生 → 43ページ
- スキップ再生 → 44ページ

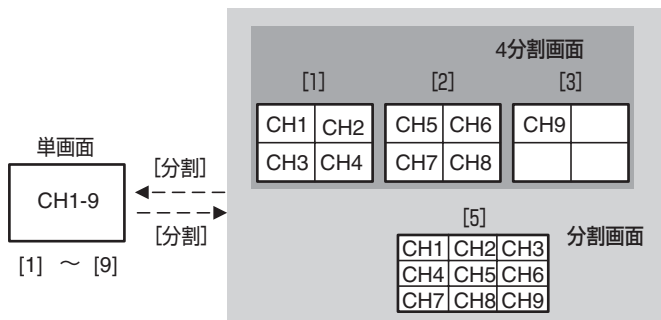
ご注意

- 記録と同時に再生すると、再生画が遅くなったり、音声途切れる場合がありますが、この場合でも記録画像への影響はありません。
- 本機は、ハードディスクの状態を正常に保つため、自動で定期的にメンテナンスモードに入ります。メンテナンス実行中は、再生音が途切れたり画像が遅れることがあります。このような時はモニター画面のモード表示（DB/）が消えてから、再度再生してください。また、記録中の画像には影響ありません。（23ページ）
- 停電が発生した時刻付近の記録は正常に再生されない場合があります。
- 記録中に記録した画像を見る場合、最新の記録時刻に近い画像を再生できないことがあります。この場合は、一旦、再生を停止し、少し間をおいてから再生を開始してください。
- 本機は特殊な記録方式を採用しており、設定条件によっては、画像と音声はずれる場合があります。
- ループ記録の設定を保存期間指定ループ記録以外（切／アラームロック／全て）から保存期間指定ループ記録（1週間／2週間／1ヶ月）に変更した場合、保存期間よりも古い記録削除に時間を要する場合があります。記録削除実行中は、モニター画面のモード表示に（DB/）が表示されます。再生中の画像が削除対象になった場合、黒画面になり再生が停止します。このような時はモニター画面のモード表示（DB/）が消えてから、再度再生してください。

再生画面の切換

本機は、単画面、分割画面で画像を再生できます。

※ 再生時、シーケンシャル表示はできません。



単画面

- 分割表示灯とシーケンシャル表示灯の両方が消灯します。



■ [1]～[9]を押すと、対応するカメラ入力に切り換わります。

■ [分割]を押すと9分割画面になります。

分割画面

- 分割表示灯は点灯、シーケンシャル表示灯は消灯します。

1. [1]を押すと4分割A 画面になります。

CH1	CH2
CH3	CH4

2. [2]を押すと4分割B 画面になります。

CH5	CH6
CH7	CH8

3. [3]を押すと4分割C 画面になります。

CH9	

4. [5]を押すと9分割画面になります。

CH1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	CH9

※ 分割画面ごとの画面配置は、「ライブ映像」画面で設定できます。(21ページ)

※ ライブ映像と再生画像では分割画面のボーダー位置が多少違って表示されます。

※ 分割画面で[4]を押しても6分割画面になりません。9分割画面になります。

■ [分割]を押すと単画面になります。

ご注意

9分割画面再生時に、音声出力するように設定されていると、以下の場合に再生される画像コマ数が制限されます。音声出力設定の「リンク指定選択以外」を「音声1」または「音声2」に設定した場合は、5チャンネル以上の再生時に、1秒間に再生されるコマ数が最大2コマまたは3コマになります。

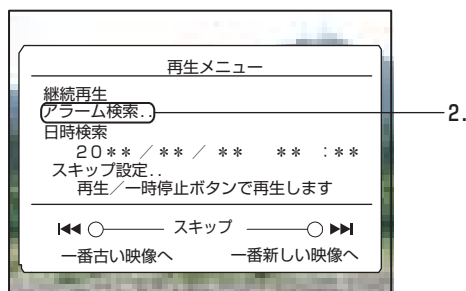
コマ数の制限をされたくない場合は、音声出力設定の「リンク指定選択以外」を「切」に設定変更してください。(45ページ)

記録した画像を再生する

アラーム検索をする

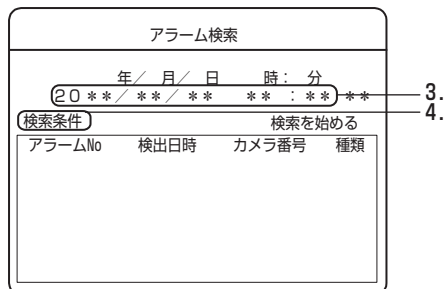
1. [再生／一時停止]を押す

- 「再生メニュー」画面が開きます。



2. [▲/▼]で「アラーム検索」を選び、[決定]を押す

- 「アラーム検索」画面が開きます。

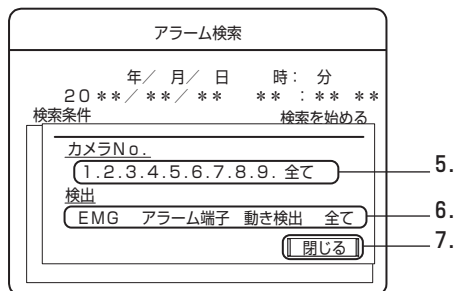


3. [◀/▶]で年/月/日/時/分を選び、[-/+]で数値を変更する

- 検索条件を変更する場合は →4. へ
- 検索条件を変更しない場合は →8. へ

4. [▲/▼/◀/▶]で「検索条件」を選び、[決定]を押す

- 検索条件入力画面が開きます。



5. [◀/▶]で検索するカメラ入力を選び、[決定]を押す

- 選択したカメラ番号（記録したカメラの番号）にマークが付きます。（再度、[決定]を押すと、マークは消えます。）

6. [▲/▼/◀/▶]で検索するアラーム種別を選び、[決定]を押す

- 選択したアラーム種別にマークが付きます。

アラーム種別

EMG： エマージェンシー記録、パスコード不適合検出記録

アラーム端子：アラーム信号入力端子によるアラーム記録

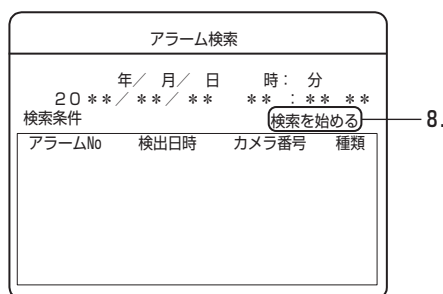
動き検出： 動き検出によるアラーム記録

全て： エマージェンシー記録、パスコード不適合検出記録および全てのアラーム記録

※ アラーム種別を選択しない場合は、「全て」のアラーム種別を検索します。

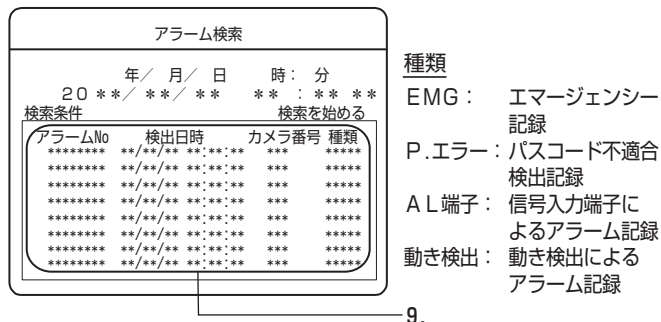
7. [▲/▼]で「閉じる」を選び、[決定]を押す

- 検索条件入力画面が閉じます。



8. [▲/▼/◀/▶]で「検索を始める」を選び、[決定]を押す

- 検索結果の一覧が表示されます。



9. [▲/▼]で再生したい日時の記録画像を選び、[決定]を押す

- 選んだアラーム画像の再生が始まります。

※ [-]を押すと、100件分古い番号へジャンプします。
残件数が100件未満の場合は、一番古いリストをセンターに表示します。

[+]を押すと、100件分新しい番号へジャンプします。
残件数が100件未満の場合は、一番新しいリストをセンターに表示します。

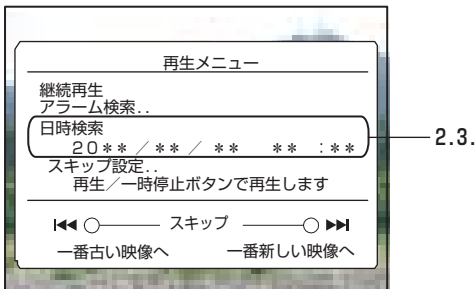
※ 「非表示カメラ設定」が有効になっているカメラは検索対象から除外されます。「非表示出力選択」を[モニター出力]を含まない設定にするか、または「再生表示許可」を[する]に設定して、再度検索を行ってください。（25ページ 非表示カメラ設定）

※ プリアラーム記録がある場合は、プリアラーム記録の開始位置にジャンプします。（101ページ プリアラーム記録のしくみ）

日時検索をする

1. [再生／一時停止]を押す

- 「再生メニュー」画面が開きます。



2. [▲/▼]で「日時検索」を選ぶ

3. [◀/▶]で年／月／日／時／分を選び、[-/+]で数値を変更する

4. [再生／一時停止]を押す

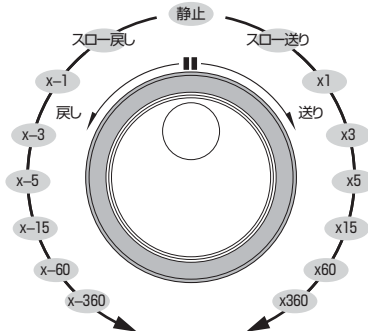
- 検索日時から再生が始まります。
- 検索日時の記録画像がない場合は、その近くから再生が始まります。

再生スピードを変える（ジョグ・シャトル再生）

ジョグ・シャトルダイヤルを回すことにより、再生スピードを変えることができます。見たい画面を探すのに便利な機能です。

シャトルダイヤルを回す

- 再生中または一時停止中にシャトルダイヤルを回すと、早送り、早戻し、スロー再生が始まります。



※ シャトルダイヤルを回して早送りや早戻しを行なう場合の再生スピード表示は目安です。再生のモード（分割画面、単画面）や記録のモード（アラーム記録、記録コマ数）などの条件によってスピードが変わる場合があります。

- ※ シャトルダイヤルによるスロー戻し動作の目安は次のようになります。
 - ・ 高精細記録（30コマ記録）の単画面時：
 - 1コマ置きにスロー再生
 - ・ 上記以外の単画面時：全コマスロー再生
 - ・ 分割画面時：1秒間に最大2コマまたは3コマ分だけをスロー再生

ジョグダイヤルを回す

- 再生中にジョグダイヤルを回すと、コマ送り再生をします。
- 時計回りに回転させると、順方向のコマ送り再生をします。
- 反時計回りに回転させると、逆方向のコマ送り再生をします。
- 回転をやめると、一時停止になります。
ただし、順方向／逆方向コマ送りを続けていると、回転をやめても多少動き続けることがあります。

ジョグ・シャトル再生をやめる

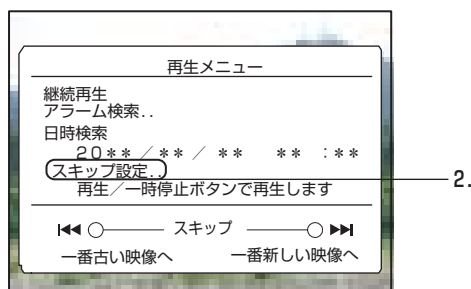
- [再生／一時停止]を押すと、（標準速の）再生になります。
- [再生停止]を押すと再生メニューに戻ります。

記録した画像を再生する

記録画像をスキップして見る

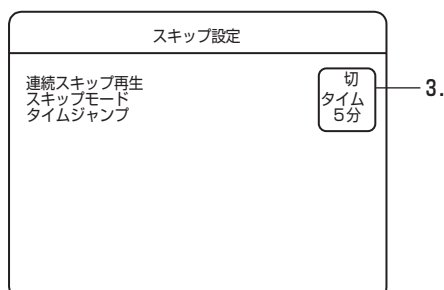
1. [再生／一時停止]を押す

- 「再生メニュー」画面が開きます。



2. [▲/▼]で「スキップ設定」を選び、[決定]を押す

- 「スキップ設定」画面が開きます。



3. [▲/▼]で設定項目を選び、[-/+]で設定を変更する

設定項目

連続スキップ再生

切： 連続スキップ再生は無効です。

1秒、5秒、10秒：

「スキップモード」で設定した条件でスキップ動作を繰り返し、その間設定した秒数で再生します。

※ 自動で検索→再生→検索→再生を繰り返す再生を、連続スキップ再生と呼びます。

スキップモード

タイム： 「タイムジャンプ」で設定した時間だけジャンプします。

イベント： 記録開始位置（通常記録とアラーム記録の両方）にジャンプします。

アラーム： アラーム記録の開始位置にジャンプします。
プリアラーム記録がある場合は、プリアラーム記録の開始位置にジャンプします。（101ページ プリアラーム記録のしくみ）

タイムジャンプ

1分、5分、10分、30分、1時間、4時間、1日、1週間：
スキップモードに「タイム」を設定したときの、1回にジャンプする時間です。

スキップ動作の詳細については、102ページの「スキップジャンプについて」を参照してください。

4. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

5. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

6. [戻る]を押して、「再生メニュー」画面に戻る

7. 「継続再生」を選択し、再生モードにする

8. 再生中、[スキップ]を押すと、前または次の画像にジャンプする

※ 「再生メニュー」画面表示時、[スキップ]を押すと、一番古い画像または一番新しい画像にジャンプします。

※ ご使用になるモニターによっては、画面切り換え時、画像が一瞬乱れる場合があります。

記録画像を拡大して見る

記録画像を拡大して見るができます。

単画面表示のみ拡大できます。

※ ライブ映像表示時は、拡大表示できません。

1. 再生を開始する（40ページ 「画像を再生する」）

2. [1]～[9] を押し、拡大したいカメラ入力を選ぶ

3. [再生／一時停止] を押す

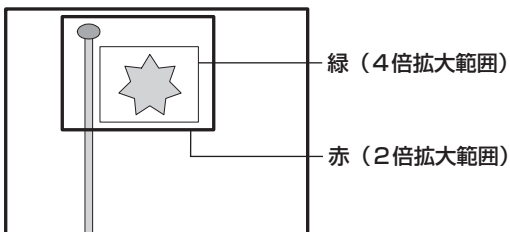
- 一時停止になります。

※ 再生時からでも拡大表示ができます。

2倍拡大表示

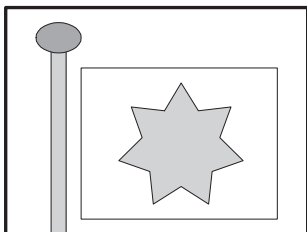
4. [1]～[9]（2.で押したボタン）を約2秒間長押しする

- 画面に拡大表示範囲が表示されます。



5. [▲/▼/◀/▶] で拡大表示範囲を動かし、[決定] を押す

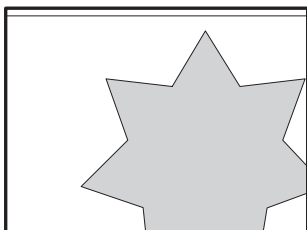
- 選択範囲が2倍に拡大表示されます。
- [▲/▼/◀/▶] で表示範囲を調整できます。



4倍拡大表示

6. [+] を押す

- 4倍拡大表示になります。
- [▲/▼/◀/▶] で表示範囲を調整できます。
- [-] を押すと2倍拡大表示に戻ります。



拡大表示を終了する

7. [戻る] を押す

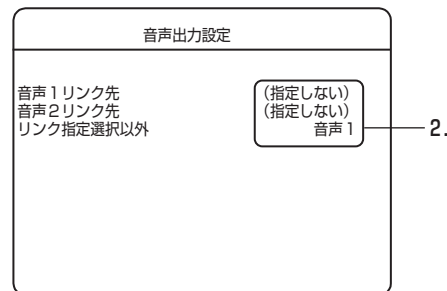
再生メニューまたは設定メニューを表示した場合、拡大表示は終了し、元の再生時の表示サイズに戻ります。

音声出力設定

音声1、2を特定の入力にリンクさせるかどうかを設定します。また、分割画面の時や音声1、2のリンク先に指定しなかったカメラ入力の音声を設定します。

1. [メニュー] を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「音声出力設定」の順に開きます。



2. [▲/▼] で項目を選び、[-/+] で設定値を変更する

設定項目

音声1リンク先

- (指定しない)：リンク先を指定しません。

カメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4、カメラ5、カメラ6、カメラ7、カメラ8、カメラ9：

指定した入力の単画面表示時に、音声1が出力されます。

音声2リンク先

- (指定しない)：リンク先を指定しません。

カメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4、カメラ5、カメラ6、カメラ7、カメラ8、カメラ9：

指定した入力の単画面表示時に、音声2が出力されます。

リンク指定選択以外（分割画面表示時）

切： 音声を出力しません。

音声1：音声1を出力します。

音声2：音声2を出力します。

3. [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶] で「更新」を選び、[決定] を押す

- ※ 1秒間に記録するコマ数が1/5または1/10に設定された場合は、音声は出力されません。

（29ページ コマ数設定）

- ※ アラームが多く入った部分や分割画面の再生では音声は途切れる場合があります。

便利な機能

オンスクリーン表示の位置を変える

本機は、日付・時刻やカメラタイトルなどを下図のようにモニター画面にオンスクリーン表示させることができます。
オンスクリーン表示位置は変えることができます。

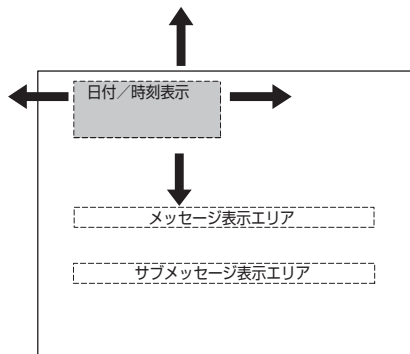
■ 本機を単画面のライブ映像表示モードにします。

- ※ 日時・時刻表示は単画面、分割画面のどちらでも設定できます。
- ※ カメラタイトルの表示位置の変更は、単画面のライブ映像表示時のみ可能です。
- ※ カメラタイトルの表示位置は各カメラ毎に変更できます。必要に応じて全てのカメラで変更ください。

1. [機能]を押しながら[メニュー]を押す

- ・ オンスクリーン表示位置調整モードになります。
- ・ “日付／時刻表示部”、“残量表示部”、“アラーム表示部”が青バックになります。

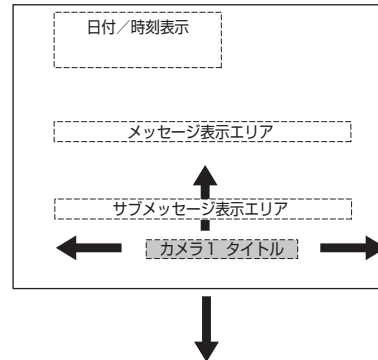
日付／時刻表示



2. [▲/▼/◀/▶]を押す

- ・ 日付／時刻表示部が同時に動きます。
- ・ “メッセージ表示エリア”に移動させないでください。ワーニング等のメッセージと重なり見づらくなります。

カメラタイトル表示



3. ライブ表示するカメラを選択する

[機能]を押しながら[1]～[9]を押します。

- ・ 選択したカメラのライブ画が表示されます。
- ・ “タイトル表示部”が青バックになり、表示位置調整モードになります。

4. [▲/▼/◀/▶]を押す

- ・ “タイトル表示部”を好きな位置に移動できます。
 - ・ “メッセージ表示エリア”に移動させないでください。ワーニング等のメッセージと重なり見づらくなります。
- ※ [キャンセル]を押すと元の表示位置に戻ります。

■ [メニュー]または[戻る]を押すと、再度、日付／時刻表示の位置設定に戻ります。

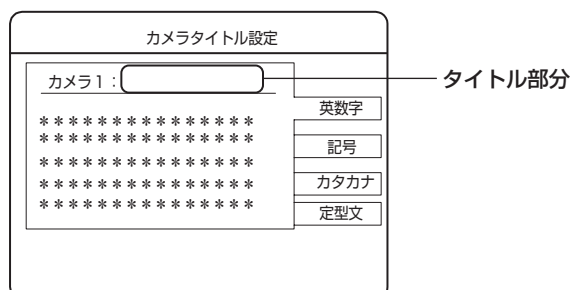
■ 再度、日付／時刻表示の位置設定の状態で[メニュー]または[戻る]を押すとオンスクリーン表示位置が確定され、通常画面に戻ります。

※ 4分割画面での表示位置は単画面表示時の相対位置となります。カメラタイトルの文字の大きさは同じです。

カメラタイトル設定

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「モニター出力設定」→「カメラタイトル設定」の順に開きます。

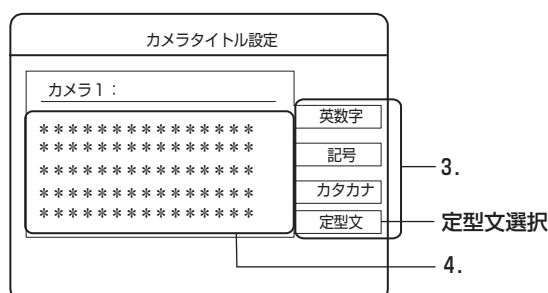


2. [シーケンシャル]を押して設定するカメラ入力を選ぶ

- [シーケンシャル]を押すごとに、カメラ入力が変わります。

3. [分割]を押して入力したい文字の種類を選ぶ

- [分割]を押すごとに、文字の種類が切り換わります。



4. [▲/▼/◀/▶]ボタンで文字を選び、[決定]を押す

- カメラタイトルに1文字（1単語）入力されます。

5. 3～4.の操作でカメラタイトルを最後まで入力する

- ※ [-]または[+]を押すと、タイトル部分のカーソルが前または後ろへ移動します。

入力可能文字数

半角文字（英数字、記号）..... 最大20文字

全角文字（定型文、カタカナ）..... 最大10文字

- ※ 文字数を最大にすると、4分割画面表示状態でオンスクリーン表示の動作状態マーカーと重なりますのでご注意ください。その場合は、カメラタイトル表示位置を調節してお使いください。（46ページ）

文字を消したいとき

- 消したいタイトル文字にカーソルを合わせ、[キャンセル]を押すと、カーソル位置の1文字消去できます。

6. カメラタイトル入力後、[シーケンシャル]を押す

- 確認画面が表示されます。

7. [更新]を選び、[決定]を押すと、タイトルが確定する

- 次のカメラのタイトルを設定してください。
- ※ [取消]を選択すると、タイトル入力前の状態に戻ります。

- [戻る]を押すと、前のメニュー画面に戻ります。

定型文の選択

「カメラタイトル設定」画面の「定型文」を選択し、[決定]を押すと、定型文選択画面が表示されます。

- [▲/▼/◀/▶]ボタンで定型文を選び、[決定]を押すと、定型文がカメラタイトルに反映されます。

定型文の種類：

カメラ、エレベーター、エントランス、ホール、非常口、通路、廊下、倉庫、階、車庫、出口、入口、風除室、東、西、南、北、上、下、左、右、券売機、両替機、計数機

ご注意

- カメラの接続を“なし”に設定しなると、そのカメラタイトルは表示されなくなります。
- 以前に記録された画像を再生する場合にも、カメラタイトルは表示されません。
- カメラタイトルを運用途中に変更した場合、変更前に記録した画像を再生した時のカメラタイトルも変更した後の表示となります。

6分割・9分割画面でのカメラタイトル表示について

6分割（左上部大画面以外）と9分割画面でのカメラタイトル表示文字数は、下記のように制限されます。

半角文字：10文字

全角文字：5文字

半角と全角文字が混在している場合は、5～10文字の範囲で表示します。

カメラタイトルの設定文字数が制限を超えている場合は、文字の右端に“..”が表示されます。

カメラ映像を調整する（設置時）

この調整は、設置時に行なってください。
複数カメラシステムで使用する場合、各カメラ毎に表示位置調整や画質調整ができます。

通常は、設定変更する必要はありません。

調整内容

調整は、4分割画面にオンスクリーン表示されるV.DETAILS SETUP 画面で行ないます。4分割画面には、4個のカメラ映像が表示されます。

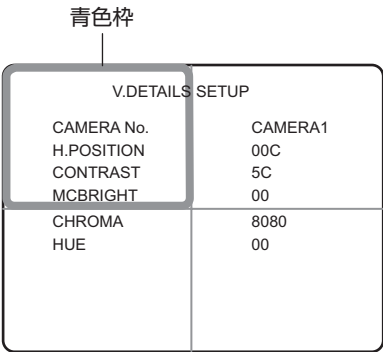
■ V. DETAILS SETUP

項目	内容および設定値 [] : 出荷時設定値
CAMERA No.	調整するカメラ番号を選択します。 [CAMERA1]～ CAMERA9
H.POSITION	映像に対する同期信号の位置を可変します。画面枠に対して映像の水平方向の位置がずれている場合、調整します。 [00C], 070 ～ 300
CONTRAST	コントラストを調整します。 [5C], 00 ～ FF
MCBRIGHT	明るさを調整します。 [00], 80 ～ 7F
CHROMA	色の濃さを調整します。 [8080], 0000 ～ FFFF
HUE	色相を調整します。 [00], 80 ～ 7F

調整方法

1. 通常画面表示時、[機能]と[分割]を同時に押す

- モニターに4分割画面が表示され、4分割画面上にV.DETAILS SETUP メニューが表示されます。
4分割画面には、4個のカメラ映像が表示されます。



2. V.DETAILS SETUP メニューを設定する

- 調整するカメラを選択します。
[◀]または[▶]を押すと、画面の青色枠が移動します。
調整したいカメラ画面枠を青色枠にします。
 - [▲]または[▼]を押して調整する項目を選択します。
 - [－]または[+]を押して設定値を変更します。
 - 設定値を変える毎に選択したカメラ映像が調整されます。
- 必要に応じ、上記操作を繰り返し行ないます。

3. 設定を保存する

- [戻る] または [メニュー] を約1秒間長押しします。
- 設定更新／取消の確認画面が表示されます。
V.DETAILS SETUPメニューの設定値に変更がない場合、V.DETAILS SETUPが終了し、モニターは通常画面に戻ります。

4. 設定値を更新する

- 本機メモリーの設定値を更新する場合は、[◀]または[▶]を押して「更新」を選択し、[決定]を押します。
本機メモリーの設定値を更新しない場合は、[◀]または[▶]を押して「取消」を選択し、[決定]を押します。
- もう一度 [戻る] または [メニュー] を約1秒間長押しすると、V.DETAILS SETUP が終了し、モニターは通常画面に戻ります。

オペレーションロックの設定をする

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、
「メニュー」→「運用詳細設定」→「表示／動作設定」
→「動作設定」の順に開きます。

動作設定	
停電復帰動作	切
記録表示灯動作	入
ループ記録	切
オペレーションロック解除方法	簡易
オペレーションロック	切
記録停止	切
再生	切
設定変更	切
モニター切換	切
運用操作	切

2.

2. [▲/▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

オペレーションロック解除方法

- 簡易： ボタン操作で解除できます。
- パスコード（モード1）：解除にパスコードの入力が必要です。
（55ページ パスコード設定）
- パスコード（モード2）：解除にパスコードやサブパスコードの入力が必要です。
- ※「簡易」および「パスコード（モード1）」を選択した場合は、オペレーションロック項目で選択したボタン操作を禁止します。
- 「パスコード（モード2）」を選択した場合は、すべてのボタン操作を禁止します。
- ※ パスコードが未設定時は、「簡易」のみ設定可能です。
“パスコード”には設定できません。

解除方法		解除されるボタン操作
簡易		禁止したすべてのボタン操作
パスコード（モード1）	パスコード入力	
パスコード（モード2）	サブパスコード	下記オペレーションロック項目で禁止していないボタン操作

オペレーションロック

- 切： オペレーションロックは無効です。
- 記録停止禁止：一部のボタン操作を禁止します。
（表4をご参照ください）
- 全て禁止： すべてのボタン操作を禁止します。
（表4をご参照ください）
- ユーザー設定：禁止するボタン操作をユーザーが任意に設定できます。（表5をご参照ください）

操作種別

記録停止、再生、設定変更、モニター切換、運用操作

設定値

入、切

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

- ※「ユーザー設定」で「設定変更」が「切」に設定されている場合、オペレーションロックが有効でも設定メニューを操作できますが、オペレーションロックに関する設定変更はできません。オペレーションロックを解除してから、設定変更してください。

表4：禁止するボタン操作（記録停止禁止、全て禁止）

操作種別	フロントボタン	記録停止禁止	全て禁止
記録停止	[記録/停止] [アラーム解除]	禁止 (記録開始は許可)	禁止
再生	[停止] [再生/一時停止] [シャトルダイヤル] [ジョグダイヤル] [スキップ]	許可	禁止
設定変更	[メニュー]	禁止	禁止
	[機能]	許可	禁止
モニター切換	テンキー [1] ～ [9] [分割] [シーケンシャル]	許可	禁止
運用操作	[オペレート] [タイマー/運用切換]	禁止	禁止
	[キャンセル]	許可	禁止

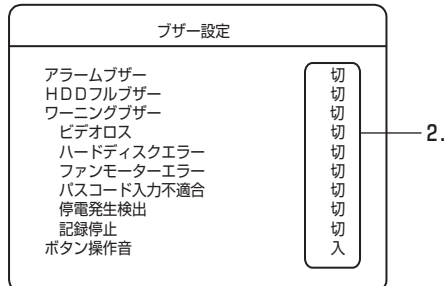
表5：禁止するボタン操作（ユーザー設定）

フロントボタン	操作種別
[記録/停止] [アラーム解除]	記録停止 (記録開始は許可)
[停止] [再生/一時停止] [シャトルダイヤル] [ジョグダイヤル] [スキップ]	再生
[メニュー] [機能]	設定変更
テンキー [1] ～ [9] [分割] [シーケンシャル]	モニター切換
[オペレート] [タイマー/運用切換] [キャンセル]	運用操作

ブザー設定

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「表示／動作設定」→「ブザー設定」の順に開きます。



2. [▲▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

アラームブザー

設定値：切、入

HDDフルブザー

設定値：切、入

ワーニングブザー

切： ブザーを鳴らしません。

全て： どのワーニングが発生したときも、ブザーを鳴らします。

ユーザー設定：

ワーニングの種類によって、ブザーを鳴らすかどうかを選択できます。

ワーニングの種類

ビデオロス、ハードディスクエラー、ファンモーターエラー、パスコード入力不適合、停電発生検出、記録停止

設定値：

切、入

※「表示設定」メニューの「ワーニング表示」設定が「切」に設定されている時は、「ワーニングブザー」設定を「入」に設定していてもブザー音は鳴りません。

※「表示設定」メニューの「記録停止通知表示」設定が「切」に設定されている時は、「ワーニングブザー」設定の「記録停止」を「入」に設定していてもブザー音は鳴りません。

ボタン操作音

設定値：切、入

3. [決定]を押す

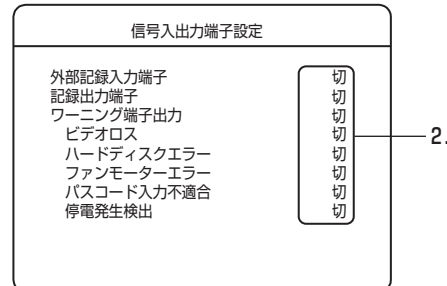
- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

信号入出力端子設定

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「表示／動作設定」→「信号入出力端子設定」の順に開きます。



2. [▲▼]で項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

設定項目

外部記録入力端子 (27ページ参照)

背面の[EXT REC IN]端子への入力により記録の開始／停止を操作します。

記録出力端子

切： 信号を出力しません。

全て： 記録中に、信号を出力します。

アラーム記録：アラーム記録中のみ、信号を出力します。

記録停止： 記録停止中に、信号を出力します。

ワーニング端子出力

切： 信号を出力しません。

全て： どのワーニングが発生したときも、信号を出力します。

ユーザー設定：

ワーニングの種類によって、信号を出力するかどうかを選択できます。

ワーニングの種類

ビデオロス、ハードディスクエラー、ファンモーターエラー、パスコード入力不適合、停電発生検出

設定値：

切、入

3. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

4. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

ハードディスクのメンテナンス

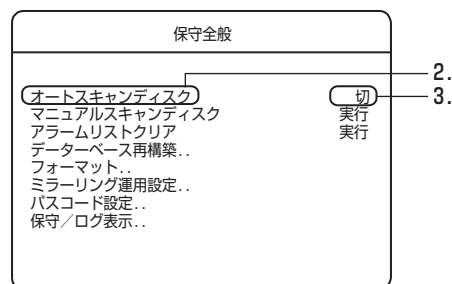
記録中やアラーム記録スタンバイ中に停電になったときや、ハードディスクの記録情報に障害が発生したときには、記録／再生が正常に行なえなくなってしまうます。本機は、2種類のスキャンディスクを備えハードディスクの障害を修復します。

オートスキャンディスク

電源を入れたときに自動でスキャンディスクを実行します。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」の順に開きます。



2. [▲/▼]で「オートスキャンディスク」を選ぶ

3. [-/+]で「入」を選ぶ

4. [決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

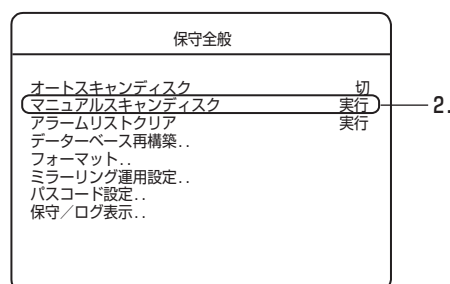
5. [◀▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

マニュアルスキャンディスク

手動でスキャンディスクを実行します。メニューの「オートスキャンディスク」項目を「切」で使っているときや、長時間電源を入れたまま使っているときは、定期的に（1ヶ月に1回程度）実行してください。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」の順に開きます。



2. [▲/▼]で「マニュアルスキャンディスク」を選び、[決定]を押す

- スキャンディスクが始まります。

- スキャンディスクを中断したいときは「キャンセル」を押してください。
- スキャンディスクを途中でやめると、その効果はありません。
- 記録イベントの容量が多かったり、件数が多いと、終了に時間がかかる場合があります。（数時間程度）
- スキャンディスク実行中は、記録・再生・検索などはできません。

ご注意

以下の動作モード時、マニュアルスキャンディスクは実行できません。

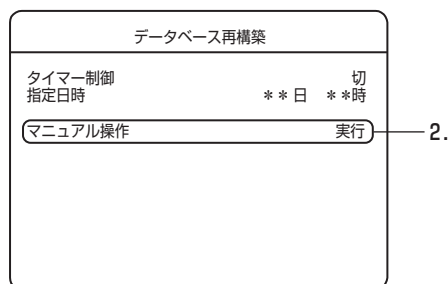
- 記録中
- 記録した映像の再生中
- タイマー運用時
- ハードディスクの動作異常が発生した場合

データベースの再構築

ループ記録を“全て”または“アラームロック”にしてアラーム記録を頻繁に行なうと、ハードディスク内ではデータが不連続になっていきます。データが不連続のままさらに使用を続けると、ファイルを分割して空き領域に記録していくためデータの断片化、いわゆる虫食い状態がすすんでいき、ハードディスクの検索などのスピードが極端に遅くなる場合があります。そこで、「データベース再構築」で、ハードディスクのメンテナンスが必要となってきます。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「データベース再構築」の順に開きます。



2. [▲/▼]で「マニュアル操作」を選び、[決定]を押す

- データベース再構築確認画面が表示されます。

3. [はい]を選び、[決定]を押す

- データベースの再構築が開始されます。

ご注意

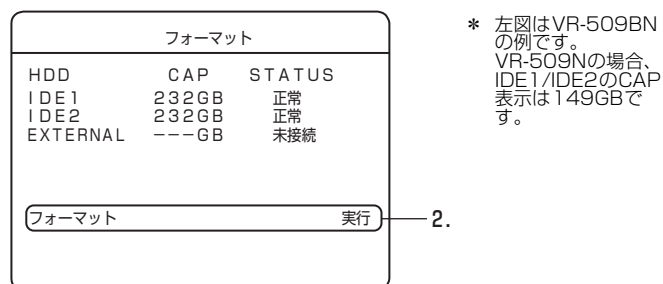
- 記録中に自動実行の日時になった場合は、記録を中断して、データベースの再構築を実行します。データベースの再構築が終了すると、自動的に記録を再開します。
- アラーム記録中に自動実行の日時になった場合は、アラーム記録を終了して、データベースの再構築を実行します。データベースの再構築を終了しても、アラーム記録は再開しません。（新規のアラームは受け付けます。）
- データベースの再構築は検索に時間がかかるようになったら実行してください。
- 以下の動作モード時、マニュアル操作によるデータベースの再構築は実行できません。
 - 記録中
 - 記録した映像の再生中
 - タイマー運用時
 - ハードディスクの動作異常が発生した場合

ハードディスクを初期化する（フォーマット）

ハードディスクの残容量がなくなると、記録ができなくなってしまう。そのようなときはデータのバックアップを取り、ハードディスクをフォーマットして空き容量を確保してください。データの断片化をできるだけ避けるためにも、定期的なハードディスクの「フォーマット」（初期化）作業をおすすめします。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「フォーマット」の順に開きます。



EXTERNAL: 増設ハードディスクを示します。
(1台のみ接続可能)

2. [▲/▼]で“実行”を選び、[決定]を押す

- フォーマット確認画面が表示されます。

3. [はい]を選び、[決定]を押す

- フォーマットが開始され、終了するとフォーマット成功画面が表示されます。その後、自動で運用可能状態になります。

ハードディスク初期化についてのご注意

- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB=(1024)³ Byte で計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。
- フォーマットを実行すると、記録されたイベントは全て消えてしまいます。大切なイベント記録は、必ずバックアップをとってください。

ご注意

以下の動作モード時、ハードディスクを初期化することはできません。

- 記録中
- 記録した映像の再生中
- タイマー運用時
- ハードディスクの動作異常が発生した場合

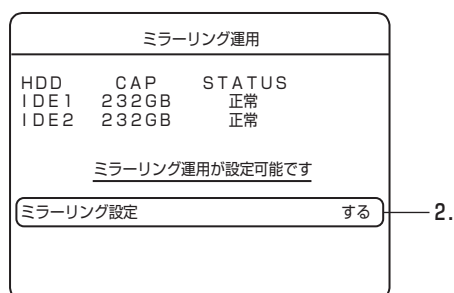
ハードディスクをミラーリング設定する

ミラーリングとは2台の内蔵ハードディスクに、それぞれ同じデータを記録することをいいます。一方のハードディスクデータが破損しても、もう一方のハードディスクにより記録データの安全性を保持することができます。
(ミラーリング設定についてのご注意は54ページ)

ミラーリングの設定

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「ミラーリング運用」の順に開きます。



* 左図はVR-509BNの例です。VR-509Nの場合、IDE1/IDE2のCAP表示は149GBです。

2. “ミラーリング運用が設定可能です” のメッセージが表示されていることを確認して、[決定]を押す

- “ミラーリング運用を実行します” の確認画面が表示されます。

3. 「はい」を選び[決定]を押す

- ミラーリング設定が終了するには、下記の時間がかかります。
VR-509N : 約1時間30分
VR-509BN : 約2時間30分

ミラーリング実行中に電源を切らないでください。

- ミラーリング実行中は“ミラーリング運用準備中XX%”と進捗状況が表示されます。

■ ミラーリング設定が終了すると、自動で運用可能状態になります。

ご注意

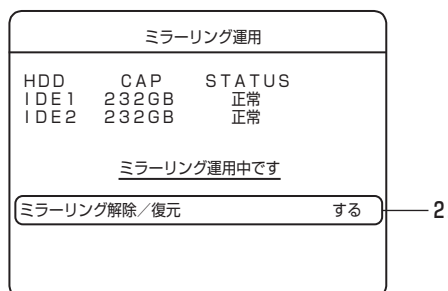
以下の動作モード時、ミラーリング設定は実行できません。

- 記録中
- 記録した映像の再生中
- タイマー運用時
- ハードディスクの動作異常が発生した場合

ミラーリングの解除

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「ミラーリング運用」の順に開きます。



* 左図はVR-509BNの例です。VR-509Nの場合、IDE1/IDE2のCAP表示は149GBです。

2. “ミラーリング運用中です” とメッセージが表示されていることを確認して、[決定]を押す

- “ミラーリング解除/復元を実行します” の確認画面が表示されます。

3. 「解除」を選び、[決定]を押す

- ミラーリングの運用を中止し、ミラーリングモードが解除されます。

ミラーリング解除の実行中に電源を切らないでください。

- ミラーリング解除を実行中、“ミラーリング解除準備中”とメッセージが表示されます。

■ ミラーリング解除が完了すると、自動で運用可能状態になります。

ハードディスクをミラーリング設定する（つづき）

ミラーリング設定についてのご注意

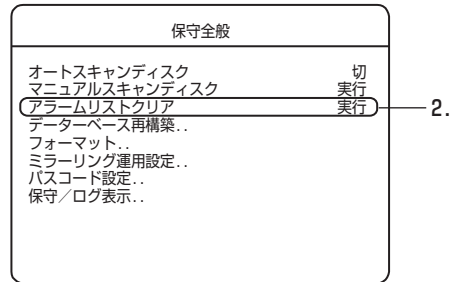
- ミラーリング設定すると、ハードディスクの記録容量は約半分になります。記録時間の設定にはご注意ください。
- ミラーリングの設定は、内蔵ハードディスクでのみ行なえます。増設のハードディスクでは、ミラーリングの設定はできません。
- ミラーリング設定を行なっても、データの破損が起こらないことを保証することはできません。
- ミラーリング設定を実行すると、内蔵ハードディスクおよび、増設ハードディスクに記録されたイベントは、すべて消えてしまいます。大切なイベント記録はかならず、バックアップをとってください。
- ミラーリング設定をすると、記録設定の条件や動作状態によっては、再生時に再生速度が遅くなったり、映像と音声にずれが生じる場合があります。記録動作には支障はありません。
- ミラーリング設定が有効な状態で停電すると、バックグラウンドで再複製処理が行なわれます。再複製処理が行なわれているあいだは、記録データの安全性は保持できません。
- ハードディスクの状態によっては、ミラーリングの設定が失敗することがあります。その場合は一度ミラーリングを解除して、再度設定をやり直してください。
- ミラーリングの設定処理中に、記録や再生などはできません。
- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB＝(1024)³ Byte で計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。
- 本機のミラーリングは、ハードディスクが故障した場合に記録されているデータを保護することを目的としています。ハードディスクの故障の状態によっては、ミラーリング設定されていても運用の継続ができない場合があります。

アラームリストを消去する

アラーム記録画像を削除せずに、アラームリストのみを消去できます。

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」の順に開きます。



2. [▲/▼]で「アラームリストクリア」を選び、[決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

3. [はい]を選び、[決定]を押す

- アラームリストの消去が始まります。
- ※ [いいえ]を選択すると、確認画面が閉じます。

※ アラームリストクリアが行なわれた画像データは、通常記録イベントとして扱われます。

※ アラームリストクリアを中断したいときは[キャンセル]を押してください。中断するまでにアラームリストの消去が行なわれた画像データは通常記録イベントになります。

ご注意

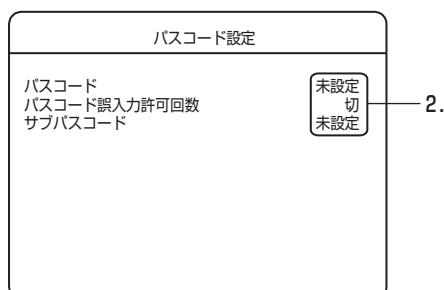
以下の動作モード時、アラームリストクリアは実行できません。

- 記録中
- 記録した映像の再生中
- タイマー運用時
- ハードディスクの動作異常が発生した場合

パスコード設定

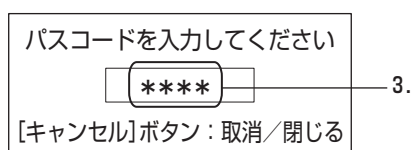
1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「パスコード設定」の順に開きます。



2. パスコードを入力または変更する場合、[▲/▼]で「パスコード」を選び、[決定]を押す

- パスコード入力画面が表示されます。
- ※ 一度入力した場合は、パスコード確認画面が表示されます。



表示項目

パスコード

未設定： [決定]を押すとパスコードを入力できます。
設定済み： [決定]を押すとパスコードを変更できます。

3. テンキーでパスコードを入力し、[決定]を押す

- パスコードは2回入力します。
- パスコードが設定／変更されます。
- ※ パスコードは4桁入力してください。

4. [▲/▼]で「パスコード誤入力許可回数」を選び、[-/+] で設定値を変更する

設定項目

パスコード誤入力許可回数

切： 誤入力があっても、ワーニング検出しません。

1回、2回、3回：

設定した回数の（連続した）誤入力があった場合、ワーニング検出します。

5. サブパスコードを入力または変更する場合、[▲/▼]で「サブパスコード」を選び[決定]を押す

- サブパスコード入力画面が表示されます。
- ※ パスコードが未設定の場合は、設定できません。
- ※ サブパスコードが入力されている場合は、サブパスコード確認画面が表示されます。

サブパスコード

未設定： [決定]を押すと、サブパスコードを入力できます。
設定済み：[決定]を押すと、サブパスコードを変更できます。

6. テンキーでサブパスコードを4桁で入力し、[決定]を押す

- サブパスコードが設定／変更されます。

7. [決定]を押す

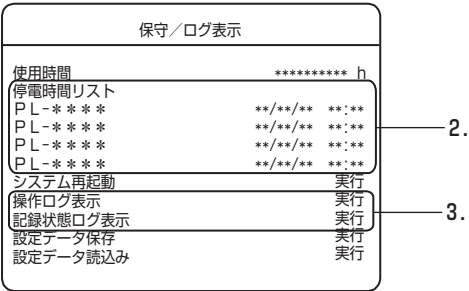
- 確認画面が表示されます。

8. [◀/▶]で「更新」を選び、[決定]を押す

停電時間リストやログを表示させる

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「保守／ログ表示」の順に開きます。
- 「使用時間」、「停電時間リスト」が表示されます。
- 停電時間リストには、最古1件と最新3件が表示されます。



停電時間リストの消去

2. [▲/▼]で停電時間リスト項目を選び、[キャンセル]を押す

全てのリストが消去されます。

操作ログ／記録状態ログの表示

3. [▲/▼]で項目を選び、[決定]を押す

選択項目

操作ログ表示

操作ログが表示されます。

記録状態ログ表示

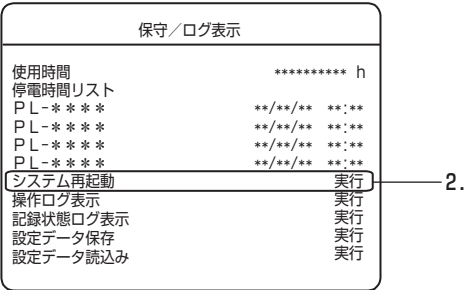
記録状態ログが表示されます。

ご注意
停電が発生した時刻付近の記録は、正常に再生されない場合があります。

システムを再起動する

1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「保守／ログ表示」の順に開きます。



2. [▲/▼]で「システム再起動」を選び、[決定]を押す

- 確認画面が表示されます。
※ タイマー運用中は、「システム再起動」は行なえません。

3. 再度[決定]を押す

- システムが再起動します。

ハードディスク異常時システム復旧機能

- 本機は、ハードディスクに障害が発生した場合、自動再起動により機能を回復するようになっています。
- 自動再起動時にハードディスクを認識できない場合および同一ハードディスクで3回障害が発生した場合は、自動切断処理が行なわれます。
- 自動再起動時に障害のあるハードディスクを自動切断処理後、残ったハードディスクを使って動作を継続します。自動再起動後は、モニター画面にワーニングメッセージが表示されます。
- 自動再起動により障害が回復した場合は、再起動前の動作状態に戻ります。その際、モニター画面に「HDD 確認のために再起動しました」のメッセージが表示されます。
- 再起動処理中の記録は行なわれません。
- 再起動できない致命的障害の場合は、自動復旧できません。

外部機器を使う

静止画をフラッシュメモリにキャプチャする

再生モード時、静止画をUSBフラッシュメモリにキャプチャできます。

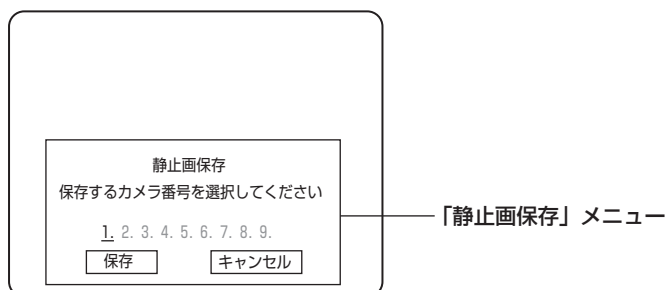
1. 前面[シリアル]端子または背面[SERIAL]端子にUSBフラッシュメモリを接続する

2. 本機を再生モードにする（40ページ）

3. キャプチャしたい場で[再生／一時停止]を押し、再生を一時停止させる

4. 再生一時停止中、[機能]を押しながら[0]を押す

- 画面上に「静止画保存」メニューが表示されます。



5. [◀/▶]を押し、静止画保存したいカメラチャンネルを選択し、[決定]を押す

- ※ 分割画面表示時、表示されていないカメラの番号は選べません。
- ※ 非表示カメラ設定が有効になっている場合は選択できません。非表示出力選択を“モニター出力”を含まない設定にするか、再生表示許可を“する”に設定してください。（25ページ）
- ※ 再生されていないカメラチャンネルは選択できません。

6. [▲/▼]を押し、[保存]を選択し、[決定]を押す

- 画面上に「静止画保存中」と表示されます。

7. 静止画保存が成功すると「静止画保存成功（完了）」と表示されますので、[決定]を押す

- 保存が完了し、「静止画保存」メニュー表示が消えます。
- 静止画ファイル名は自動で付けられます。
- 同名のファイルがUSBフラッシュメモリ内に存在する時は、上書きされます。

■ USBフラッシュメモリを端子から外してください。

- ※ 静止画保存中、フラッシュメモリは外さないでください。

■ フラッシュメモリが認識されない場合

画面上に「USBフラッシュメモリが認識できません」と表示されます。

- 作業続ける場合は、フラッシュメモリの接続を確認し、画面上の「再試行」を選択し、[決定]を押してください。
- 作業をキャンセルする場合は、画面上の「キャンセル」を選択し、[決定]を押してください。

※ 下記のような場合に発生します。

フラッシュメモリが接続されていないかった。

フラッシュメモリのファイルシステムが異常

■ 静止画保存に失敗した場合、画面上に「静止画保存失敗」と表示されます。

この場合は、画面上の「閉じる」を選択し、[決定]を押してください。

※ エラーが発生する原因と対処方法は94ページをご覧ください。

静止画ファイル名

ファイル名は自動的に以下のように付けられます。

（例）カメラ9の通常映像記録で
2007年4月10日12時34分56秒012の映像

n09_20070410123456012.jpg

n	09	_	2007	04	10	12	34	56	012	.	j	p	g
			年		月	日	時	分	秒	ミリ秒			
	カメラCH											固定	

映像モード

n：通常記録(Normal Rec)

t：タイマー記録(Timer Rec)

p：プリアラーム記録(Pre Alarm Rec)

a：アラーム記録(Alarm Rec)

m：動き検出アラーム記録(Motion Alarm Rec)

e：エマージェンシー記録(Emergency Rec)

c：パスコード不適合検出記録(Passcode Error Rec)

l：Live Web時のみ使用(64ページ)

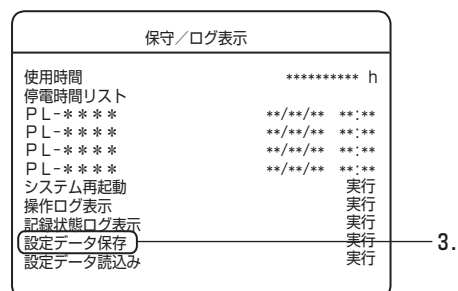
- ※ 一度使用したフラッシュメモリは本機に自動登録されます。登録できるフラッシュメモリは最大10個までです。本機の電源を切ると、登録は自動的に削除されます。
- ※ 静止画キャプチャ中、ネットワークへの画像配信は停止します。
- ※ 停電が発生した時刻付近の記録は、正常に再生されない場合があります。静止画キャプチャができないことがあります。
- ※ 使用可能なフラッシュメモリについては、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

設定データをフラッシュメモリに保存する

1. 前面の[シリアル]端子または背面の[SERIAL]端子にフラッシュメモリを接続する

2. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「保守／ログ表示」の順に開きます。



3. [▲/▼]で「設定データ保存」を選び、[決定]を押す

- 画面上に「設定データ保存中」と表示されます。

4. 画面上の「設定データ保存中」の表示が消えると、メニュー設定がフラッシュメモリに保存される

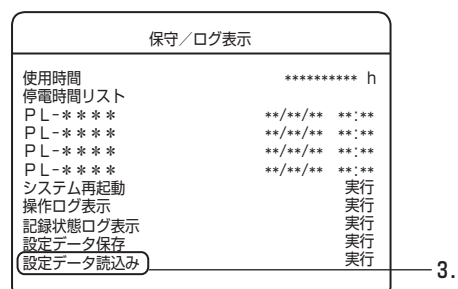
■ フラッシュメモリを端子から外してください。

設定データをフラッシュメモリから読み込む

1. 前面の[シリアル]端子または背面の[SERIAL]端子にフラッシュメモリを接続する

2. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「保守全般」→「保守／ログ表示」の順に開きます。



3. [▲/▼]で「設定データ読み込み」を選び、[決定]を押す

- 画面上に「設定データ確認中」と表示されます。

■ 設定データを確認すると、画面上に「設定データを確認しました。読み込みますか？」と表示されます。

4. インストール確認画面上の[実行]を選択し、[決定]を押す

- 画面上に「設定データ読み込み中」と表示されます。

■ 更新が終了すると、システムが再起動します。

■ システム再起動後、フラッシュメモリを端子から外してください。

■ フラッシュメモリが認識されない場合

画面上に「USBフラッシュメモリが認識できません」と表示されます。

- 作業続ける場合は、フラッシュメモリの接続を確認し、画面上の「再試行」を選択し、[決定]を押してください。
- 作業をキャンセルする場合は、画面上の「キャンセル」を選択し、[決定]を押してください。

※ 下記のような場合に発生します。

フラッシュメモリが接続されていなかった。
フラッシュメモリのファイルシステムが異常

■ データ保存やデータ読み込みに失敗した場合、画面上に「設定データ保存失敗」や「USBフラッシュメモリの設定データが認識できません」と表示されます。

この場合は、画面上の「閉じる」を選択し、[決定]を押してください。

※ エラーが発生する原因と対処方法は94ページをご覧ください。

- ※ 一度使用したフラッシュメモリは本機に自動登録されます。登録できるフラッシュメモリは最大10個までです。本機の電源を切ると、登録は自動的に削除されます。
- ※ データ保存やデータ読み込み中、ネットワークへの画像配信は停止します。
- ※ 使用可能なフラッシュメモリについては、お買い上げ販売店またはピクチャーサービス窓口にお問い合わせください。

■ 設定データファイル名

- VR-509N : N01-20_070424205257.509
VR-509Nソフトウェア_年月日時分秒.509
- VR-509BN : P01-20_070424205257.509
VR-509BNソフトウェア_年月日時分秒.509

■ 設定データ読み込み時

拡張子[509]が付いていたならば、ファイル名変更が可能です。(ただし、半角英数字のみ)

■ 設定データ読み込み時

USBフラッシュメモリ内に設定データは1つのみとします。(ルートディレクトリにファイルをおく。)

ルートディレクトリに設定データが複数存在する場合は、最新の日付データが読み込まれます。

UPSを接続する

UPS: 無停電電源装置 (Uninterruptible Power Supply)

UPS を接続することにより、停電発生時は自動的にオペレートオフしてから電源を切るため、ハードディスクの破損を防ぐことができます。

1. 接続する

- 背面の[SERIAL]端子または前面の[シリアル]端子にUPSの通信ケーブルを接続する。
- 本機の電源コードをUPSの電源出力に接続する。

2. 電源を入れる

- UPSの電源を入れる。
- 本機の電源を入れる。

- ※ UPSの通信ケーブルは、本機の電源を入れる前に接続しておいてください。
- ※ 運用中に通信ケーブルを外さないでください。
- ※ 使用可能なUPSについては、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

USBハブについて

UPSと外付けハードディスクを同時に使用する場合は、USBハブが必要です。

USBハブはUSB2.0に対応したものを使用してください。

USBハブによってはUSB2.0とUSB1.1の機器を同時に接続した場合にUSB1.1での動作になってしまうものがあります。このようなUSBハブの使用は避けてください。

パソコンと接続する

こんなことができます

- パソコンでライブ画を見る（64ページ）
- パソコンで記録予約する（65ページ）
- パソコンで再生画を見る（68ページ）
- パソコンを使った便利な機能（71ページ）
 - ・ カメラタイトルを入力する（71ページ）
 - ・ アラーム入力時にメールを発報する（72ページ）
 - ・ NTPサーバーで時刻を合わせる（73ページ）
 - ・ 本体の設定値を本機からダウンロードする（74ページ）
 - ・ 本体の設定値を本機にアップロードする（75ページ）
- ネットワークの設定を変更する（77ページ）
- 本体の設定を変更する（79ページ）

接続可能なパソコンの仕様

- OS： Windows XP Professional SP2 (JP) / Windows XP Home Edition SP2 (JP)
 - CPU： Pentium3 1GHz以上
 - メモリ： 256 MB以上
 - モニター： XGA（1024×768ピクセル）以上必須 SXGA（1280×1024ピクセル）推奨
- ※ Internet ExplorerはVer.6.0で動作確認を行なっています。なお、Internet Explorerのver.5.0では動作しません。（Java ScriptとActiveXコントロールは有効とし、ポップアップブロックは無効としてください。）
- ※ ActiveXコントロールを有効にする手順は110ページをご覧ください。
- 上記パソコンの仕様は、アプリケーションソフトを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。
動作環境条件を満たしているパソコンをお使いの場合でも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

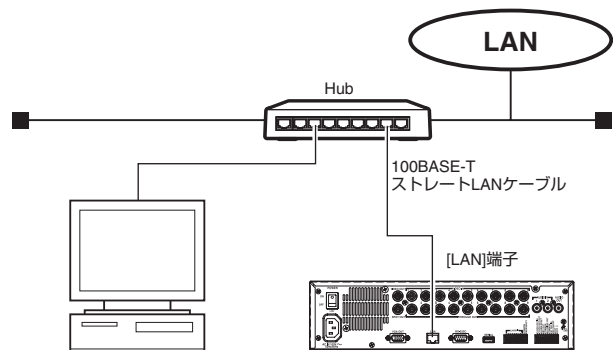
ご注意

VR-509はオートネゴシエーションのみのため、全二重固定の機器と接続する場合はご注意ください。

LANケーブルで接続する

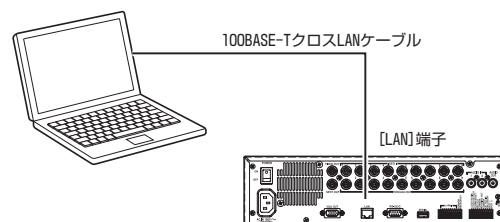
ネットワーク（LAN）につなぐ

- パソコンとハブ、および本機とハブをストレートのLANケーブルで接続します。



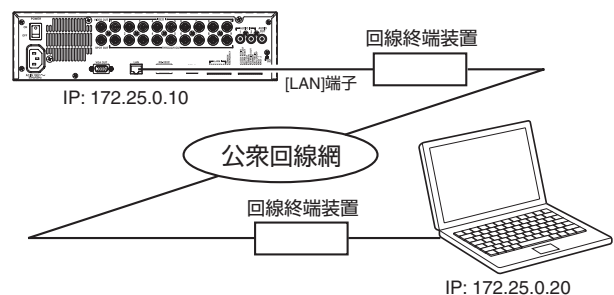
ピアツーピアでつなぐ

- パソコンと本機をクロスオーバーのLANケーブルで接続します。



公衆回線網につなぐ

- パソコンと回線終端装置（ルーターなど）および本機と回線終端装置をストレートのLANケーブルで接続します。



メモ

回線終端装置の設定については、各機器の取扱説明書に基づき設定してください。

- ※ LANケーブルは、エンハンスドカテゴリー 5または、カテゴリー 6規格のものを使用してください。
- 既存のLAN回線に接続する場合には、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機は1台に対して、ライブ画は複数のパソコンで最大32画面まで見ることができます。
- 本機は1台に対して、再生は最大1画面見ることができます。
- 本機は、ライブ画表示と再生画表示を同時に見ることはできません。

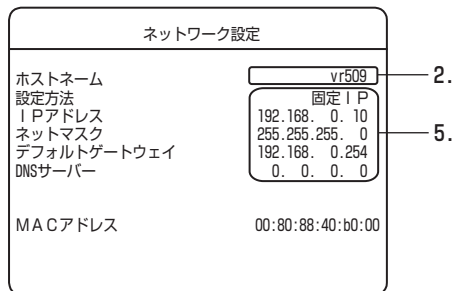
本機は、WAN (Wide Area Network)に対応しています。

本機のネットワーク設定をする

最初の設定は本機につないだモニター画面を見ながら、本機本体で行ないます。

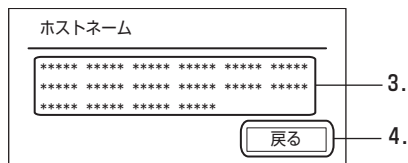
1. [メニュー]を押す

- 16ページの「メニュー画面の操作方法」の操作に従い、「メニュー」→「運用詳細設定」→「ネットワーク設定」の順に開きます。



2. [▲/▼]を「ホストネーム」で選び、[決定]を押す

- ホストネーム入力画面が開きます。



3. [▲/▼/◀/▶]で文字を選び、[決定]を押す

- ホストネームに一文字入力されます。
※ [-]または[+]を押すと、ネーム部分のカーソルが前または後ろへ移動します。
- [キャンセル]を押すと、ネーム部分のカーソル位置文字が削除されます。

4. [◀/▶]で「戻る」を選び、[決定]を押す

- 「ネットワーク設定」画面に戻ります。

5. [▲/▼/◀/▶]を押して項目を選び、[-/+]で設定値を変更する

※ 工場出荷状態は次のように設定されています。

- 設定方法：固定IP アドレス（DHCP サーバーを使用しない）
- IP アドレス：192.168.0.10
- ネットマスク：255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ：192.168.0.254

本機をつなぐLAN 環境で、各設定値が規定されているときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

6. [決定]を押す

- 設定が保存されます。
- 設定方法を「DHCP」に設定した場合、このメニュー画面を抜けて再度表示させるとDHCP サーバーから割り振られたIP アドレスが表示されます。（変更はできません。）
- 設定方法を「DHCP」に設定した場合、本機は起動時および設定変更時のみIPアドレスの取得動作を行ないません。起動後にネットワークが有効になった場合は、IPアドレスの取得のため、設定方法を一旦別のものに变更后から「DHCP」に設定し直してください。
- 設定方法を「DHCP」に設定してある状態で、DHCP サーバーからの設定の取得に失敗した場合は、以前の固定IPに設定した値が設定されます。

※ [戻る]を押すと、前のメニュー画面に戻ります。

パソコンと接続する

パソコンのネットワーク設定をする

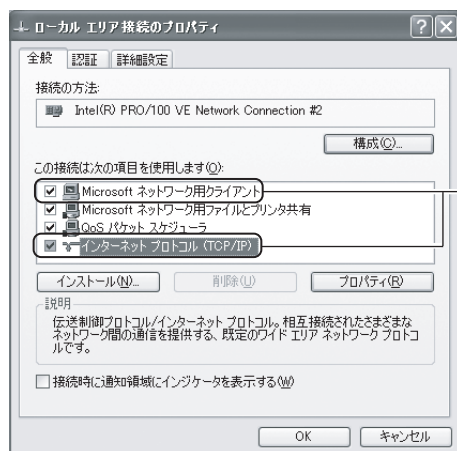
ここでは、本機の工場出荷設定を利用し、小規模のLANを構築する場合を設定例として説明します。

1. **スタート** をクリックする

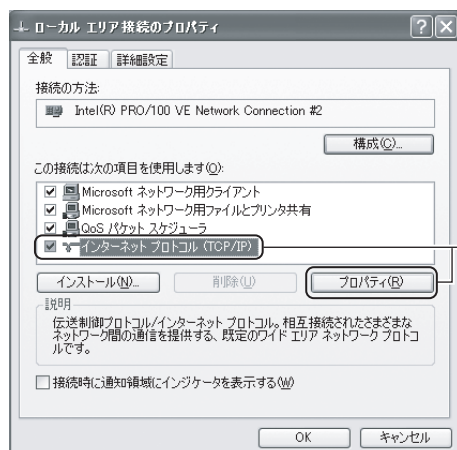
- 「マイネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」を選びます。

2. Web ブラウザ操作するパソコンがつながれているネットワークを選ぶ

- 右クリックし「プロパティ」を選びます。



3. 「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の両方にチェックが付いていることを確認する



4. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選び、

プロパティ(R) をクリックする



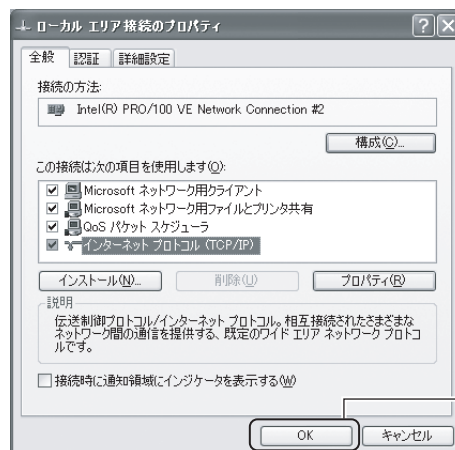
5. 「次のIPアドレスを使う」を選ぶ

6. 「IPアドレス」を192.168.0.11に設定する

7. 「サブネットマスク」を255.255.255.0に設定する

8. 「デフォルトゲートウェイ」を192.168.0.254に設定する

9. 「OK」をクリックする



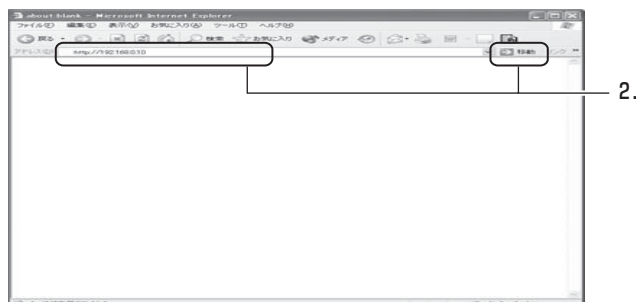
10. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の

OK をクリックする

- ネットワーク環境内で同じIPアドレスを使わないように設定してください。
- パソコンのネットワーク設定では、1つのNICに対して、複数のIPアドレスを登録しないでください。

ネットワーク接続（ログイン）する

1. Webブラウザを起動する

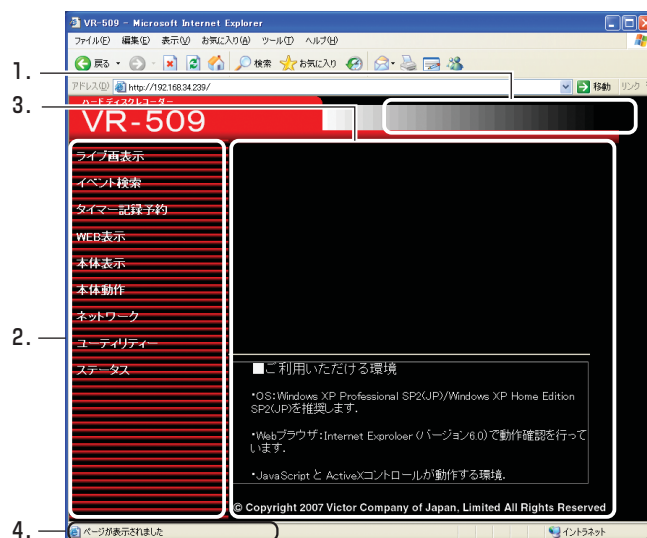


2. **アドレス** に本機のIPアドレス（工場出荷時設定：http://192.168.0.10）を入力し、「移動」をクリックする
※ IPアドレスについては、61ページを参照ください。



3. “admin”（小文字）と入力する
4. “vr-509”（小文字）と入力する
5. 「OK」をクリックする

トップページ



1. タイトルが表示されます
2. 選択メニューが表示されます
3. 設定画面が表示されます
4. 選択メニュー項目にカーソルが重なっているときに、選択メニュー項目の内容を表示します

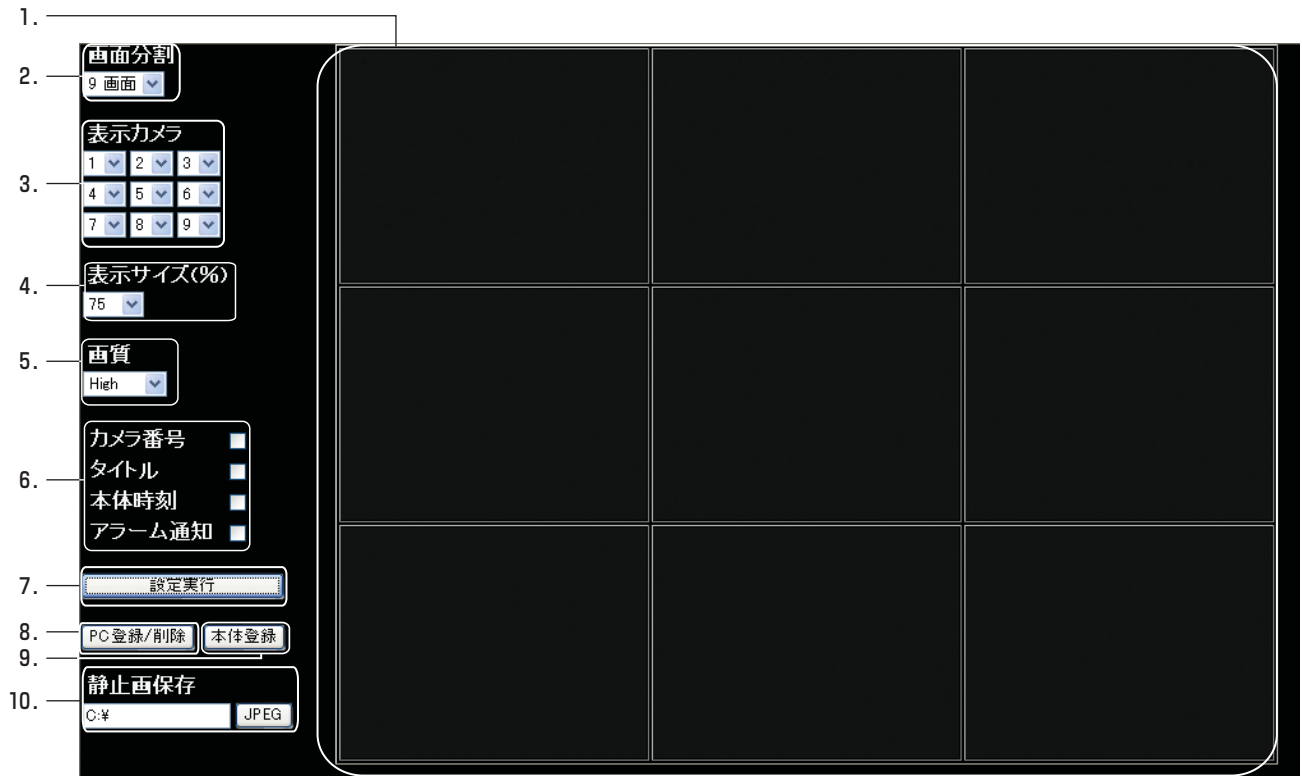
■ 「ライブ画表示」、「イベント検索」→「アラーム検索」または「イベント検索」→「日時検索」のいずれかをクリックすると、下図のようなダイアログが表示されますので、“インストールする”をクリックし、インストールを実行してください。（次回使用時は、表示されません。）



ライブ画表示画面

1. 「ライブ画表示」をクリックする

- ライブ画表示ウィンドウが開きます



1. ライブ画表示領域

ライブ画が表示されます。
VR-509本体が記録中の場合は“REC”と表示されます。

2. 「画面分割」

画面分割数を選択できます。
1画面 (10ips×1画面)、4画面 (3ips×4画面)、6画面 (2ips×6画面)、9画面 (1ips×9画面)
※ 複数のパソコンでライブ画表示中は、表示コマ数が自動的に調整されます (最大で合計12ips)。また、表示可能画面数 (32画面) を越えた場合は、エラーメッセージを表示し、ブルー画を表示します。

3. 「表示カメラ」

表示カメラを選択できます。
1～9
※ 4/6/9分割画面表示時、同じカメラの複数設定はできません。

4. 「表示サイズ (%)」

表示サイズを選択できます。
25%、50%、75%、100%、200%、400%、800%

5. 「画質」

表示画質を選択できます。
High、Normal、Basic、Long

6. 表示項目選択

情報を画面に表示するかどうかを選択できます。チェックした項目が画面に表示されます。
カメラ番号、タイトル、本体時刻、アラーム通知

7. 「設定実行」

1～6までの設定内容を実行するときに、クリックします。

8. 「PC登録／削除」

パソコンにライブ画表示ウィンドウの設定を保存するとき、あるいはパソコンに保存されているライブ画表示ウィンドウの設定を削除するときにクリックします。
「PC登録／削除ウィンドウ」が開きますので、ウィンドウ内の[PC登録]または[PC削除]ボタンをクリックします。ライブ画表示ウィンドウを開いたときに、保存したデータが読み出されます。

9. 「本体登録」

VR-509本体にライブ画表示ウィンドウの設定を保存するときに、クリックします。ライブ画表示ウィンドウを開いたときに、保存したデータが読み出されます。
(8. 「PC登録」によるPC登録データがある場合は、PC登録データが優先されます。)

10. 「静止画保存」

ライブ画のキャプチャができます。表示されている全ての画面をキャプチャします。
テキストボックスにパソコンの格納フォルダ名を入力し、「JPEG」をクリックすると、パソコンに静止画ファイルを保存します。静止画ファイル名は自動で付けられます。(57ページ 静止画ファイル名)
※ 格納フォルダ名の末尾は¥としてください。

メモ

静止画保存フォルダ名の登録機能 (70ページ) をご覧ください。

ご注意

- 再生画表示画面のウィンドウが開いている場合は、閉じてください。ライブ画と同時に表示できません。
- 停電が発生した時刻付近の記録は正常に再生されない場合があります。

パソコンで記録予約する

週間タイマーを追加する

1. 「タイマー記録予約」→「週間タイマー」の順にクリックする

- ・週間タイマー入力画面とプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

週間タイマー設定ができます。変更後、下記の「保存」ボタンをクリックしてください。

プログラム番号	No. 1	
記録開始	曜日/時刻	記録終了
曜日/時刻	日 ** **	*** **
モード	標準	
実行	**	
記録開始の曜日を「毎日」に選択した場合のデリーモード選択ができます。		
デリーモード	日 月 火 水 木 金 土	
保存 リセット		

2. 記録予約する番号を選ぶ
3. 記録開始曜日/時刻と記録終了曜日/時刻を入力する
4. 記録モードを選ぶ
5. 実行を「入」「切」「毎週」から選ぶ
 - ※ 開始曜日に「毎日」を選んだときは、「毎週」は選べません。
6. 開始曜日に「毎日」を選んだときは、記録する曜日を設定する
 - ※ 開始曜日に「毎日」を選ばなかったときは、灰色で表示され、設定できません。
7. 「保存」をクリックする
(「リセット」をクリックすると、入力がクリアされます。)
 - ・内容が保存されます。
 - ・更新されたプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

プログラムリスト（週間タイマー設定）画面

Hard Disk Recorder VR-509
プログラムリスト(週間タイマー設定)

リストから変更する場合は「変更」ボタンを、削除する場合「削除」ボタンをクリックしてください。

No.	開始日時	終了日時	モード	実行		
1	日	*** **	*** **	**	**	変更 削除
2	月	*** **	*** **	**	**	変更 削除
3	火	*** **	*** **	**	**	変更 削除
4	水	*** **	*** **	**	**	変更 削除
5	木	*** **	*** **	**	**	変更 削除
6	金	*** **	*** **	**	**	変更 削除
7	土	*** **	*** **	**	**	変更 削除
8	毎日	*** **	*** **	**	**	変更 削除

CLOSE

- 「CLOSE」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

週間タイマーを変更／削除する

1. 「タイマー記録予約」→「週間タイマー」の順にクリックする

- ・週間タイマー入力画面とプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

Hard Disk Recorder VR-509
プログラムリスト(週間タイマー設定)

リストから変更する場合は「変更」ボタンを、削除する場合「削除」ボタンをクリックしてください。

No.	開始日時	終了日時	モード	実行		
1	日	*** **	*** **	**	**	変更 削除
2	月	*** **	*** **	**	**	変更 削除
3	火	*** **	*** **	**	**	変更 削除
4	水	*** **	*** **	**	**	変更 削除
5	木	*** **	*** **	**	**	変更 削除
6	金	*** **	*** **	**	**	変更 削除
7	土	*** **	*** **	**	**	変更 削除
8	毎日	*** **	*** **	**	**	変更 削除

CLOSE

プログラムを変更する

2. 「変更」ボタンをクリックする
 - ・変更内容の確認画面が表示されます。
3. 確認画面の「変更」ボタンをクリックする
 - ・プログラムが変更されます。
 - ・更新されたプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

プログラムを削除する

2. 「削除」ボタンをクリックする
 - ・削除内容の確認画面が表示されます。
3. 確認画面の「削除」ボタンをクリックする
 - ・プログラムが削除されます。
 - ・更新されたプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

日付指定タイマーを追加する

1. 「タイマー記録予約」→「日付指定タイマー」の順にクリックする

- 日付指定タイマー入力画面とプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

日付指定タイマー設定ができます。記録モードの選択後、指定日を設定し、下記の「保存」ボタンをクリックしてください。（※記録モードは全てに共通）

プログラム番号	No. 1	2.
指定日(月日)	**月**日	3.
※下記の記録モードを異なる日付で実行します。（※記録モードは全てに共通です。）		
時刻(hh:mm)	記録開始: **月**日 記録終了: **月**日	4.
モード	標準	5.
実行	**月**日	6.
保存 リセット		7.

2. 記録予約する番号を選ぶ

3. 記録する日付を選ぶ

4. 記録開始時刻と記録終了時刻を入力する

5. 記録モードを選ぶ

6. 実行を「入」「切」から選ぶ

7. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、入力がクリアされます。）

- 内容が保存されます。
- 更新されたプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

プログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面

Hard Disk Recorder VR-509
プログラムリスト(日付指定タイマー設定)
リストから削除する場合「削除」ボタンをクリックしてください。

プログラム番号	指定日(月日)		プログラム番号	指定日(月日)	
1	**月**日	削除	9	**月**日	削除
2	**月**日	削除	10	**月**日	削除
3	**月**日	削除	11	**月**日	削除
4	**月**日	削除	12	**月**日	削除
5	**月**日	削除	13	**月**日	削除
6	**月**日	削除	14	**月**日	削除
7	**月**日	削除	15	**月**日	削除
8	**月**日	削除	16	**月**日	削除

CLOSE

- 「CLOSE」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

日付指定タイマーを削除する

1. 「タイマー記録予約」→「日付指定タイマー」の順にクリックする

- 日付指定タイマー入力画面とプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

Hard Disk Recorder VR-509
プログラムリスト(日付指定タイマー設定)
リストから削除する場合「削除」ボタンをクリックしてください。

プログラム番号	指定日(月日)		プログラム番号	指定日(月日)	
1	**月**日	削除			
2	**月**日	削除	10	**月**日	削除
3	**月**日	削除	11	**月**日	削除
4	**月**日	削除	12	**月**日	削除
5	**月**日	削除	13	**月**日	削除
6	**月**日	削除	14	**月**日	削除
7	**月**日	削除	15	**月**日	削除
8	**月**日	削除	16	**月**日	削除

CLOSE

2. 「削除」ボタンをクリックする

- 削除内容の確認画面が表示されます。

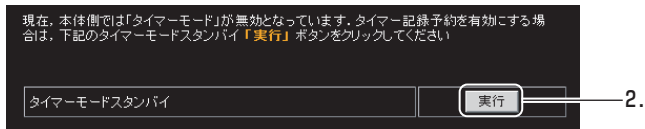
3. 確認画面の「削除」ボタンをクリックする

- プログラムが削除されます。
- 更新されたプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

タイマーモード

「タイマーモード」が無効のとき

1. 「タイマー記録予約」 → 「タイマーモード」の順にクリックする

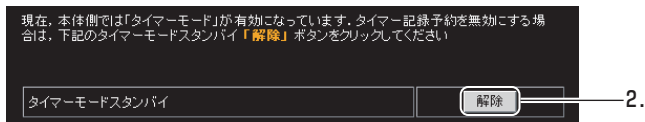


2. 「実行」をクリックする

- タイマーモードが有効になります。

「タイマーモード」が有効のとき

1. 「タイマー記録予約」 → 「タイマーモード」の順にクリックする



2. 「解除」をクリックする

- タイマーモードが解除されます。

パソコンで再生画を見る

アラーム検索

1. 「イベント検索」→「アラーム検索再生」の順にクリックする

アラーム入力時の記録画像を検索します。

アラームチャンネル	全てのチャンネルの中から ▾		
検出	全て ▾		
検索日時	年月日(YYYY/MM/DD)	時分	以前 ▾
	2006 年 4 月 25 日	16 : 35	

検索 リセット

2. 検索する条件を選ぶ

設定項目

アラームチャンネル

全てのアラームチャンネル：

記録をしたチャンネルを限定せずに記録画像を検索します。

ch1～ch9：指定したチャンネルに限定して記録画像を検索します。

検出

全て：アラーム種別を限定せずに記録画像を検索します。

エマージェンシー端子：

エマージェンシー端子入力による記録画像とパスコード不適合検出記録画像を検索します。

アラーム端子：

アラーム端子入力による記録画像を検索します。

動き検出：動き検出による記録画像を検索します。

検索日時

検索する年／月／日／時／分を入力します。

以前／以後

以前：指定日時以前の記録画像を検索します。

以後：指定日時以降の記録画像を検索します。

3. 「検索」をクリックする

- 「アラーム検索結果」画面が表示されます。
(「リセット」をクリックすると入力がクリアされます。)

アラーム検索結果 画面

Hard Disk Recorder VR-509
アラーム検索結果 ページ作成日時：4/24 15:27:27

ALM No	プリアラーム	カメラNo	検出日時	種類	
000052	☒	9	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000051	☒	8	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000050	☒	7	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000049	☒	6	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000048	☒	5	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000047	☒	4	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000046	☒	3	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000045	☒	2	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000044	☒	1	2006-04-24 15:23:55	EMG	再生
000043	☒	9	2006-04-24 15:22:41	EMG	再生
000042	☒	8	2006-04-24 15:22:41	EMG	再生
000041	☒	7	2006-04-24 15:22:41	EMG	再生
000040	☒	6	2006-04-24 15:22:41	EMG	再生
000039	☒	5	2006-04-24 15:22:41	EMG	再生
000038	☒	4	2006-04-24 15:22:41	EMG	再生

次の15件に続く

CLOSE

4. 再生する記録画像リストを表示させる

- 記録画像のリストは、15件ずつ表示されます。ボタンをクリックしてページをめくってください。
「次の15件に続く」：次の画面を表示します。
「前の15件に戻る」：前の画面に戻ります。

5. 記録画像リストを選ぶ

- リストの表示項目を見て再生する記録画像を選びます。

表示項目

ALM No

本体のデータベースに登録されているアラーム番号です。

プリアラーム

プリアラーム記録がされた場合、チェックボックスが表示されます。

クリックしてから再生ボタンを押すと、プリアラーム記録から再生を開始します。

カメラNo

記録したカメラ入力を表示します。

検出日時

検出した日時を表示します。

種類

AL端子：アラーム入力端子

動き検出：動き検出

EMG：エマージェンシー入力端子

P.エラー：パスコード不適合検出記録

6. プリアラーム記録を再生するかどうかを選ぶ

- プリアラーム記録を再生するときは、チェックを付けます。

7. 「再生」をクリックする

- 再生を開始します。(70ページ)

日時検索

1. 「イベント検索」→「日時検索再生」の順にクリックする

指定日時を含んだ記録画像を検索します。

	年月日 (YYYY/MM/DD)	時分 (HH/MM)
検索日時	2006 年 4 月 25 日	16 38
カメラチャンネル	ch 1	
検索 リセット		

2. 3. 4.

2. 検索する日時を入力する

3. 検索するチャンネルを選ぶ

4. 「検索」をクリックする

- 「再生画表示画面」が表示されます。
(「リセット」をクリックすると入力がクリアされます。)

再生画表示画面

■「アラーム検索再生」または「日時検索再生」を実行する

- 再生画表示画面が開きます。



1. 再生画表示領域

再生画が表示されます。(※最大3ips)

2. 記録タイプ

記録したときの記録モードを表示します。
通常記録、タイマー記録、アラーム記録など

3. 動作状態

再生状態を表示します。
画像TOP、画像END、-×5、-×3、-×1、PAUSE、
×1、×3、×5

4. 表示サイズ (%)

表示サイズを選択できます。

5. 表示項目選択

情報を画面に表示するかどうかを選択できます。
カメラ番号、タイトル、再生画像時間、アラーム情報

6. 操作ボタン

- ▶：通常再生します。
- ⏏：ポーズ状態にします。
- ▶▶/◀◀：順方向/逆方向にサーチ再生します。
1回クリックすると1倍速、2回クリックすると3倍速、3回クリックすると5倍速でサーチ再生します。(動作状態表示部に倍速値を表示します。)
- ▶/◀：コマ送り/コマ戻し再生をします。

7. 静止画保存

再生画のキャプチャができます。
テキストボックスに格納フォルダ名を入力し、「JPEG」をクリックすると、パソコンに静止画ファイルを保存します。静止画ファイル名は自動で付けられます。
(57ページ 静止画ファイル名)
※ 格納フォルダ名の末尾は¥としてください。

ご注意

- ライブ画表示画面のウィンドウが開いている場合に再生画表示ウィンドウを開くと、「VR-509本体の応答がありません」と表示されますが、VR-509本体の故障ではありません。
- ライブ画表示画面のウィンドウが開いている場合は、閉じてください。ライブ画面を閉じて、すぐに再生を行なうと、再生に失敗することがあります。ライブ画 ⇄ 再生画の切り換えは時間をおいてから行なってください。
- 日時検索再生は、検索を行なう毎に再生ウィンドウは初期化されます。

メモ

静止画保存フォルダ名登録機能

静止画保存テキストボックスに入力した内容を記憶して、次の入力が簡単になる便利な機能です。

■ 準備

- Internet Explorerの[ツール]→[インターネット オプション]→[コンテンツ]→[オートコンプリート]のボタンをマウスでクリックします。
- チェックボックスのフォーム欄にチェックを入れます。

■ 登録方法

静止画保存テキストボックスに登録したい格納フォルダ名を入力し、Enterキーを押すと登録されます。

■ 登録済みフォルダ名の選択方法

静止画保存テキストボックス上でマウスの左ボタンをダブルクリックすると、過去に登録したフォルダ名のプルダウンメニューが表示されます。

表示されたフォルダ名から任意のフォルダ名を選択します。

パソコンを使った便利な機能

カメラタイトルを入力する

1. 「本体表示」→「カメラタイトル」の順にクリックする

現在、本体側に登録されたカメラタイトルを表示します。変更する場合はカメラごとにチェックし、新しいカメラタイトルを入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。
(※最大入力数は全角平仮名、全角カタカナ、漢字の場合、10文字までです。)

Check	Input No.	タイトル	Check	Input No.	タイトル
☐	カメラ1	CH01	☐	カメラ2	CH02
☐	カメラ3	CH03	☐	カメラ4	CH04
☐	カメラ5	CH05	☐	カメラ6	CH06
☐	カメラ7	CH07	☐	カメラ8	CH08
☐	カメラ9	CH09			

保存 リセット

※ Input Noの「カメラ1～9」部分がグレーの場合は、本体メニュー基本設定-1のカメラ入力設定が「なし」となっていることを示します。(18ページ)

ご注意

VR-509本体のメニューのカメラタイトル設定画面で「」をカメラタイトルに設定した場合は、パソコンでの「本体表示」→「カメラタイトル」でカメラタイトルが正常に表示されない場合があります。

2. チェックボックスをクリックする

- チェックボックスをクリックしないとカメラタイトル文字を入力することができません。

3. カメラタイトルを入力する

入力可能な文字について

カメラタイトルは、半角英数字、全角英数字、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字が使用できます。また、半角文字の場合は、最大20文字まで、全角文字の場合は、最大10文字まで設定できます。

本機で認識できない文字について

本機で認識できる全角文字は、第1水準漢字(2965文字)、第2水準漢字(3390文字)のみのため、一部のOSに依存する文字は本体ではブランクとして表示します。(例：①、②、Ⅰ、Ⅱ、(株)など)

4. 「保存」をクリックする

- 「保存」は更新したい全てのカメラタイトル設定を行ってからクリックしてください。
- 空白の状態で「保存」をクリックすると、カメラタイトルは初期化されます。
- 「保存」をクリックしたら、修正は行なえません。再度入力してください。
- 「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

ライブ画／再生画表示画面の非表示カメラ設定をする

1. 「WEB表示」→「非表示カメラ」の順にクリックする

WEBの非表示カメラ設定を変更できます。変更後、「保存」ボタンをクリックしてください。

カメラ1	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ2	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ3	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ4	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ5	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ6	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ7	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ8	☒ 無効 ☐ 有効
カメラ9	☒ 無効 ☐ 有効
再生表示許可	☒ しない ☐ する

保存 リセット

2. 設定を変更する(詳細は25ページ)

3. 「保存」をクリックする

(「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。)

アラーム入力時にメールを発報する

1. 「ネットワーク」→「メール発報」の順にクリックする

アラーム入力時におけるメール発報送信先、及び、送信方法などの設定ができます。変更後「保存」ボタンをクリックしてください。《説明》

転送条件	☐ 無効 ☒ アラーム
メールサーバー(SMTP)	
最短メール送信間隔	5分
宛先(To:)	
差出元(From:)	
件名(Subject:)	
■詳細設定	
リスト形式	☒ 通常メール用 ☐ 携帯メール用
設置場所	
■現在のネットワーク設定	
ドメイン名	None
DNSサーバー	0 0 0 0
保存 リセット	

2. 3. 4.

2. 設定値を入力／選択する

設定項目

転送条件

無効： アラーム発報を無効にします。
アラーム：アラーム入力時にメール発報します。

メールサーバー (SMTP)

メールサーバーのドメイン名を入力します。

最短メール送信間隔

5分、10分、15分、30分： 最短メール送信間隔です。

宛先 (To:)

宛先のメールアドレスを入力します。
複数の宛先を入力する場合は、スペースで区切ってください。

差出元 (From:)

差出元のメールアドレスを入力します。

件名 (Subject:)

件名を入力します。

リスト形式

通常メール用： 1行の文字数が40文字以内になるようにメールを作成します。

携帯メール用： 1行の文字数が25文字以内になるようにメールを作成します。

設置場所

設置場所を入力します。

3. 現在のネットワーク設定を確認する

表示項目

ドメインネーム

ドメイン名を表示します。

DNSサーバー

DNSサーバーを表示します。

4. 「保存」をクリックする

- アラーム入力時に、設定した内容でメール発報します。（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

5. メール発報設定確認画面が表示される

- 「テストメール発報」をクリックすると、テストメール発報ができますので、指定された宛先でメール受信できることをご確認ください。

ご注意

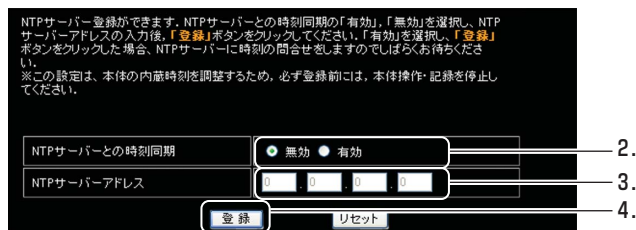
- メールサーバー側での認証方法によっては、メール発報が行なえないことがあります。（認証を行なうメールサーバーにはアクセスできません。）
- メールサーバーの設定値に関しては、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。
- 携帯電話の受信文字数の設定によっては、全てのアラームリストを受信できないことがあります。
- メール発報間隔の設定によらず、最初のアラーム入力後10分以内にメール発報されますが、受信までにはネットワーク環境によっては、さらに時間がかかる場合があります。

NTPサーバーで時刻を合わせる

本機を複数台接続したシステムでアラーム検索などを行なう場合、すべての本機の時刻の同期がとれていないと、正確な検索ができません。複数接続のシステムの場合は必ず、NTPサーバーの設定を行ない、時刻を合わせてください。

NTPサーバーを登録する

1. 「ネットワーク」→「NTPサーバー登録」の順にクリックする



2. 「有効」をクリックする
3. NTPサーバーアドレスを入力する
4. 「登録」をクリックする

- NTPサーバーに時刻の問合せをします。

5. 時刻合わせの結果を確認する

- 時刻合わせの結果が表示されます。

時刻問い合わせに成功したとき

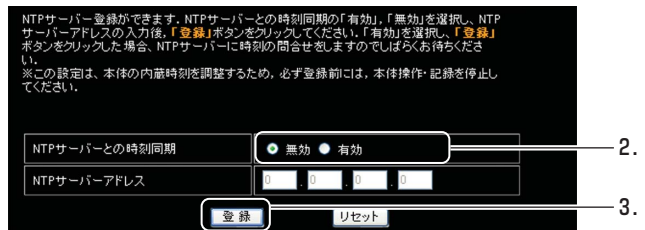
- 「※現在、NTPサーバーとの時間同期は「有効」です。」と表示されます。

時刻問い合わせに失敗したとき

- 「※指定NTPサーバーへの問い合わせは失敗しました。」と表示されます。
- NTPサーバーアドレスが正しく入力されたか確認し、登録をやり直してください。

NTPサーバーの登録を解除する

1. 「ネットワーク」→「NTPサーバー登録」の順にクリックする



2. 「無効」をクリックする

3. 「登録」をクリックする

- NTPサーバーの登録が解除されます。
- 確認画面が表示されます。

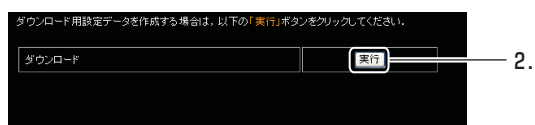
メモ

- 記録中、NTPサーバー登録の有効／無効設定はできません。NTPサーバー登録を有効に設定した場合、記録中でも時刻合わせが可能です。
NTPサーバーとの時刻同期が有効時、1時間毎に時刻の問い合わせを行ないます。
- NTPサーバー機能を使用する場合のパソコンの設定（Windows XPおよびWindows 2000）については、103ページをご覧ください。

パソコンを使った便利な機能

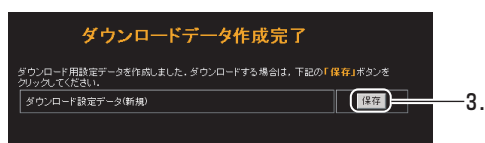
本体の設定値を本機からダウンロードする

1. 「ユーティリティ」→「ダウンロード」の順にクリックする



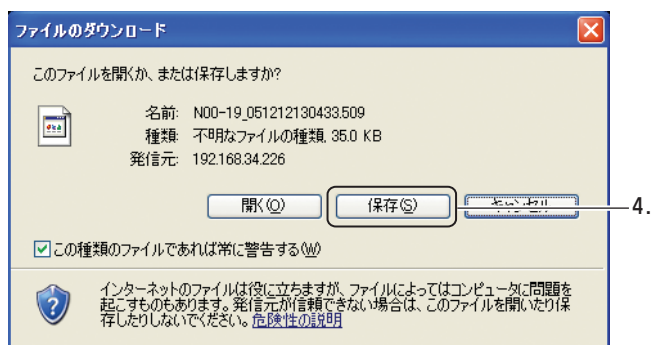
2. 「実行」をクリックする

- 「ダウンロードデータ作成中」画面が表示されます。
- ダウンロードデータの作成が完了すると、「ダウンロードデータ作成完了」画面が表示されます。



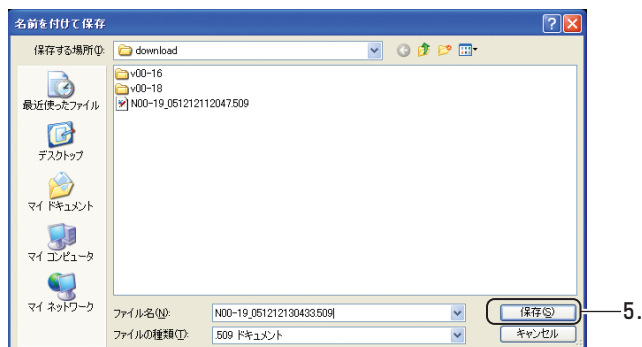
3. 「保存」をクリックする

- 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。



4. 「保存 (S)」をクリックする

- 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

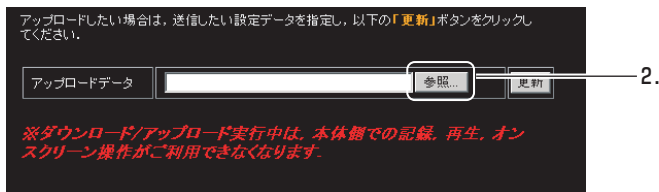


5. 「保存 (S)」をクリックする

- ダウンロードが実行されます。

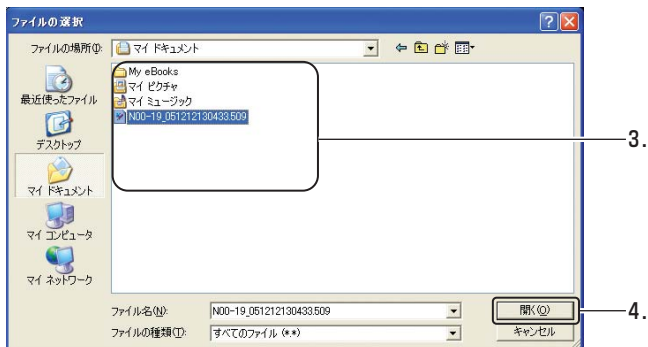
本体の設定値を本機にアップロードする

1. 「ユーティリティ」→「アップロード」の順にクリックする



2. 「参照」をクリックする

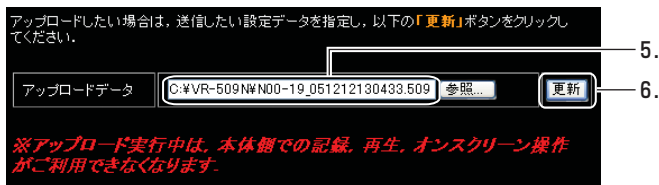
- 「ファイルの選択」画面が表示されます。



3. アップロードしたいファイルをクリックする

4. 「開く (O)」をクリックする

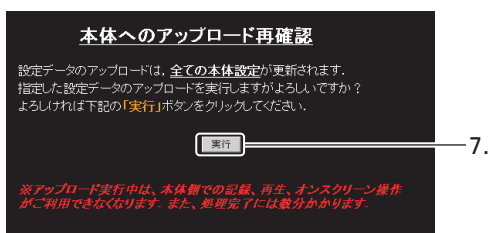
- 「アップロード」画面に戻ります。



5. アップロードするファイル名を確認する

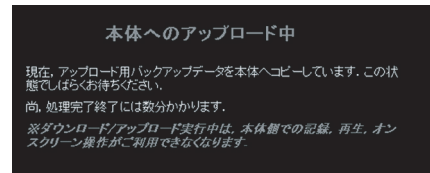
6. 「更新」をクリックする

- 「本体へのアップロード再確認」画面が表示されます。



7. 「実行」をクリックする

- アップロードが実行されます。
- 「本体へのアップロード中」画面が表示されます。



■ アップロード完了まで、しばらく待ちます。

- アップロードが完了すると、「アップロード完了」画面が表示されます。VR-509は自動的に再起動します。

保守

1. 「ユーティリティ」→「保守」の順にクリックする

使用時間	0 時間
停電時刻リスト	
PL-**	****/**/** **
PL-**	****/**/** **
PL-**	****/**/** **
PL-**	****/**/** **

- 使用時間・停電時刻リストが表示されます。

操作ログ

1. 「ユーティリティ」→「操作ログ」の順にクリックする

- 操作ログが表示されます。
- 操作実行日時、操作内容の順に表示されます。

記録ログ

1. 「ユーティリティ」→「記録ログ」の順にクリックする

- 記録ログが表示されます。
- 記録実行日時、記録内容の順に表示されます。

オープンソース

1. 「ユーティリティ」→「オープンソース」の順にクリックする

Software information regarding this product, Model No. VR-509
Copyright (C) 2007 Victor company of Japan Ltd.

The software of this product consists of the following software ;

1. the software which is developed by or for Victor Company of Japan, Ltd.;
2. the software which is licensed under the GNU GENERAL PUBLIC LICENSE (GPL); and
3. the software which is licensed under the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE (LGPL).

Also this product includes:

4. the software developed by The Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>), and
5. PHP, freely available from <http://www.php.net/>
6. Others

For the software categorized as 2 and 3, the license is available in accordance with the GNU GPL and the GNU LGPL respectively.

These software are provided "as is" without any warranty. You may have the source code of these software, and may redistribute and/or modify such software pursuant to the terms of the GNU GPL and the GNU LGPL published by the Free Software Foundation.

We are ready to distribute you with the source code of such software at your costs, provided that You agree to the terms and conditions of GNU GPL and GNU LGPL. Please refer: GPL(GNU Public License)

© Copyright 2007 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved

- オープンソースに関する情報が表示されます。

ステータス

1. 「ステータス」をクリックする

本体の設定内容を表示します。項目をクリックすると項目ステータス表示先にジャンプします。

- 週間タイマー設定
- 日付指定タイマー設定
- タイマーモード
- 非表示カメラ(WEB)
- モニター出力
- 表示
- シーケンシャル
- 分割シーケンシャル出力選択
- 非表示カメラ(本体)
- カメラタイトル
- 記録詳細
- 記録運用
- アラーム記録
- 動作
- 音声出力
- アラーム入力端子
- 信号入出力端子
- ブザー
- アドレス
- メール発報
- NTPサーバー登録
- NAT設定

- 設定内容を表にして一覧表示します。確認したい項目をクリックすると、その項目にジャンプします。

表示内容

- 週間タイマー設定
- 日付指定タイマー設定
- タイマーモード
- 非表示カメラ (WEB)
- モニター出力
- 表示
- シーケンシャル
- 分割シーケンシャル出力選択
- 非表示カメラ (本体)
- カメラタイトル
- 記録詳細
- 記録運用
- アラーム記録
- 動作
- 音声出力
- アラーム入力端子
- 信号入出力端子
- ブザー
- アドレス
- メール発報
- NTPサーバー登録
- NAT設定

※ シーケンシャル、カメラタイトル、記録運用、アラーム記録、アラーム入力端子の表示がグレーの場合は、グレー表示に対応したカメラが本体メニュー基本設定-1のカメラ入力設定で「なし」となっていることを示します。(18ページ)

ネットワークの設定を変更する

ネットワークのアドレス設定をする

1. 「ネットワーク」→「アドレス」の順にクリックする

本体のネットワーク設定を変更できます。変更後、「保存」ボタンをクリックしてください。※IP変更に伴いPCのネットワーク設定も変更しないとアクセスができなくなります。

設定方法	☒ 固定IP ☐ DHCP ☐ 切
IPアドレス	192 168 34 221
ネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	192 168 34 254
ホストネーム	vr509
ドメインネーム	localhost
DNSサーバー	0 0 0 0
MACアドレス	00:80:88:41:c6:98

保存 リセット

2. 設定を変更する（詳細は61ページ）

- 本機のネットワーク設定を変えると、パソコンのネットワーク設定変更も必要になります。変更の際はネットワーク管理者にご相談ください。
- 本機のネットワーク設定を変えた場合、パソコンのネットワーク設定も変更し、再度Webブラウザを起動してください。

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

NAT対応を設定する

NAT：Network Address Translation（ネットワークアドレス変換）

1. 「ネットワーク」→「NAT設定」の順にクリックする

本体のNAT対応設定ができます。

・新規登録する場合には「新規登録」ボタンをクリックしてください。
・登録内容を確認 変更または削除する場合にはIPリストから参照したいPCのIPアドレスを選択してください。なお、変更する場合には内容を変更後、「変更」ボタンをクリックしてください。また、削除する場合には「削除」ボタンをクリックしてください。

新規登録

NAT設定登録PC IPアドレスリスト

登録がありません。

変更 削除

2. 新規登録をする場合は、「新規登録」ボタンをクリックする

- NAT設定画面が表示されます。
- NAT設定は最大10ヶまで可能です。

本機にNAT対応を行うPCのIPアドレスリストの登録を行います。

NAT対応を行うPCのIPアドレスから全ての情報を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。

NAT対応PC IPアドレス	
NAT対応許可	☒ 無効 ☐ 有効
本体 IPアドレス	
JPEG配信ポート番号	8009
HTTPポート番号	80

登録

3. 設定を変更する（削除する）

- 「NAT 設定登録PC IPアドレスリスト」からIPアドレスを選択し、設定変更後、「変更」をクリックします。
- 「削除」をクリックすると、選択したIPアドレスを削除できます。

本体のNAT対応設定ができます。

・新規登録する場合には「新規登録」ボタンをクリックしてください。
・登録内容を確認 変更または削除する場合にはIPリストから参照したいPCのIPアドレスを選択してください。なお、変更する場合には内容を変更後、「変更」ボタンをクリックしてください。また、削除する場合には「削除」ボタンをクリックしてください。

新規登録

NAT設定登録PC IPアドレスリスト

10.0.0.101

NAT対応PC IPアドレス	10.0.0.101
NAT対応許可	☐ 無効 ☒ 有効
本体 IPアドレス	10.0.0.201
JPEG配信ポート番号	8009
HTTPポート番号	80

変更 削除

- 本体では画像配信にTCPポート8009、WEB配信にTCPポート80を使用しています。
- NAT設定の詳細は、104ページをご覧ください。

ネットワークの設定を変更する

アクセスユーザーを登録する

1. 「ネットワーク」→「アクセスユーザー登録」の順にクリックする

アクセスユーザー権限の情報が登録できます。使用者名の情報を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。

使用者名	
ユーザー名	
パスワード	
再パスワード	
アクセスユーザー権限	☒ Administrators ☐ Operators ☐ Users

2. ユーザー情報を入力／選択する

設定項目

使用者名

全角16文字（半角32文字）以内で入力します。

ユーザー名

英数字のみで、32文字以内で入力します。
大文字／小文字は区別されます。

パスワード

英数字のみで、8文字以内で入力します。
大文字／小文字は区別されます。

再パスワード

確認用に、再度パスワードを入力します。

アクセスユーザー権限

Administrators、Operators、Usersの中から選択できます。

権限ごとのアクセス可能メニュー

	Administrators	Operators	Users
ライブ画表示	○	○	○
イベント検索	○	○	○
タイマー 記録予約	○	○	×
WEB表示	○	○	×
本体表示	○	○	×
本体動作	○	○	×
ネットワーク	○	×	×
ユーティリ ティー	○	×	×
ステータス	○	○	○

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、入力がクリアされます。）

アクセスユーザーを確認する

1. 「ネットワーク」→「アクセスユーザー表示」の順にクリックする

アクセスユーザー権限の登録リストを表示します。使用者名の情報を変更する場合は「変更」ボタンをクリックしてください。また、削除する場合は「削除」ボタンをクリックしてください。

使用省名	ユーザー名	アクセスユーザー権限		
Administrator	admin	Administrators	変更	削除
Guest	guest	Operators	変更	削除

2. アクセスユーザーの内容を確認できます。
3. 「変更」ボタンを押すと、内容の変更ができます。
4. 「削除」ボタンを押すと、ユーザーを削除できます。

メモ

工場出荷時は、以下の2つのユーザー名が登録されています。

	①	②
ユーザー名	admin	guest
パスワード	vr-509	vr-509
アクセス権限	Administrators	Operators

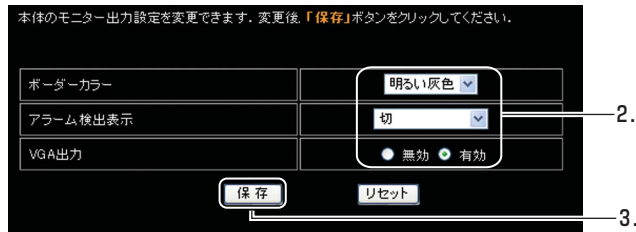
パソコンで本体の設定を変更する

パソコンから本体の設定を変更できます。

設定内容の詳細については、各設定項目の参照ページをご参照ください。

モニター出力

1. 「本体表示」 → 「モニター出力」 の順にクリックする



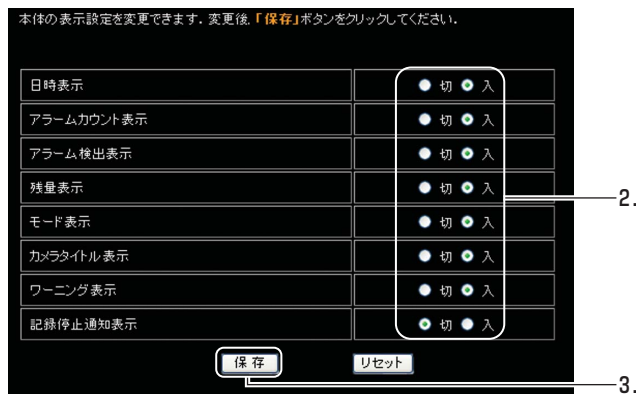
2. 設定を変更する（詳細は22ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

表示

1. 「本体表示」 → 「表示」 の順にクリックする



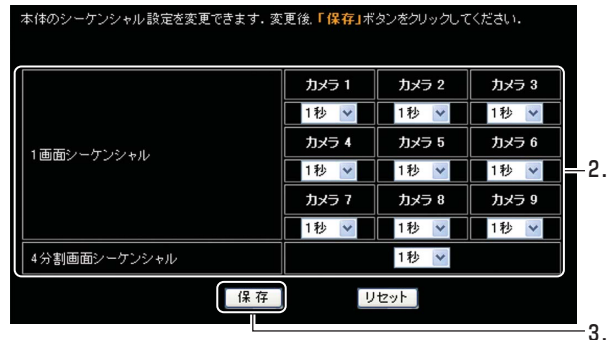
2. 設定を変更する（詳細は23ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

シーケンシャル

1. 「本体表示」 → 「シーケンシャル」 の順にクリックする



2. 設定を変更する（詳細は22ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

※ 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー基本設定-1のカメラ入力設定で「なし」となっていることを示します。（18ページ）

分割シーケンシャル出力選択

1. 「本体表示」 → 「分割シーケンシャル出力選択」 の順にクリックする



2. 設定を変更する（詳細は23ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

パソコンで本体の設定を変更する

非表示カメラ

1. 「本体表示」→「非表示カメラ」の順にクリックする

本体の非表示カメラ設定を変更できます。変更後、「保存」ボタンをクリックしてください。

カメラ1	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ2	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ3	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ4	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ5	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ6	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ7	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ8	☐ 無効 ☒ 有効
カメラ9	☐ 無効 ☒ 有効
非表示出力選択	☐ 両方
再生表示許可	☐ しない ☒ する

保存 リセット

2. 設定を変更する（詳細は25ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

記録詳細

1. 「本体動作」→「記録詳細」の順にクリックする

本体の記録詳細設定を変更できます。変更後、「保存」ボタンをクリックしてください。

通常運用音声記録	☐ 切 ☒ 入
アラーム音声記録	☐ 切 ☒ 入
エマージェンシー記録	30秒
パスワード不適合検出記録	切
運用切換ボタン操作	プログラムタイマー
電子透かし画像	☐ 切 ☒ 入

保存 リセット

2. 設定を変更する（詳細は28ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

記録運用

設定モードの選択と同じ画面で、それぞれのモードの記録運用設定を変更できます。

1. 「本体動作」→「記録運用」の順にクリックする

本体の記録運用設定を変更できます。変更後、「保存」ボタンをクリックしてください。

記録設定モード

入力No	通常運用		アラーム記録		動き検出
	コマ数	画質	コマ数	画質	
カメラ1	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ2	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ3	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ4	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ5	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ6	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ7	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ8	1秒10コマ	N	-----	H	切
カメラ9	1秒10コマ	N	-----	H	切

保存 リセット

2. 設定するモードを選ぶ

3. 設定を変更する（詳細は29ページ）

4. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

※ 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー基本設定-1のカメラ入力設定で「なし」となっていることを示します。（18ページ）

アラーム記録

1. 「本体動作」→「アラーム記録」の順にクリックする

本体のアラーム記録設定を変更できます。変更後、「保存」ボタンをクリックしてください。

設定入力	カメラ1
記録時間	3分
プリアラーム設定	切

保存 リセット

2. 設定するカメラを選ぶ

3. 設定を変更する（詳細は34ページ）

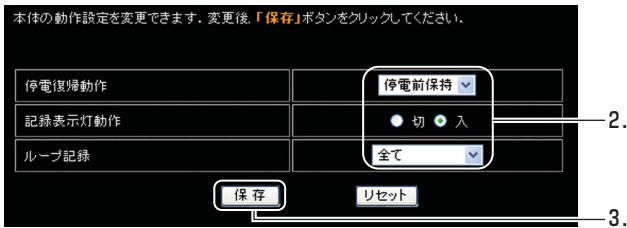
4. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

※ 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー基本設定-1のカメラ入力設定で「なし」となっていることを示します。（18ページ）

動作

1. 「本体動作」→「動作」の順にクリックする



2. 設定を変更する（詳細は31ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

音声出力

1. 「本体動作」→「音声出力」の順にクリックする



2. 設定を変更する（詳細は45ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

アラーム入力端子

1. 「本体動作」→「アラーム入力端子」の順にクリックする



2. 設定を変更する（詳細は33ページ）

- 縦軸にアラーム入力端子、横軸にカメラ入力を配列した表になっています。
- それぞれのアラーム端子に信号が入力されたとき、その右のカメラ入力を表す数字にチェックが付いていれば有効、空欄であれば無効であることを示しています。

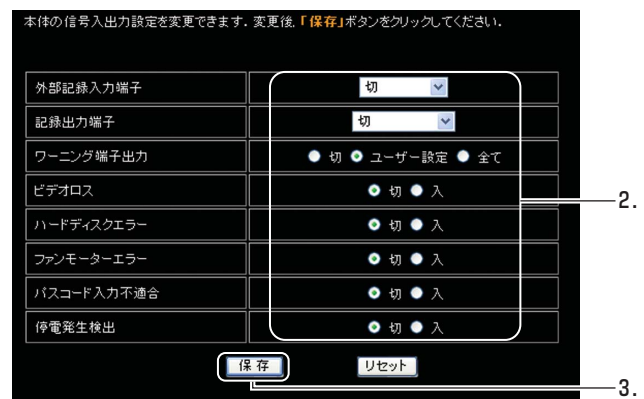
3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

※ 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー基本設定-1のカメラ入力設定で「なし」となっていることを示します。（18ページ）

信号入出力端子

1. 「本体動作」→「信号入出力端子」の順にクリックする



2. 設定を変更する（詳細は50ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

ブザー

1. 「本体動作」→「ブザー」の順にクリックする

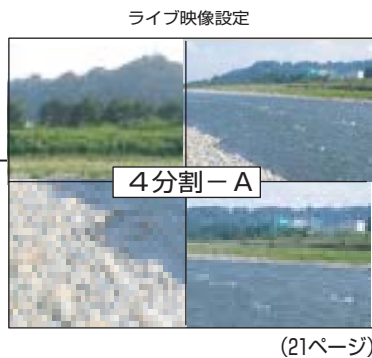
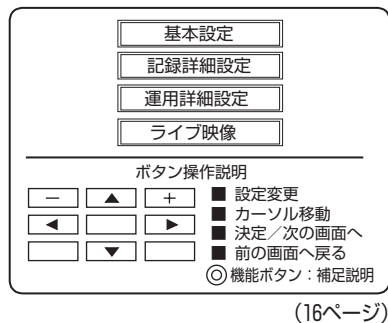


2. 設定を変更する（詳細は50ページ）

3. 「保存」をクリックする

（「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。）

メニューの流れ



基本設定-1

カメラ1	あり
カメラ2	あり
カメラ3	あり
カメラ4	あり
カメラ5	あり
カメラ6	あり
カメラ7	あり
カメラ8	あり
カメラ9	あり
記録画像モード	滑らか

基本設定-3で【設定終了】を選択後、更新処理をしないと設定した値は反映されません。
決定ボタンを押して次へ進んでください。

(18ページ)

基本設定-2

記録画像保有期間	1週間
音声記録	切
ループ記録	全て

基本設定-3で【設定終了】を選択後、更新処理をしないと設定した値は反映されません。
決定ボタンを押して次へ進んでください。

(18ページ)

記録詳細設定

記録運用設定...	
通常音声記録	切
アラーム音声記録	切
アラーム入力端子設定...	
アラーム記録設定...	
エマージェンシー記録	切
パスコード不適合検出記録	切
運用切換ボタン操作	プログラムタイマー
週間タイマー設定...	
日付指定タイマー設定...	
電子透かし画像	切

(28ページ)

記録運用設定

標準記録運用...
記録運用1..
記録運用2..
記録運用3..
記録運用4..
記録運用5..
記録運用6..
記録運用7..
記録運用8..
記録運用9..

(29ページ)

標準記録運用

	通常記録 コマ数	画質	アラーム記録 コマ数 (AUTO)	画質	動き検出
カメラ1	10	N	--	--	--
カメラ2	10	N	--	--	--
カメラ3	10	N	--	--	--
カメラ4	10	N	--	--	--
カメラ5	10	N	--	--	--
カメラ6	10	N	--	--	--
カメラ7	10	N	--	--	--
カメラ8	10	N	--	--	--
カメラ9	10	N	--	--	--
記録可能時間	48	h			

(29ページ)

メニューの流れ (つづき)

基本設定-3					
通常記録			アラーム記録		
カメラ	コマ数	画質	コマ数 (AUTO)	画質	動き検出
カメラ1	10	N	--	--	--
カメラ2	10	N	--	--	--
カメラ3	10	N	--	--	--
カメラ4	10	N	--	--	--
カメラ5	10	N	--	--	--
カメラ6	10	N	--	--	--
カメラ7	10	N	--	--	--
カメラ8	10	N	--	--	--
カメラ9	10	N	--	--	--
詳細に設定する			設定終了		

(19ページ)

アラーム入力端子設定	
アラーム端子	
端子 1	(1)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 2	(-)(2)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 3	(-)(-)(3)(-)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 4	(-)(-)(-)(4)(-)(-)(-)(-)(-)
端子 5	(-)(-)(-)(-)(5)(-)(-)(-)(-)
端子 6	(-)(-)(-)(-)(-)(6)(-)(-)(-)
端子 7	(-)(-)(-)(-)(-)(-)(7)(-)(-)
端子 8	(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(8)(-)
端子 9	(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(-)(9)
エマージェンシー入力	(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)

(33ページ)

アラーム記録設定	
カメラNo.	カメラ 1
記録時間	3分
ブリアラーム設定	切
動き検出設定	
動作感度レベル (標準8)	8
停止レベル (標準2)	2
対象エリアレベル (標準2)	2
動き検出エリア設定...	

(34ページ)

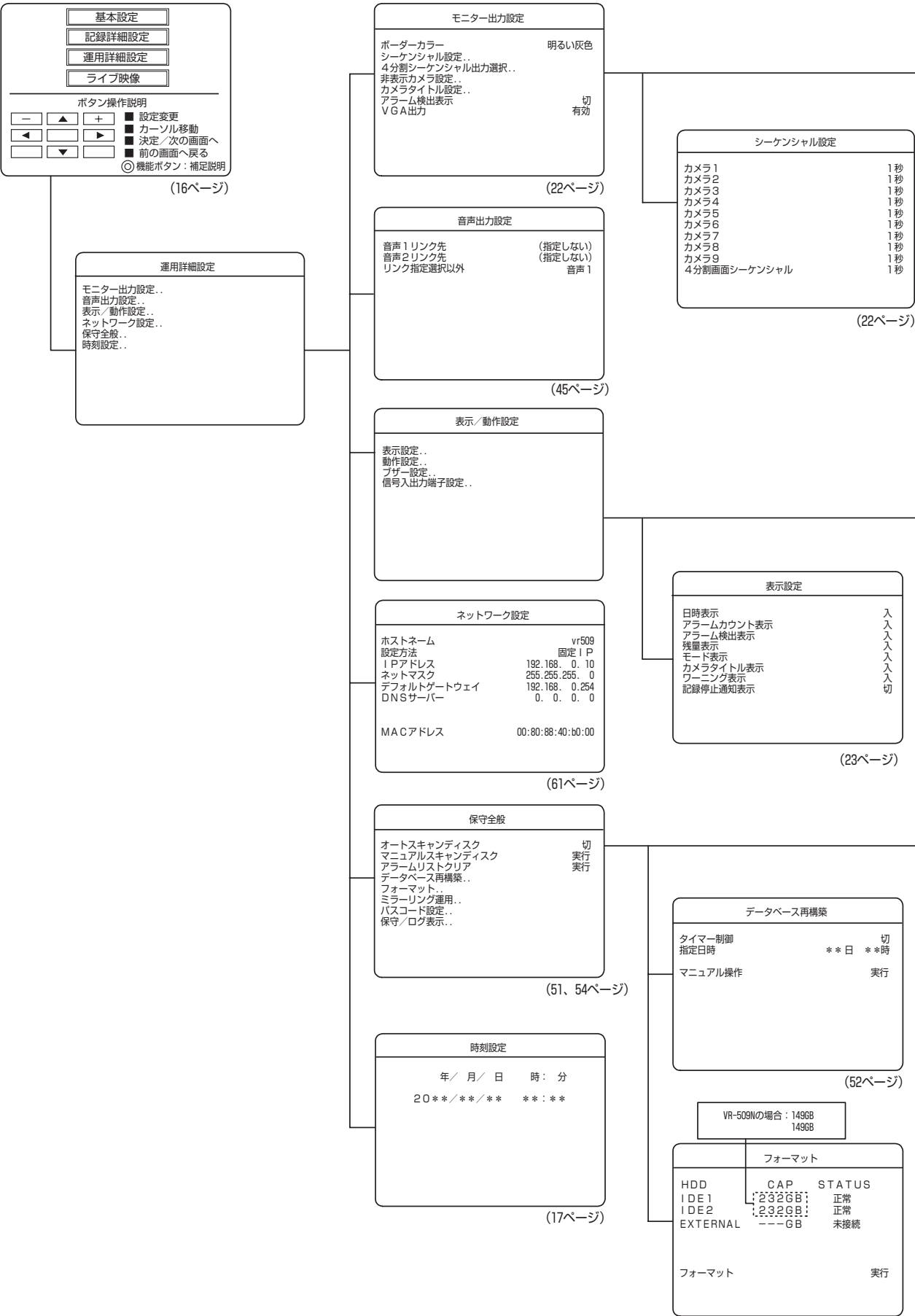
週間タイマー設定				
開始	終了	モード	実行	
日曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
月曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
火曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
水曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
木曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
金曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
土曜	**:*:*	**:*:*	*****	**
毎日	**:*:*	---	*****	**
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜 金曜 土曜

(38ページ)

日付指定タイマー設定			
開始	終了	モード	実行
:*:*	**:*:*	***	**
1.**月**日	9.**月**日		
2.**月**日	10.**月**日		
3.**月**日	11.**月**日		
4.**月**日	12.**月**日		
5.**月**日	13.**月**日		
6.**月**日	14.**月**日		
7.**月**日	15.**月**日		
8.**月**日	16.**月**日		

(39ページ)

メニューの流れ（つづき）



上図はVR-509BNの例です。(52ページ)

メニューの流れ (つづき)

4分割シーケンシャル出力選択	
4分割画面	
4分割-A	有効
4分割-B	有効
4分割-C	有効

(23ページ)

非表示カメラ設定	
カメラ1	無効
カメラ2	無効
カメラ3	無効
カメラ4	無効
カメラ5	無効
カメラ6	無効
カメラ7	無効
カメラ8	無効
カメラ9	無効
非表示出力選択	スポット出力+モニター出力
再生表示許可	しない
非表示カメラ (WEB) 設定..	

(25ページ)

非表示カメラ (WEB) 設定	
カメラ1	無効
カメラ2	無効
カメラ3	無効
カメラ4	無効
カメラ5	無効
カメラ6	無効
カメラ7	無効
カメラ8	無効
カメラ9	無効
Web再生表示許可	しない

(25ページ)

カメラタイトル設定	
カメラ1:	
*****	英数字
*****	記号
*****	カタカナ
*****	定型文

(47ページ)

動作設定	
停電復帰動作	停電前保持
記録表示灯動作	入
ループ記録	全て
オペレーションロック解除方法	簡易
オペレーションロック	記録停止禁止
記録停止	切
再生	切
設定変更	切
モニター切換	切
運用操作	切

(31、49ページ)

ブザー設定	
アラームブザー	切
HDDフルブザー	切
ワーニングブザー	切
ビデオロス	切
ハードディスクエラー	切
ファンモーターエラー	切
パスワード入力不適合	切
停電発生検出	切
記録停止	切
ボタン操作音	入

(50ページ)

信号入出力端子設定	
外部記録入力端子	切
記録出力端子	切
ワーニング端子出力	切
ビデオロス	切
ハードディスクエラー	切
ファンモーターエラー	切
パスワード入力不適合	切
停電発生検出	切

(50ページ)

VR-509Nの場合: 149GB 149GB		
ミラーリング運用		
HDD	GAP	STATUS
IDE1	232GB	正常
IDE2	232GB	正常
ミラーリング設定		する

上図はVR-509BNの例です。(53ページ)

保守/ログ表示	
使用時間	***** h
停電時間リスト	
PL-****	**/**/** **:**
PL-****	**/**/** **:**
PL-****	**/**/** **:**
PL-****	**/**/** **:**
システム再起動	実行
操作ログ表示	実行
記録状態ログ表示	実行
設定データ保存	実行
設定データ読み込み	実行

(56、58ページ)

パスワード設定	
パスワード	未設定
パスワード入力許可回数	切
サブパスワード	未設定

(55ページ)

メニュー 一覧

●は工場出荷時設定です。

基本設定－１（１８ページ）	
項目	設定値
カメラ１～９	●あり、なし
記録画像モード	●滑らか、高精細

基本設定－２（１８ページ）	
項目	設定値
記録画像保有期間	１日、３日、５日、●１週間、２週間、３週間、１ヶ月、２ヶ月、３ヶ月
音声記録	入、●切
ループ記録設定	切、アラームロック、●全て、１週間、２週間、１ヶ月

記録詳細設定（２８ページ）	
項目	設定値
通常音声記録	入、●切
アラーム音声記録	入、●切
エマージェンシー記録	●切、３０秒、１分、５分、１０分、２０分、継続、マニュアル
パスコード不適合検出記録	●切、１０秒、２０秒、３０秒
運用切換ボタン操作	●プログラムタイマー、記録運用１～９
電子透かし画像	入、●切

記録運用設定（２９ページ）	
項目	設定値
コマ数（通常記録）	－、１／１０、１／５、１／２、１、２、３、６、●１０、１５、３０（コマ／秒）
画質（通常記録）	H（High）、●N（Normal）、B（Basic）、L（Long）
コマ数（アラーム記録）	１、２、３、６、１０、１５、３０（コマ／秒）、●---、AUTO
画質（アラーム記録）	●H（High）、N（Normal）、B（Basic）、L（Long）
動き検出	●切、標準、ユーザー、出入口 高、出入口 低、通路 高、通路 低、レジ 高、レジ 低、ATM 高、ATM 低、ロビー 高、ロビー 低、通用門 高、通用門 低、駐車場 高、駐車場 低、低照度 高、低照度 低、エレベータ、カウンタ

アラーム入力端子設定（３３ページ）	
項目	設定値
アラーム端子１～９	無効（－）、●有効（１）～（９）
エマージェンシー入力	無効（－）、●有効（１）～（９）

メニュー一覧（つづき）

●は工場出荷時設定です。

アラーム記録設定（34ページ）	
項目	設定値
カメラNo.	●カメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4、カメラ5、カメラ6、カメラ7、カメラ8、カメラ9
記録時間	10秒、15秒、30秒、1分、●3分、5分、マニュアル
プリアラーム設定	●切、10秒、30秒、60秒
動き検出設定	
動作感度レベル	1～10（工場出荷時設定：8）
停止レベル	1～3（工場出荷時設定：2）
対象エリアレベル	1～10（工場出荷時設定：2）

週間タイマー設定（38ページ）	
項目	設定値
開始曜日	日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜、毎日
開始時刻	00：00～23：59
終了曜日	日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜
終了時刻	00：00～23：59
モード（運用設定選択）	標準、記録運用1～9
実行設定	切、入、毎週
記録曜日設定	日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜

日付指定タイマー設定（39ページ）	
項目	設定値
開始時刻	00：00～23：59
終了時刻	00：00～23：59
モード（運用設定選択）	標準、記録運用1～9
実行設定	切、入
日付設定	1月1日～12月31日

モニター出力設定（22ページ）	
項目	設定値
ボーダーカラー	黒、暗い灰色、灰色、●明るい灰色
アラーム記録表示	●切、固定、シーケンシャル
VGA出力	●有効、無効

メニュー 一覧 (つづき)

●は工場出荷時設定です。

シーケンシャル設定 (22ページ)	
項目	設定値
カメラ1～カメラ9	切、●1秒、2秒、3秒、5秒、10秒
4分割画面シーケンシャル	●1秒、2秒、3秒、5秒、10秒

4分割シーケンシャル出力選択 (23ページ)	
項目	設定値
4分割画面	
4分割 - A	●有効、無効
4分割 - B	●有効、無効
4分割 - C	●有効、無効

非表示カメラ設定 (25ページ)	
項目	設定値
カメラ1～カメラ9	有効、●無効
非表示出力選択	切、スポット出力、モニター出力、 ●スポット出力+モニター出力
再生表示許可	する、●しない

非表示カメラ (WEB) 設定 (25ページ)	
項目	設定値
カメラ1～カメラ9	有効、●無効
Web再生表示許可	する、●しない

カメラタイトル設定 (47ページ)	
項目	設定値
カメラ1～カメラ9	(半角20文字、全角10文字まで) (工場出荷時設定 CAM 01～CAM 09)

音声出力設定 (45ページ)	
項目	設定値
音声1リンク先	●(指定しない)、カメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4、 カメラ5、カメラ6、カメラ7、カメラ8、カメラ9
音声2リンク先	●(指定しない)、カメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4、 カメラ5、カメラ6、カメラ7、カメラ8、カメラ9
リンク指定選択以外	切、●音声1、音声2

メニュー 一覧 (つづき)

●は工場出荷時設定です。

表示設定 (23ページ)	
項目	設定値
日時表示	●入、切
アラームカウント表示	●入、切
アラーム検出表示	●入、切
残量表示	●入、切
モード表示	●入、切
カメラタイトル表示	●入、切
ワーニング表示	●入、切
記録停止通知表示	入、●切

動作設定（31, 49ページ）		
項目		設定値
停電復帰動作（31ページ）		切、強制記録、●停電前保持
記録表示灯動作（31ページ）		●入、切
ループ記録（31ページ）		切、アラームロック、●全て、1週間、2週間、1ヶ月
オペレーションロック解除方法（49ページ）		●簡易、パスコード（モード1）、パスコード（モード2）
オペレーションロック（49ページ）		切、●記録停止禁止、全て禁止、ユーザー設定
	記録停止	入、●切
	再生	入、●切
	設定変更	入、●切
	モニター切換	入、●切
	運用操作	入、●切

ブザー設定（50ページ）		
項目		設定値
アラームブザー		入、●切
HDDフルブザー		入、●切
ワーニングブザー		●切、ユーザー設定、全て
	ビデオロス	入、●切
	ハードディスクエラー	入、●切
	ファンモーターエラー	入、●切
	パスコード入力不適合	入、●切
	停電発生検出	入、●切
	記録停止	入、●切
ボタン操作音		●入、切

メニュー 一覧 (つづき)

●は工場出荷時設定です。

信号入出力端子設定 (50ページ)		
項目		設定値
外部記録入力端子		●切、トリガー、マニュアル
記録出力端子		●切、全て、アラーム記録、記録停止
ワーニング端子出力		●切、ユーザー設定、全て
	ビデオロス	入、●切
	ハードディスクエラー	入、●切
	ファンモーターエラー	入、●切
	パスコード入力不適合	入、●切
	停電発生検出	入、●切

ネットワーク設定（61ページ）	
項目	設定値
ホストネーム	●vr509
取得方法	切、●固定IP、DHCP
IPアドレス	●192.168.0.10
ネットマスク	●255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	●192.168.0.254
DNSサーバー	●0.0.0.0
MACアドレス	設定できません。

保守全般 (51, 54ページ)		
項目		設定値
オートスキャンディスク	(51ページ)	入、●切
マニュアルスキャンディスク	(51ページ)	実行
アラームリストクリア	(54ページ)	実行

データベース再構築 (52ページ)		
項目		設定値
タイマー制御		入、●切
指定日時	日付	1～31 (指定日)、日、月、火、水、木、金、土 (指定曜日)
	時刻	0～23
マニュアル操作		実行

フォーマット（52ページ）	
項目	設定値
フォーマット	実行

メニュー一覧（つづき）

●は工場出荷時設定です。

ミラーリング運用（53ページ）	
項目	設定値
ミラーリング設定	
（ミラーリングOFFのとき）	する
（ミラーリングONのとき）	しない

パスコード設定（55ページ）	
項目	設定値
パスコード	●未設定、設定済み
パスコード誤入力許可回数	●切、1回、2回、3回
サブパスコード	●未設定、設定済み

保守／ログ表示（56, 58ページ）	
項目	設定値
システム再起動（56ページ）	実行
操作ログ表示（56ページ）	実行
記録状態ログ表示（56ページ）	実行
設定データ保存（58ページ）	実行
設定データ読み込み（58ページ）	実行

時刻設定（17ページ）	
項目	設定値
年	2005～2037
月	1～12
日	1～31
時	0～23
分	0～59
秒	0～59

トラブル時の対応

エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル

オンスクリーン表示	原因と対処方法	参照ページ
“E-01 ハードディスクエラーを検出しました。” ※1 ※2	- ハードディスクの動作異常により、再起動しました。 - そのまま残ったハードディスクで運転を継続します。 → 電源を入れ直してください。 → 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“E-02 NO HDD” “E-02 IDE 1 FORMAT NG” “E-02 MIRRORING NG” “E-02 DB START NG”	ハードディスクの動作異常です。(起動できません。) → 電源を入れ直してください。 → 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“VIDEO IN**入力なし (E-03)” ※2	映像信号の入力がありません。 → 停止状態にして接続を確認してください。 → メニュー [基本設定 - 1]を見直してください。 ※ この表示がされた状態で記録を続けると、正しく記録できない場合があります。メニュー [基本設定 - 1]画面の[カメラ]を“なし”にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。	P13 P18
“E-05検出。ビクターサービスにご連絡ください。” ※1 ※2	ファンモーターの動作異常です。 → 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“E-06検出。ビクターサービスにご連絡ください。” ※1 ※2	EEPROMの異常です。 → メニュー内容変更にてこのエラーが発生した場合、一度オペレートOFFし、再度オペレートONして内容をご確認ください。 → メニュー内容変更時や、運用中に何度もこのエラーが発生する場合は、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“E-07検出。ビクターサービスにご連絡ください。” ※1 ※2	コーディック1の異常です。(主に記録、本体再生用) ※ この表示がされた場合、HDD再生、HDDへの記録が正しくできなくなります。 → 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“E-08検出。ビクターサービスにご連絡ください。” ※1 ※2	コーディック2の異常です。(主に配信用) ※ この表示がされた場合、USB静止画キャプチャ、ネットワークへのライブ/再生配信が正しくできなくなります。 → 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“E-09検出。ビクターサービスにご連絡ください。” ※1 ※2	内蔵ハードディスクの片方が動作異常です。(ミラーリング設定時のみ検出されます。) → 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
“停電履歴を更新しました。” ※2 “UPSによる停電復帰を実行しました。”	停電が起きた時に表示されます。 → 故障ではありません。[キャンセル] ボタンで解除してください。	P56

※1～3：次ページをご参照ください。

トラブル時の対応（つづき）

エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル（つづき）

オンスクリーン表示	原因と対処方法	参照ページ
“ハードディスクの残量が少量になっています。”	ハードディスクに記録できるスペースがわずかになっています。 → 必要に応じて、ハードディスクのフォーマットやループ記録設定の変更を行ってください。 ※ フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。	P52 P31
“ハードディスクの残量がありません。” ※1※3	ハードディスクに記録をするスペースがありません。 → ハードディスクのフォーマットを実施し、記録スペースを確保するか、ループ記録を“切”以外に設定してください。 ※ フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。	P52 P31
“イベント残量が少量になっています（**%）”	記録運用設定が適切でないためにハードディスクの全ての容量を使いきる前に古いイベントが削除もしくは記録が停止する可能性があります。 → アラームの感度や回数をへらす設定変更をしてください。	P29
“イベント残量がありません（0%）”	記録運用設定が適切でないためにハードディスクの全ての容量を使いきる前に古いイベントの削除もしくは記録停止が発生します。 → アラームの感度や回数をへらす設定変更をしてください。	P29
“NTPサーバー接続エラー”	NTPサーバー登録が有効になっているのに、NTPサーバーに接続でませんでした。 → NTPサーバー登録をやり直すか、NTPサーバー機能を無効にしてください。	P73
“HDD確認のため再起動しました”	HDDの一時的な不安定動作（増設ハードディスクの一時的な電源ダウンなど）を検出したため、本機を自動的に再起動しました。HDDの代替セクタ処理中にも表示されます。 → 再起動時に、正常な状態に戻っているので、運用上問題はありません。頻繁に起こる場合は最寄のビクターサービス窓口にお問い合わせください。	P56

※1: エラー発生時にブザーが鳴ります。

※2: エラー発生時にWARNING OUTに信号が出力されます。

※3: ハードディスクに残容量が無いときに、[記録／停止]ボタンを押したり、アラーム入力などで記録開始が指示されると、再生中であっても優先して表示されます。（5秒間の点滅）

トラブル時の対応（つづき）

フラッシュメモリに関するトラブル

オンスクリーン表示	原因と対処方法	参照 ページ
“静止画保存失敗” “設定データ保存失敗”	- 書き込む動作中、フラッシュメモリを抜いた。 - フラッシュメモリが読み出し専用になっている。 → 読み出し専用を解除してください。 - フラッシュメモリの容量が少ない。 → 空き容量を増やすか、または新しいフラッシュメモリを接続してください。 - 空き容量があるのに書き込めない。(USBフラッシュメモリのルートディレクトリにおけるファイル数には限りがあります。) → ファイルをサブディレクトリに入れるか、またはファイルを削除してください。	P57 P58
“USBフラッシュメモリの設定 データが認識できません”	- 読み込み動作中、フラッシュメモリを抜いた。 - フラッシュメモリ内にメニュー設定データが存在しない。 - VR-509本体のバージョンとメニュー設定データのバージョンが違う。 - メニュー設定データのファイルが壊れている。	P58

トラブル時の対応（つづき）

その他のトラブル

症状	原因と対処方法	参照ページ
電源が入らない。	→ 電源ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。	—
[記録][再生/一時停止]を押しても操作できない。	→ オペレーションロックになっていないか確認してください。 → タイマースタンバイになっていないか確認してください。	P49 P38, P39
再生画像がモニターに表示されない。	→ モニターの接続を確認してください。 → 記録画像のあるカメラを選んでください。	P13 P41
プログラムタイマーで記録予約ができない。	→ 日付・時刻設定を確認してください。 → タイマースタンバイになっているか確認してください。 → タイマープログラムを確認してください。	P17 P38, P39
メニュー画面が表示されない。	→ オペレーションロックになっていないか確認してください。 → タイマースタンバイになっていないか確認してください。	P49
日付・時刻および、タイトルがオンスクリーンに表示されない。	→ [表示設定]メニューの設定項目が“入”になっているか確認してください。	P23
タイムデートが記録されない。	→ 日付・時刻設定を確認してください。	P17
タイマー表示灯が点滅する。	- プログラムタイマーが予約されていないか実行できる記録予約がありません。 - プログラムタイマーを確認してください。 - ハードディスクの残容量がありません。 - ハードディスクのフォーマットをして記録スペースを確保するか、ループ記録を“切”以外に設定してください。	P38, P39 P52, P31
音声が生再生できない。	→ [記録詳細設定]メニューの[音声記録]が“入”で記録してください。 → [音声出力設定]メニューを確認してください。	P28 P45
スキップジャンプ、ダイレクトジャンプができない。	→ 日付・時刻設定を確認してください。 → [スキップ設定]を確認してください。	P17 P44
[スキップ]を押すと、どんどん進んでしまう。	→ [スキップ設定]の[連続スキップ再生]が“切”以外になっていないか確認してください。	P44
ラックマウントできない。	→ ラックマウント金具は別売りとなっております。詳しくはご購入の販売店にご相談ください。	—

トラブル時の対応（Webブラウザ）

エラーメッセージの出るトラブル

エラーメッセージ	原因と対処方法
“利用制限（5××2）：通常記録中”	本機の各本体動作を停止、終了させてからWebブラウザ操作を行ってください。
“利用制限（5××3）：タイマー記録中”	
“利用制限（5××5）：アラーム記録中”	
“利用制限（5××6）：エマージェンシー記録中”	
“利用制限（5××7）：オンスクリーン／メニュー操作中”	
“利用制限（5××8）：タイマーモードスタンバイ中”	本機の各本体動作を停止、終了させてからWebブラウザ操作を行ってください。
“警告：Java Script使用許可が無効”	
“Authorization Required”	
“全ての「実行モード」無効”	
“ERROR（4xxx）：***” “警告（xxxx）：***”	
“本体エラー発生（E_xx）：***”	ご使用のWebブラウザでは、JavaScriptが禁止されています。 → Webブラウザの［インターネットオプション］でセキュリティのレベルを変更してください。 本機へのアクセス時のユーザー名、パスワード認証が失敗しています。 → 本機に再度アクセスし、ユーザー名、パスワードを正確に入力してください。 週間タイマー設定、日付タイマー設定の中で1つも実行されるプログラムタイマーがありません。 → 週間タイマー設定、日付タイマー設定を見直してください。 Webブラウザからの設定要求に対する動作処理が失敗しました。 → 再度メニューボタンから設定項目を選んで要求するか、URLを更新して、もう一度Webブラウザ操作を行ってください。 本体側のシステムエラーを検出しました。 ※ この場合、ライブ画／再生画は見れません。また、本体の設定変更はできません。 → 本体側の動作状況を確認してください。

トラブル時の対応（Webブラウザ）（つづき）

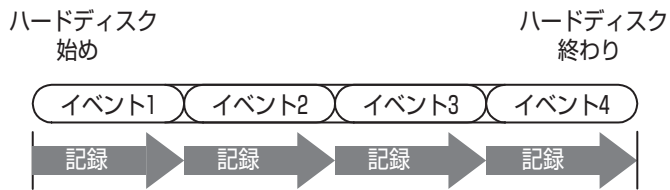
エラーメッセージの出ないトラブル

症状	原因と対処方法
Webブラウザに指定のURLを入力してもアクセスできない。	→ Webブラウザの［インターネットオプション］でプロキシサーバーを使用しないように設定してください。
“本体表示”、“本体動作”、“ネットワーク”、“ユーティリティ”、“タイマー記録予約”などを選択するとユーザー名とパスワードが要求された。	→ 登録したアクセス権限の高いユーザー名、パスワードを入力し、ログインしてください。
Administrator権限のパスワードを忘れたため、Webブラウザ操作のメニュー画面が表示できない。	パスワードは忘れないようにしてください。 → パスワードの解除作業は、機密保護も含めて修理扱いとなります。お手数ですがその場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
週間タイマー設定のデイリーモードが選択できない。	→ タイマー記録予約（週間）の中から開始曜日が［毎日］で登録された部分の『変更』ボタンをクリックし、デイリーモードのみ再設定してください。
週間タイマー設定／日付指定タイマー設定で新しいプログラムを追加できない。	別のタイマー記録予約を行ないたい場合は、タイマー記録予約リストの中から「変更」「削除」ボタンを使って変更してください。

Webブラウザ用語解説

ドメイン名	ネットワークに接続されたパソコンの所属するネットワーク名。
ホスト名	ネットワーク上でのパソコン（または本機）の名前。 ネットワークに接続されたパソコンの名前は、DNS（Domain Name System）と呼ばれるデータベースによって管理されます。DNSは各パソコンに割り当てられたIPアドレスと、ドメイン名を関連付け、ユーザがアクセスしたいパソコンを指定できるようにします。
IPアドレス	ネットワークに接続されたパソコン1台ずつに割り振られた識別番号。 ネットワーク機器がお互いに通信するために使用します。 IPアドレスには、「グローバルIP アドレス」と「ローカルIPアドレス」（プライベートIPアドレス）があります。 IPアドレス ← → ホスト名 ドメイン名 192.168.0.10 変換 .vr509 jvc-victor.co.jp パソコンに割り当てられたIPアドレスは、DNSサーバーによってホスト名・ドメイン名に変換されます。
グローバルIP アドレス:	ネットワーク上で別々のIPアドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々のIPアドレスを使用する必要があります。このIPアドレスがグローバルIPアドレスです。通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカルIP アドレス:	インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみ等）では、ネットワーク内で別々の自由なIPアドレスを使用することができます。このIPアドレスがローカルIPアドレスです。
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	ネットワーク上のIPアドレスを自動割り当てする方法のこと。 パソコンがネットワークに接続されると、DHCP サーバーがIPアドレスを自動割り当てします。
サブネットマスク	1つのネットワーク内で仮想的に複数のネットワーク（サブネット）に分けて管理するしくみ。 サブネットマスクは、IPアドレスのうち何ビットをサブネット識別に使用するかを定義した32 ビットの数値の事です。
LAN (Local Area Network)	1つの建物や企業のオフィス内など比較的に狭い範囲で構築するネットワークのことです。
デフォルトゲートウェイ	コンピュータが属するネットワーク外のコンピュータと通信をする際に、互いに異なるプロトコルの翻訳作業を行なうハードウェアとソフトウェアのことです。 Windows では、IPアドレスを設定するときにデフォルトゲートウェイのIPアドレス設定も必要です。
プロトコル	ネットワーク等を使ってパソコンや機器が通信を行なうための取り決めのことです。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略で、ネットワークで使われるプロトコルの1つです。
ログイン	パソコンなどの端末を、オンラインデータベースやサーバーに接続し利用を開始することです。
ピアツーピア	パソコン同士を対等（1対1）に接続する小規模ネットワークのことです。
NTP	ネットワークに接続されている機器の時刻を自動的に同期させるしくみです。 WindowsXP Windows 2000 には標準でNTPサーバーの機能が備わっています。また、インターネット上のNTPサーバーを利用することも可能です。

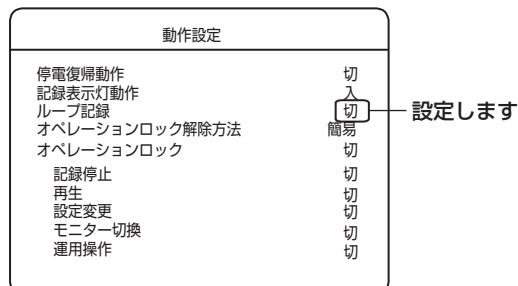
通常記録のしくみ



- 通常記録では、ハードディスクの始めから終わりまで順に記録していきます。
- ひとつの記録開始から停止までをイベントと呼びます。
- ハードディスクの終わりまで記録すると停止し、それ以上の記録はできなくなります。
- 上図のように記録されたイベントの再生を行なうと、各イベントが切り換わるさかい目で、再生（画像と音声）が一瞬とまります。

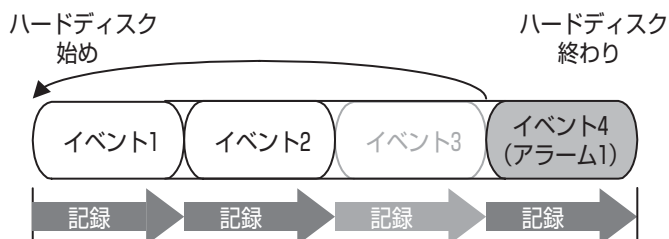
ループ記録のしくみ

ハードディスクの終わりまで記録し、記録残容量がなくなると、ハードディスクの始めに戻りオーバーライトをしていく動作をループ記録といいます。設定は、31ページ「動作設定」画面の、「ループ記録」項目で行ないます。

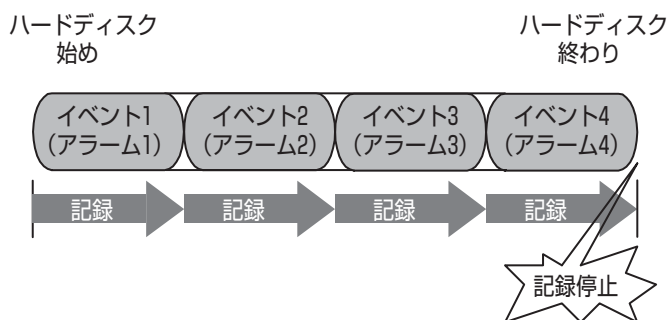


■ アラームロックを選んだとき

- アラーム記録データ以外の通常記録エリア（空き領域）でループ記録を行ないます。

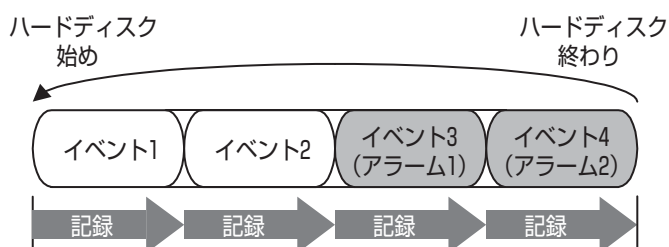


- アラーム記録が多くなり、通常記録エリアがなくなると停止します。



■ すべてを選んだとき

- アラーム記録/通常記録エリアに関係なくループ記録を行ないます。
- 記録を停止させるまで、エンドレスに記録をつづけます。



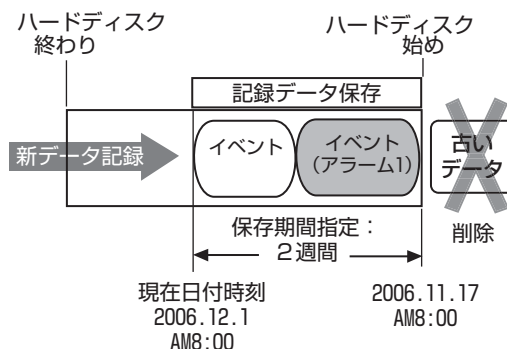
■ 保存期間指定ループ記録を選んだとき（1週間、2週間または1ヶ月（31日間））

- 指定した保存期間の記録がハードディスクに保存されます。

指定した保存期間よりも古い記録は、アラーム記録、通常記録の区別なく自動的に削除されます。（例1）

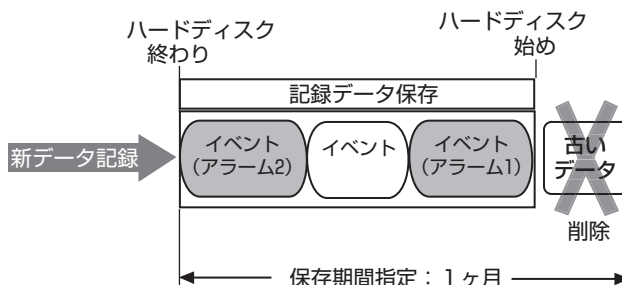
指定した保存期間に達する前にハードディスクが一杯になった場合、アラーム記録、通常記録の区別なく古い記録から削除されます。（例2）

（例1）保存期間を2週間に設定した場合



※ 保存期間指定ループ記録の動作時間は、保存期間に対して最大7時間の誤差があります。上記例の場合、2006.11.17 AM1:00から11.17 AM8:00までの記録が削除されるかどうか不定です。

（例2）保存期間を1ヶ月に設定した場合



ループ記録についてのご注意

- 記録モデルのイラストはイメージ図です。実際の記録方式とは異なります。
- ループ記録は古いイベントからオーバーライトしていきます。オーバーライトされると、元の記録データは消去されます。
- チャンネル毎に消去される時間がずれる場合があります。
- ループ記録の設定を保存期間指定ループ記録以外（切／アラームロック／全て）から保存期間指定ループ記録（1週間／2週間／1ヶ月）に変更した場合、保存期間よりも古い記録削除に時間を要する場合があります。記録削除実行中は、モニター画面のモード表示に（DB/）が表示されます。再生中の画像が削除対象になった場合、黒画面になり再生が停止します。このような時はモニター画面のモード表示（DB/）が消えてから、再度再生してください。

プリアラーム記録のしくみ

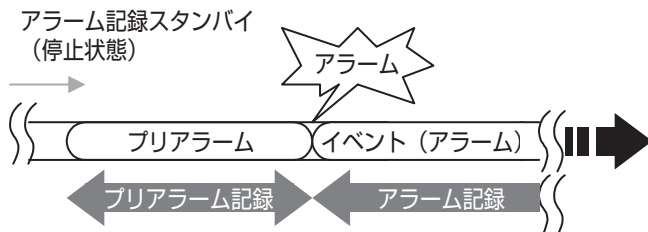
プリアラーム記録は、アラーム記録に連動し、アラームが入る前にさかのぼって自動記録する機能です。

設定は34ページ「アラーム記録設定」画面の「プリアラーム設定」項目で行ないます。

アラーム記録設定	
カメラNo.	カメラ1
記録時間	3分
プリアラーム設定	☒ 設定します
動き検出設定	
動作感度レベル (標準7)	8
対象エリアレベル (標準2)	2
停止レベル (標準2)	2
動き検出エリア設定..	

■ アラーム信号が入ると、同時にアラーム記録が始まります。

- アラーム記録が始まると、設定した時間のプリアラーム記録を自動で記録します。



プリアラーム記録についてのご注意

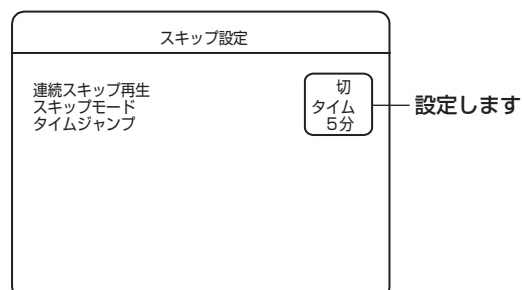
- アラーム検索でプリアラームのあるアラーム記録を選択した場合、プリアラーム記録の開始位置にジャンプします。(42ページ)
- プリアラーム記録を開始してすぐにアラーム信号が入った場合、設定された時間のプリアラーム記録ができないことがあります。
- アラーム記録の記録時間をプリアラーム記録の設定値より短く設定した場合、アラームの記録時間が設定より長くなる場合があります。
- プリアラーム記録は、アラーム記録設定をしていて、記録停止状態のときのみ有効となります。

プリアラーム記録の設定値と実際の記録時間

設定値	実際の記録時間
10秒	10秒～20秒
30秒	30秒～40秒
60秒	60秒～70秒

スキップジャンプについて

スキップジャンプは、検索メニューの設定でタイム、アラーム、イベントの3種類が選べます。設定は44ページ「記録画像をスキップして見る」の手順にしたがい、「スキップ設定」画面で行ないます。



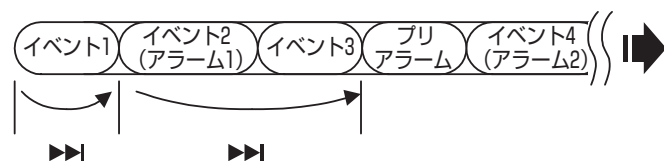
■ タイムを選んだとき

- タイムジャンプ設定を“1時間”にしたとき、[スキップ]を押すたびに“1時間”ずつジャンプします。ジャンプ先の時間が記録されていないときは、指定時間の一番近い位置へジャンプします。



■ アラームを選んだとき

- [スキップ]を押すたびにアラーム記録の始まりを探しながらジャンプしていきます。



- プリアラーム記録がある場合は、プリアラームの開始位置にジャンプします。

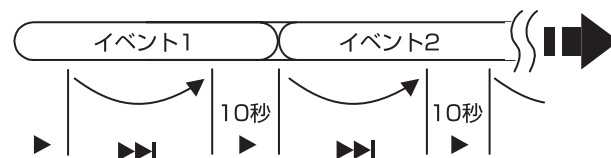
■ イベントを選んだとき

- [スキップ]を押すたびに記録を始めた位置（イベントの先頭）を探しながらジャンプしていきます。



連続スキップ再生とは

「スキップ設定」メニューの「連続スキップ再生」設定を仮に“10秒”に設定した状態で、再生中に[スキップ]を押した場合、対象となる記録画像が見つからなくなるまで、10秒間再生とスキップ動作を繰り返します。



NTPサーバー機能を利用する場合

■ Windows XPでは、以下の設定で NTP Server機能が有効になります。

1. [スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックする

regedit をコマンド入力し、[OK]をクリックする。

2. 以下のレジストリ値を、5 にする

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥Config¥AnnounceFlags

3. 以下のレジストリ値を、1 にする

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥TimeProviders¥NtpServer¥Enabled

4. 変更後、regedit を終了する

5. コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、Enter キーを押して、Windows Time Serviceを再起動する

net stop w32time && net start w32time

[注意:] Windows XP をご利用のお客様へ

Windows XP では、ファイアーウォール設定が有効な場合、NTPが使用するUDPポート：123を「有効」に設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

Windows XP SP1の場合（ファイアーウォール設定が無効になっている場合は不要です。）

1. 「ローカルエリア接続プロパティ」を開いて「詳細設定」タブを開きます。
2. この中の「インターネット接続ファイアーウォール」の「設定」ボタンを押すと、「詳細設定」が開きます。
3. 「詳細設定」の下の方の「追加(D)...」を押すと、「サービス設定」画面が出ます。
4. ここに NTPを通す設定をします。
5. サービスの説明：NTP
名前またはアドレス：PCのIPまたは名前
外部、内部ポート番号：123 UDP
に設定します。

Windows XP SP2の場合（ファイアーウォールは初期状態で有効に設定されています。）

1. 「ローカルエリア接続プロパティ」を開いて「詳細設定」タブを開きます。
2. この中の「Windowsファイアーウォール」の「設定」ボタンを押し、「例外」タブを開きます。
3. 下の方の「ポートの追加(O)...」を押すと、「ポートの追加」画面が出ます。
4. ここに NTPを通す設定をします。
5. 名前：例) NTP
ポート番号：123 UDP
に設定します。

■ Windows 2000 では、以下の設定でNTP Server 機能が有効になります。

1. コマンドプロンプトを起動し（Dos画面です。）以下のコマンドを入力する

net time /setsntp:サーバーのIPアドレス

例：net time /setsntp:192.168.0.1

2. 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を開く

3. 「Windows Time」をダブルクリックして、「スタートアップの種類」を「自動」に設定し「開始」をクリックする

4. 以下のレジストリ値を、1 にする（デフォルトは0）

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥parameters¥LocalNTP

レジストリ編集作業は大変危険を伴う作業です。
安全のためレジストリのバックアップを保存するなど、
ご自分の責任において編集してください。
当社では万一の事故に対する責任は一切負いません。

5. Windows Time Service を再起動（＝停止から開始）する

- 「管理ツール」の「サービス」からWindows Time Service のプロパティを開いて行ないます。

NAT設定について

VR本体または接続するPC（もしくは両方）がプライベートアドレスで設定されておりインターネットに接続している環境で、ライブ画表示・再生画表示をする為には、IPアドレス変換（NAT）及びポート変換（IPマスカレード）の機能を持ったルーターを経由するためNAT設定を行なう必要があります。

※ 本体及びPC側のグローバルアドレスは固定アドレスを対象としています。（DHCPには対応していません）

※ ルーターのNAT/IPマスカレード設定は使用するルーターの取扱説明書を参照ください。

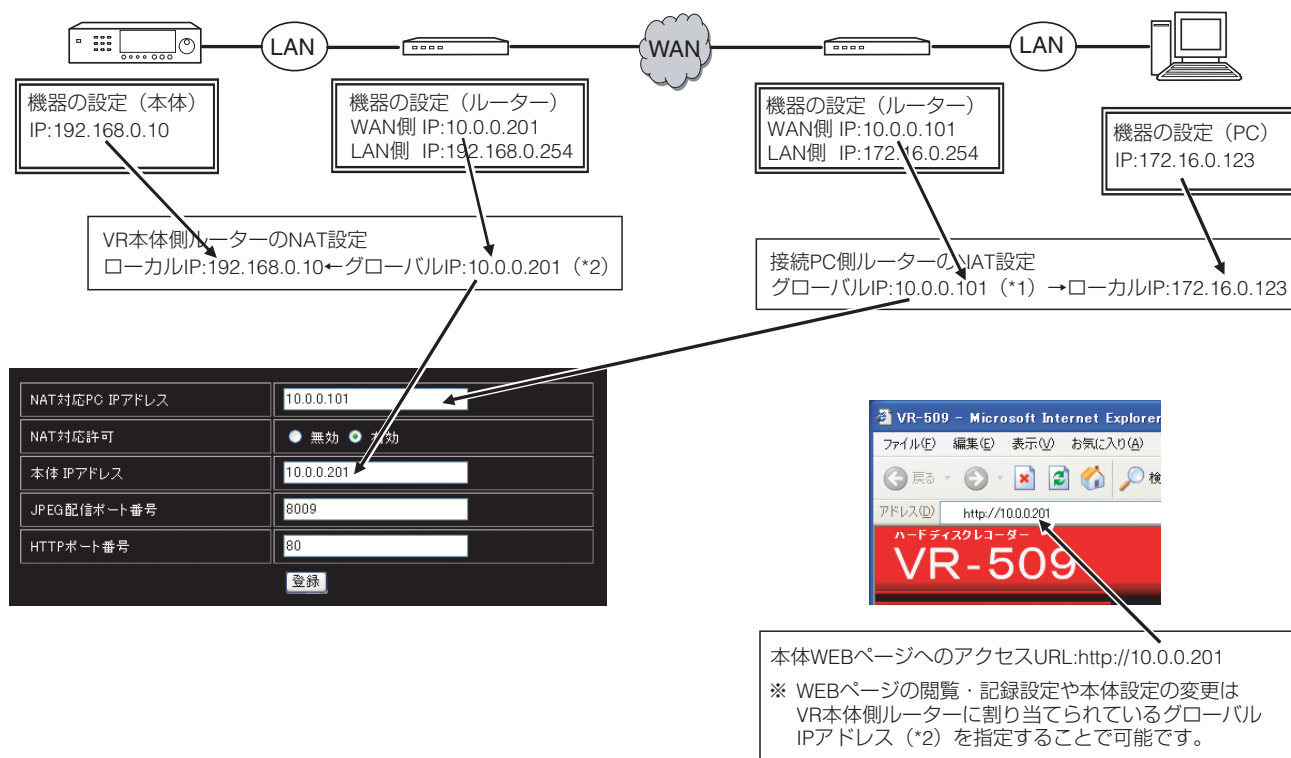
ルーター設定項目

接続PC側 ルーターのNAT設定	NAT WAN側グローバルIPアドレス	接続PC側ルーターに割り当てられているグローバルIPアドレス（*1）
	NAT LAN側ローカルIPアドレス	PCに設定したローカルIPアドレス
VR本体側 ルーターのNAT設定	NAT WAN側グローバルIPアドレス	VR本体側ルーターに割り当てられているグローバルIPアドレス（*2）
	NAT LAN側ローカルIPアドレス	VR本体に設定したローカルIPアドレス

本体設定項目

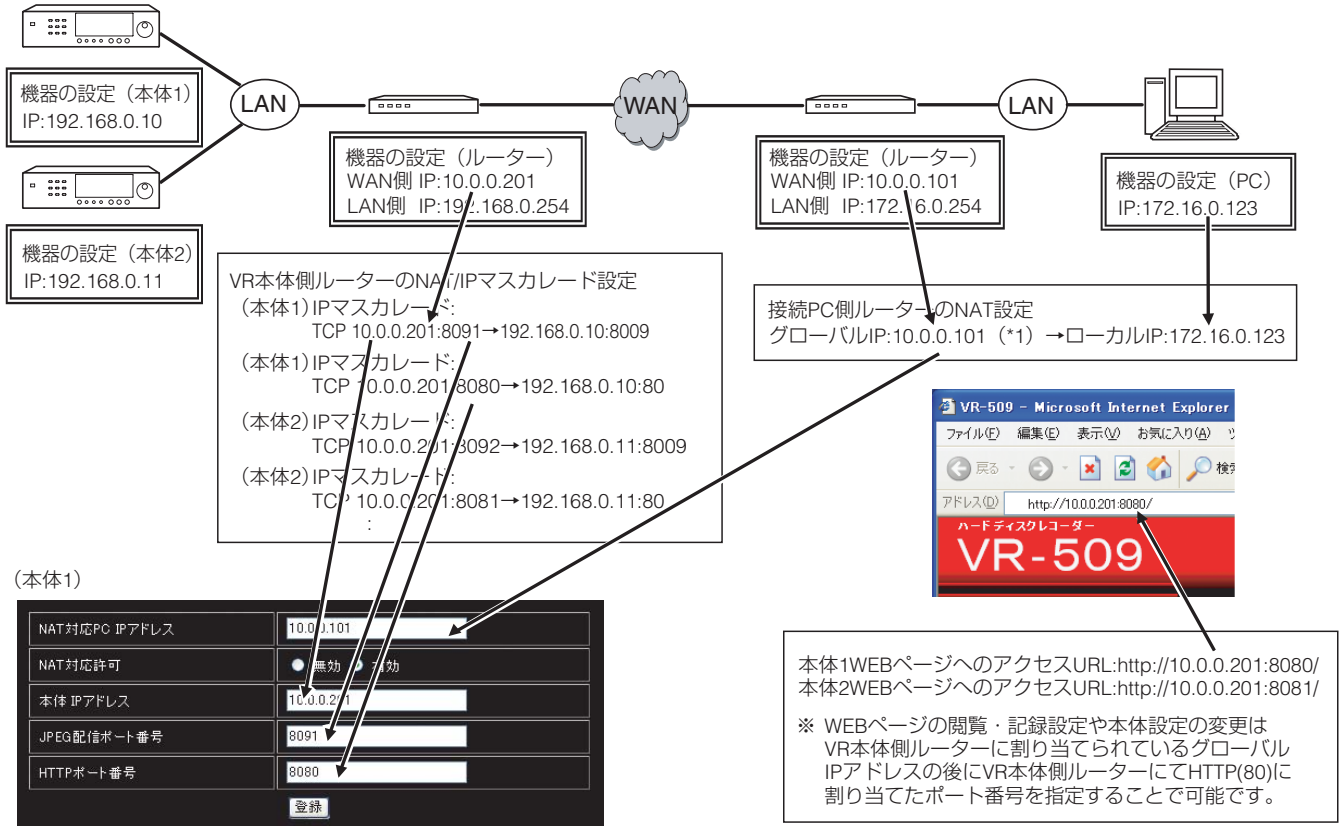
VR本体NAT設定	接続PC側のグローバルIPアドレス	接続PC側ルーターに割り当てられているグローバルIPアドレス（*1）
	NAT接続許可	PCのNAT変換接続の有効/無効を指定
	本体側のグローバルIPアドレス	VR本体側ルーターに割り当てられているグローバルIPアドレス（*2）
	JPEG配信用のポート番号	8009（本体の設定） IPマスカレード使用時はVR本体側ルーターにて8009に割り当てたポート番号
	HTTP配信用のポート番号	80（本体の設定） IPマスカレード使用時はVR本体側ルーターにて80に割り当てたポート番号

設定例1 接続PC1台-本体1台の場合（NAT設定）



NAT設定について（つづき）

設定例2 接続PC1台－本体複数台の場合（NAT/IPマスカレード設定）



VR-509N：HDD記録時間について

実際の記録時間は、入力映像の内容や、ハードディスクの条件により異なります。下表は、記録画質の各モードによる記録時間を知るための対応表で、細かい映像（コンビニエンスストア店内の映像など）を記録した一例です。細かい映像を記録する場合は、下表を参照してください。

条件：標準HDD構成時（320GB）（1/2）

VR-509N記録時間 ループ記録“切”／音声記録“切”

●1CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	180	262	380	551	99	168	286	487
15x1 ips	292	424	615	893	160	273	464	789
10x1 ips	439	637	923	1339	240	409	696	1183
6x1 ips	615	892	1293	1875	337	573	974	1657
3x1 ips	683	991	1437	2084	374	637	1083	1841
2x1 ips	1025	1486	2155	3126	562	955	1624	2761
1x1 ips	2050	2973	4311	6252	1124	1911	3249	5523
0.5x1 ips	4101	5947	8623	12504	2248	3822	6498	11047
0.2x1 ips	10254	14868	21560	31262	5621	9556	16246	27619
0.1x1 ips	20508	29737	43120	62524	11243	19113	32493	55239

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

●6CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x6 ips	48	70	102	148	—	—	—	—
10x6 ips	73	106	153	223	40	68	116	197
6x6 ips	102	148	215	312	56	95	162	276
3x6 ips	113	165	239	347	62	106	180	306
2x6 ips	170	247	359	521	93	159	270	460
1x6 ips	341	495	718	1042	187	318	541	920
0.5x6 ips	683	991	1437	2084	374	637	1083	1841
0.2x6 ips	1709	2478	3593	5210	936	1592	2707	4603
0.1x6 ips	3418	4956	7186	10420	1873	3185	5415	9206

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

●4CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	45	65	95	137	—	—	—	—
15x4 ips	73	106	153	223	40	68	116	197
10x4 ips	109	159	230	334	60	102	174	295
6x4 ips	153	223	323	468	84	143	243	414
3x4 ips	170	247	359	521	93	159	270	460
2x4 ips	256	371	538	781	140	238	406	690
1x4 ips	512	743	1077	1563	281	477	812	1380
0.5x4 ips	1025	1486	2155	3126	562	955	1624	2761
0.2x4 ips	2563	3717	5389	7815	1405	2389	4061	6904
0.1x4 ips	5127	7434	10780	15631	2810	4778	8123	13809

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

●9CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
10x9 ips	48	70	102	148	—	—	—	—
6x9 ips	68	99	143	208	37	63	108	184
3x9 ips	75	110	159	231	41	70	120	204
2x9 ips	113	165	239	347	62	106	180	306
1x9 ips	227	330	479	694	124	212	361	613
0.5x9 ips	455	660	958	1389	249	424	722	1227
0.2x9 ips	1139	1652	2395	3473	624	1061	1805	3068
0.1x9 ips	2278	3304	4791	6947	1249	2123	3610	6137

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

VR-509N記録時間 ループ記録“切”／音声記録“入”

●1CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	171	243	341	472	96	160	263	424
15x1 ips	269	376	519	703	153	252	407	637
10x1 ips	388	534	722	954	224	364	575	872
6x1 ips	518	702	930	1197	306	488	753	1104
3x1 ips	566	763	1002	1279	336	534	816	1183
2x1 ips	783	1026	1306	1608	480	741	1090	1506
1x1 ips	1266	1567	1873	2166	839	1212	1640	2071
0.5x1 ips	1833	2128	2394	2619	1339	1775	2194	2549
0.2x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

●6CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x6 ips	48	69	99	142	—	—	—	—
10x6 ips	71	102	147	209	39	66	112	186
6x6 ips	99	142	202	285	55	92	154	254
3x6 ips	110	157	223	314	61	102	171	280
2x6 ips	162	230	324	450	91	151	250	404
1x6 ips	309	431	590	792	177	290	465	720
0.5x6 ips	566	763	1002	1279	336	534	816	1183
0.2x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

●4CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	44	64	92	132	—	—	—	—
15x4 ips	71	102	147	209	39	66	112	186
10x4 ips	106	152	215	304	59	99	165	271
6x4 ips	146	208	294	410	82	137	227	368
3x4 ips	162	230	324	450	91	151	250	404
2x4 ips	237	334	463	632	134	222	361	571
1x4 ips	444	607	813	1062	259	417	652	974
0.5x4 ips	783	1026	1306	1608	480	741	1090	1506
0.2x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

●9CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
10x9 ips	48	69	99	142	—	—	—	—
6x9 ips	66	96	137	196	37	62	104	174
3x9 ips	74	106	152	216	41	69	116	192
2x9 ips	110	157	223	314	61	102	171	280
1x9 ips	213	300	418	574	120	199	325	517
0.5x9 ips	400	550	743	979	232	376	592	895
0.2x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168

1日～1週間

169~720

1週間～1ヶ月

721~2160

1ヶ月～3ヶ月

2161~

3ヶ月以上

VR-509N : HDD記録時間について (つづき)

条件：標準HDD構成時（320GB）（2/2）

VR-509N記録時間 ループ記録“切”／音声記録“切”

●1CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	170	247	358	519	93	158	270	459
15x1 ips	275	400	580	841	151	257	437	743
10x1 ips	413	600	870	1261	226	385	655	1114
6x1 ips	579	840	1218	1766	317	540	918	1560
3x1 ips	643	933	1353	1962	352	600	1020	1734
2x1 ips	965	1400	2030	2944	529	900	1530	2601
1x1 ips	1931	2800	4061	5888	1058	1800	3060	5202
0.5x1 ips	3863	5601	8122	11777	2117	3600	6120	10405
0.2x1 ips	9657	14004	20305	29443	5294	9001	15301	26013
0.1x1 ips	19315	28008	40612	58887	10589	18002	30603	52026

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

●6CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x6 ips	45	66	96	140	—	—	—	—
10x6 ips	68	100	145	210	37	64	109	185
6x6 ips	96	140	203	294	52	90	153	260
3x6 ips	107	155	225	327	58	100	170	289
2x6 ips	160	233	338	490	88	150	255	433
1x6 ips	321	466	676	981	176	300	510	867
0.5x6 ips	643	933	1353	1962	352	600	1020	1734
0.2x6 ips	1609	2334	3384	4907	882	1500	2550	4335
0.1x6 ips	3219	4668	6768	9814	1764	3000	5100	8671

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

●4CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	42	61	89	129	—	—	—	—
15x4 ips	68	100	145	210	37	64	109	185
10x4 ips	103	150	217	315	56	96	163	278
6x4 ips	144	210	304	441	79	135	229	390
3x4 ips	160	233	338	490	88	150	255	433
2x4 ips	241	350	507	736	132	225	382	650
1x4 ips	482	700	1015	1472	264	450	765	1300
0.5x4 ips	965	1400	2030	2944	529	900	1530	2601
0.2x4 ips	2414	3501	5076	7360	1323	2250	3825	6503
0.1x4 ips	4828	7002	10152	14721	2647	4500	7650	13006

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

●9CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
10x9 ips	45	66	96	140	—	—	—	—
6x9 ips	64	93	135	196	35	60	102	173
3x9 ips	71	103	150	218	39	66	113	192
2x9 ips	107	155	225	327	58	100	170	289
1x9 ips	214	311	451	654	117	200	340	578
0.5x9 ips	429	622	902	1308	235	400	680	1156
0.2x9 ips	1073	1556	2256	3271	588	1000	1700	2890
0.1x9 ips	2146	3112	4512	6543	1176	2000	3400	5780

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

VR-509N記録時間 ループ記録“切”／音声記録“入”

●1CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	161	229	321	445	90	151	248	400
15x1 ips	253	354	489	662	144	237	383	600
10x1 ips	365	503	680	898	211	343	541	821
6x1 ips	488	662	876	1128	288	460	709	1040
3x1 ips	533	718	944	1205	317	503	768	1114
2x1 ips	737	966	1230	1515	452	698	1026	1418
1x1 ips	1193	1476	1764	2040	790	1141	1545	1950
0.5x1 ips	1726	2004	2254	2467	1261	1671	2067	2401
0.2x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

●6CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x6 ips	45	65	93	134	—	—	—	—
10x6 ips	67	96	138	197	37	62	105	175
6x6 ips	93	134	190	269	52	87	145	240
3x6 ips	103	148	210	296	57	96	161	264
2x6 ips	153	217	305	424	85	143	235	380
1x6 ips	291	406	556	746	167	273	438	678
0.5x6 ips	533	718	944	1205	317	503	768	1114
0.2x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

●4CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	42	60	87	124	—	—	—	—
15x4 ips	67	96	136	197	37	62	105	175
10x4 ips	100	143	203	286	55	93	155	255
6x4 ips	138	196	277	386	77	129	213	346
3x4 ips	153	217	305	424	85	143	235	380
2x4 ips	224	314	436	595	126	209	340	538
1x4 ips	418	571	766	1000	244	393	614	918
0.5x4 ips	737	966	1230	1515	452	698	1026	1418
0.2x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

●9CH記録の場合

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
15x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
10x9 ips	45	65	93	134	—	—	—	—
6x9 ips	63	90	129	184	34	58	98	164
3x9 ips	69	100	143	203	38	65	109	181
2x9 ips	103	148	210	296	57	96	161	264
1x9 ips	200	282	394	540	113	187	306	487
0.5x9 ips	377	518	700	922	218	354	558	843
0.2x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168
1日～1週間

169~720
1週間～1ヶ月

721~2160
1ヶ月～3ヶ月

2161~
3ヶ月以上

- ※ ハードディスクの状態および映像により、記録時間が10%程度短くなります。
- ※ ループ記録が設定されているときに、ハードディスクの記録残量がなくなると、記録容量を確保するため古い記録から順次消去されます。
- ※ ハードディスクの継年変化により、記録時間が短くなることがあります。
- ※ ハードディスク増設時は、増設した容量に比例して記録時間が延びます。
- ※ ミラーリング設定時は、約半分の記録時間になります。（標準HDD 構成時）

VR-509BN : HDD記録時間について

実際の記録時間は、入力映像の内容や、ハードディスクの条件により異なります。下表は、記録画質の各モードによる記録時間を知るための対応表で、細かい映像（コンビニエンスストア店内の映像など）を記録した一例です。細かい映像を記録する場合は、下表を参照してください。

条件：標準HDD構成時（500GB）（1/2）

VR-509BN記録時間 ループ記録“切”／音声記録“切”									
●1CH記録の場合					●4CH記録の場合				
Framerate	滑らか				高精細				[hour]
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long	
30x1 ips	291	422	612	888	159	271	461	784	
15x1 ips	471	683	991	1438	258	439	747	1270	
10x1 ips	707	1025	1487	2157	387	659	1121	1905	
6x1 ips	990	1436	2082	3019	543	923	1569	2668	
3x1 ips	1100	1595	2314	3355	603	1025	1743	2964	
2x1 ips	1650	2393	3471	5033	905	1538	2615	4446	
1x1 ips	3301	4787	6942	10066	1810	3077	5231	8893	
0.5x1 ips	6603	9575	13884	20132	3620	6154	10462	17786	
0.2x1 ips	16509	23938	34711	50331	9050	15386	26157	44467	
0.1x1 ips	33019	47877	69423	100663	18101	30773	52314	88935	
24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上					24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上				
●6CH記録の場合					●9CH記録の場合				
Framerate	滑らか				高精細				[hour]
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long	
30x6 ips									
15x6 ips	78	113	165	239					
10x6 ips	117	170	247	359	64	109	186	317	
6x6 ips	165	239	347	503	90	153	261	444	
3x6 ips	183	265	385	559	100	170	290	494	
2x6 ips	275	398	578	838	150	256	435	741	
1x6 ips	550	797	1157	1677	301	512	871	1482	
0.5x6 ips	1100	1595	2314	3355	603	1025	1743	2964	
0.2x6 ips	2751	3989	5785	8388	1508	2564	4359	7411	
0.1x6 ips	5503	7979	11570	16777	3016	5128	8719	14822	
24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上					24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上				

VR-509BN記録時間 ループ記録“切”／音声記録“入”									
●1CH記録の場合					●4CH記録の場合				
Framerate	滑らか				高精細				[hour]
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long	
30x1 ips	276	391	549	761	155	258	424	684	
15x1 ips	433	606	836	1132	246	406	655	1026	
10x1 ips	624	860	1163	1536	361	586	926	1404	
6x1 ips	835	1131	1497	1928	492	787	1212	1778	
3x1 ips	912	1228	1614	2060	542	860	1314	1905	
2x1 ips	1260	1652	2103	2590	773	1194	1755	2425	
1x1 ips	2039	2523	3017	3487	1351	1951	2641	3335	
0.5x1 ips	2951	3426	3854	4218	2156	2858	3533	4104	
0.2x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—	
0.1x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—	
24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上					24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上				
●6CH記録の場合					●9CH記録の場合				
Framerate	滑らか				高精細				[hour]
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long	
30x9 ips									
15x9 ips	77	111	160	229					
10x9 ips	115	165	236	336	63	107	180	299	
6x9 ips	160	229	325	459	88	149	249	410	
3x9 ips	177	253	359	506	98	165	275	452	
2x9 ips	261	371	521	724	146	244	403	650	
1x9 ips	498	694	950	1276	285	467	749	1160	
0.5x9 ips	912	1228	1614	2060	542	860	1314	1905	
0.2x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—	
0.1x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—	
24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上					24~168 1日～1週間 169~720 1週間～1ヶ月 721~2160 1ヶ月～3ヶ月 2161~ 3ヶ月以上				

VR-509BN : HDD記録時間について (つづき)

条件：標準HDD構成時（500GB）（2/2）

VR-509BN記録時間 ループ記録“全て”／音声記録“切”

●1CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	280	407	590	856	153	261	444	756
15x1 ips	454	659	955	1386	249	423	720	1224
10x1 ips	681	988	1433	2079	373	635	1080	1836
6x1 ips	954	1384	2007	2910	523	889	1512	2571
3x1 ips	1060	1538	2230	3234	581	988	1680	2857
2x1 ips	1591	2307	3345	4851	872	1483	2521	4286
1x1 ips	3182	4614	6691	9702	1744	2966	5042	8572
0.5x1 ips	6365	9229	13382	19405	3499	5932	10084	17144
0.2x1 ips	15913	23074	33457	48513	8723	14830	25212	42860
0.1x1 ips	31826	46148	66915	97026	17447	29661	50424	85722

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

●4CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	70	101	147	214	62	105	180	306
15x4 ips	113	164	238	346	93	158	270	459
10x4 ips	170	247	358	519	130	222	378	642
6x4 ips	238	346	501	727	145	247	420	714
3x4 ips	265	384	557	808	145	247	420	714
2x4 ips	397	576	836	1212	218	370	630	1071
1x4 ips	795	1153	1672	2425	436	741	1260	2143
0.5x4 ips	1591	2307	3345	4851	872	1483	2521	4286
0.2x4 ips	3978	5768	8364	12128	2180	3707	6303	10715
0.1x4 ips	7956	11536	16728	24256	4361	7415	12606	21430

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

●6CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips	75	109	159	231	62	105	180	306
15x6 ips	113	164	238	346	87	148	252	428
10x6 ips	159	230	334	485	96	164	280	476
6x6 ips	176	256	371	539	96	164	280	476
3x6 ips	265	384	557	808	145	247	420	714
2x6 ips	530	769	1115	1617	290	494	840	1428
1x6 ips	1060	1538	2230	3234	581	988	1680	2857
0.5x6 ips	2652	3845	5576	8085	1453	2471	4202	7143
0.2x6 ips	5304	7691	11152	16171	2907	4943	8404	14286

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

●9CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips	75	109	159	231	62	105	180	306
15x9 ips	113	164	238	346	87	148	252	428
10x9 ips	159	230	334	485	96	164	280	476
6x9 ips	176	256	371	539	96	164	280	476
3x9 ips	265	384	557	808	145	247	420	714
2x9 ips	530	769	1115	1617	290	494	840	1428
1x9 ips	1060	1538	2230	3234	581	988	1680	2857
0.5x9 ips	2652	3845	5576	8085	1453	2471	4202	7143
0.2x9 ips	5304	7691	11152	16171	2907	4943	8404	14286

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

VR-509BN記録時間 ループ記録“全て”／音声記録“入”

●1CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	266	377	529	733	149	249	409	659
15x1 ips	417	584	806	1091	237	391	631	989
10x1 ips	602	829	1121	1480	348	565	892	1353
6x1 ips	805	1090	1443	1858	475	758	1168	1714
3x1 ips	879	1184	1555	1985	522	829	1266	1836
2x1 ips	1215	1592	2027	2496	745	1151	1691	2337
1x1 ips	1966	2432	2908	3361	1302	1881	2546	3214
0.5x1 ips	2844	3302	3715	4065	2079	2754	3406	3956
0.2x1 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.1x1 ips	-	-	-	-	-	-	-	-

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

●6CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips	74	107	154	221	61	103	173	288
15x6 ips	111	159	228	324	85	144	240	395
10x6 ips	154	220	314	443	95	159	265	435
6x6 ips	170	244	346	487	95	159	265	435
3x6 ips	252	357	503	698	141	235	388	627
2x6 ips	480	669	916	1230	275	451	722	1118
1x6 ips	879	1184	1555	1985	522	829	1266	1836
0.5x6 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.2x6 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.1x6 ips	-	-	-	-	-	-	-	-

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

●4CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	69	99	143	205	61	103	173	288
15x4 ips	111	159	228	324	91	154	256	421
10x4 ips	165	235	335	472	127	213	352	571
6x4 ips	228	324	457	637	141	235	388	627
3x4 ips	252	357	503	698	209	345	561	886
2x4 ips	369	518	719	981	402	648	1012	1512
1x4 ips	689	942	1262	1648	745	1151	1691	2337
0.5x4 ips	1215	1592	2027	2496	745	1151	1691	2337
0.2x4 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.1x4 ips	-	-	-	-	-	-	-	-

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

●9CH記録の場合

[hour]

Framerate	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips	74	107	154	221	57	97	162	270
15x9 ips	103	149	213	304	63	107	180	299
10x9 ips	115	165	236	335	95	159	265	435
6x9 ips	170	244	346	487	186	309	505	803
3x9 ips	330	466	649	891	360	584	920	1390
2x9 ips	621	855	1153	1519	-	-	-	-
1x9 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.5x9 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.2x9 ips	-	-	-	-	-	-	-	-
0.1x9 ips	-	-	-	-	-	-	-	-

24-168
1日～1週間

169-720
1週間～1ヶ月

721-2160
1ヶ月～3ヶ月

2161-
3ヶ月以上

- ※ ハードディスクの状態および映像により、記録時間が10%程度短くなります。
- ※ ループ記録が設定されているときに、ハードディスクの記録残量がなくなると、記録容量を確保するため古い記録から順次消去されます。
- ※ ハードディスクの継年変化により、記録時間が短くなることがあります。
- ※ ハードディスク増設時は、増設した容量に比例して記録時間が延びます。
- ※ ミラーリング設定時は、約半分の記録時間になります。（標準HDD 構成時）

ActiveXコントロールとプラグインを有効にする

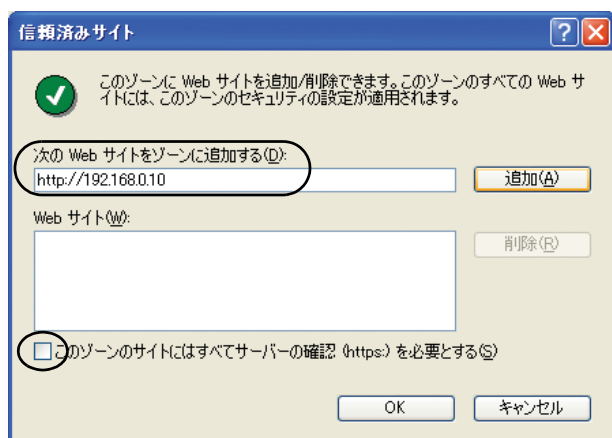
Internet Explorer でActiveX コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にしてください。

■ Internet Explorerを起動します。

[ツール] → [インターネットオプション] → [セキュリティ]で、[信頼済みサイト]をクリックします。

その後、[信頼済みサイト[サイト...]]ボタンが押せるようになりますので、それをクリックし[信頼済みサイト]ウィンドウを開きます。

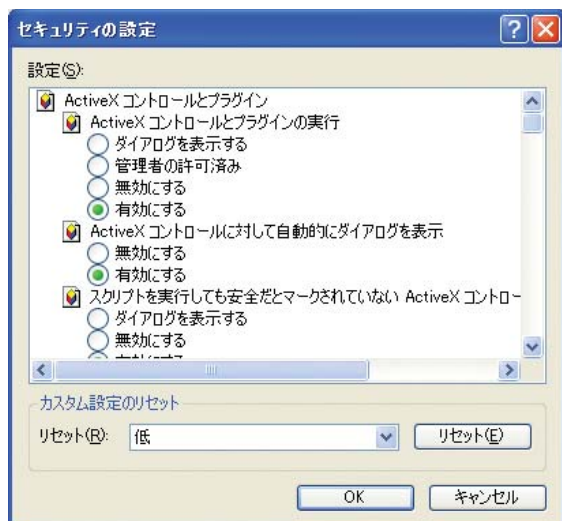
[次のWebサイトをゾーンに追加する]にVR-509 [ネットワーク設定]で設定したIPアドレスを入力し、[追加]ボタンを押します。(図に記載されているIPアドレス、http://192.168.0.10は例ですのでご注意ください。)
[このゾーンのサイトにはすべてのサーバーの確認(https)を必要とする]のチェックボックスをはずします。



■ [ツール] → [インターネットオプション] → [セキュリティ]で、[信頼済みサイト]をクリックします。

[レベルのカスタマイズ]ボタンを選択し、[セキュリティ設定]ウィンドウを開きます。

開いたウィンドウから[ActiveXコントロールとプラグイン]の全項目を[有効にする]にします。



ハードディスクを増設する

本機では、2台の内蔵ハードディスクの他に、1台の外付けハードディスクを増設することができます。

- ※ 使用可能な外付けハードディスクについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。
- ※ システムの安定動作のため、UPSのご使用をおすすめします。

外付けハードディスクを使用するにはハードディスクの接続構成を変更する必要があります。接続構成はHDD再構成の確認画面で変更します。確認画面は、本機起動時にハードディスクの接続構成が変更されていることを検出した場合に自動的に表示されます。

接続構成の種別は、以下のように新規、変更、切断の3つがあります。

- 新規：** 外付けハードディスクを新規に接続する場合
変更： 既に接続されていた外付けハードディスクを外し、別のものを接続する場合
切断： 外付けハードディスクを外す場合、または今まで接続されていた外付けハードディスクが認識できない場合

外付けハードディスクを新規に増設する場合

1. 電源を切る

- 「オペレート」を約2秒間長押ししてオペレートOFFにします。しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。
- 背面の電源スイッチを切ります。
- ※ オペレートオフの状態で作業を行っても、外付けのハードディスクは確認されません。作業の前に電源スイッチを切ってください。

2. 背面の[SERIAL]端子または前面の[シリアル]端子に外付けのハードディスクを接続し、電源を入れる

- ※ 本機本体の電源を入れる前に必ず外付けハードディスクの電源を入れます。先に外付けハードディスクの電源を入れないと、外付けハードディスクが認識されませんのでご注意ください。

3. 本機の電源を入れる

- HDD再構成の確認画面が表示されます。

HDD再構成

増設HDD EXTERNAL : 467 GB 新規

再構成

再起動

取り消し

HDDの構成が変更されました
上記のHDD構成を適用するには[再構成]を選んで[決定]ボタンを押してください (再構成するHDDのデータはすべて削除されます)
適用しないで電源を切る場合は[取り消し/再起動]を選んで[決定]ボタンを押してください

4. [再構成]を選び、[決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

5. [はい]を選び、[決定]を再度押す

- 外付けハードディスクのフォーマットが始まります。

増設HDD EXTERNAL : 467 GB フォーマット中

- フォーマット終了後、自動で運用可能状態になります。(オペレート表示灯が、点灯状態に戻ります)
- ※ この時フォーマットがおこなわれるのは、新規に増設したハードディスクのみです。

別の外付けハードディスクに変更する場合

1. 電源を切る

- 「オペレート」を約2秒間長押ししてオペレートOFFにします。しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。
- 背面の電源スイッチを切ります。
- ※ オペレートオフの状態で作業を行うとハードディスクの異常と判断されシステムが再起動します。作業の前に電源スイッチを切ってください。

2. 背面の[SERIAL]端子または前面の[シリアル]端子に別の外付けのハードディスクを接続し、電源を入れる

- ※ 本機本体の電源を入れる前に必ず外付けハードディスクの電源を入れます。先に外付けハードディスクの電源を入れないと、外付けハードディスクが認識されませんのでご注意ください。

3. 本機の電源を入れる

- HDD再構成の確認画面が表示されます。

HDD再構成

増設HDD EXTERNAL : 467 GB 変更

再構成

再起動

取り消し

HDDの構成が変更されました
上記のHDD構成を適用するには[再構成]を選んで[決定]ボタンを押してください (再構成するHDDのデータはすべて削除されます)
適用しないで電源を切る場合は[取り消し/再起動]を選んで[決定]ボタンを押してください

4. [再構成]を選び、[決定]を押す

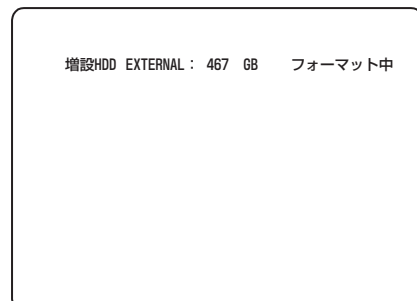
- 確認画面が表示されます。

ハードディスクを増設する

別の外付けハードディスクに変更する場合 (つづき)

5. [はい]を選び、[決定]を再度押す

- 外したハードディスクに関連する情報の消去および接続したハードディスクのフォーマットがはじまります。



- フォーマット終了後、自動で運用可能状態になります。
(オペレート表示灯が、点灯状態に戻ります)
- ※ この時フォーマットがおこなわれるのは、変更したハードディスクのみです。

外付けハードディスクを切断する場合

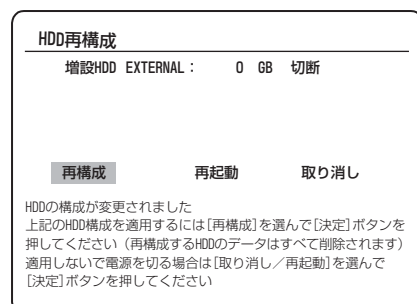
1. 電源を切る

- 「オペレート」を約2秒間長押ししてオペレートOFFにします。しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。
- 背面の電源スイッチを切ります。
- ※ オペレートオフの状態で行うとハードディスクの異常と判断されシステムが再起動します。作業の前に電源スイッチを切ってください。

2. 外付けのハードディスクを外す

3. 本機の電源を入れる

- HDD再構成の確認画面が表示されます。

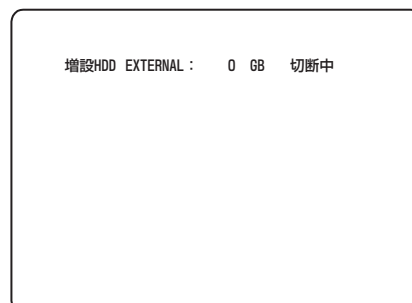


4. [再構成]を選び、[決定]を押す

- 確認画面が表示されます。

5. [はい]を選び、[決定]を再度押す

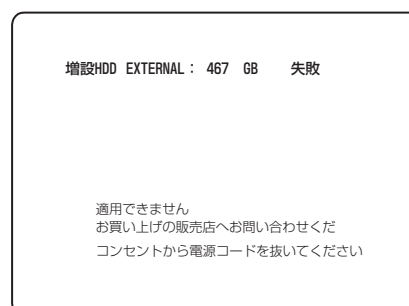
- 外したHDDに関連する情報の消去がはじまります。



- 情報の消去後、自動で運用可能状態になります。(オペレート表示灯が、点灯状態に戻ります)

ご注意

- 新規、変更のフォーマットに失敗した際は、手順1から再度おこなってください。



- 何度も失敗する場合は、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
- 運用中に外付けハードディスクの電源を切ったり、接続を外さないでください。
- 外付けハードディスクが正しく接続されているにも関わらず、ハードディスク再構成画面で切断表示が出る場合や、E-01表示が出る場合は、本機の電源を切った状態で、外付けハードディスクのスイッチを切るだけではなく電源コードを抜き挿しして再度お試しください。
- 外付けハードディスクを外して、パソコンに接続し、パソコンで映像を見ることはできません。

RS-232Cインターフェース

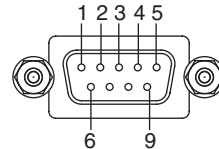
1. 電気仕様

1. D-Sub 9ピン コネクタ仕様

ピンNO	信号	動 作	信号の方向
3	TXD	送信データ	HDR → CPU
2	RXD	受信データ	HDR ← CPU
6	DSR	データセット・レディ	HDR ← CPU
5	GND	信号接地	
4	DTR	データ端末レディ	HDR → CPU

出力レベル

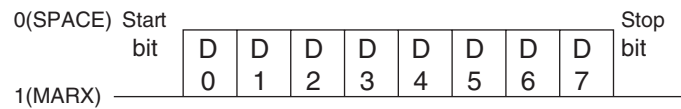
OFF : -5V以下
ON : +5V以上



2. データフォーマット

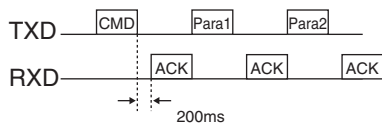
モード : 非同期
キャラクタ長 : 8bit
バリティチェック : なし
ストップbit : 1bit
データ速度 : 9600bps

構成



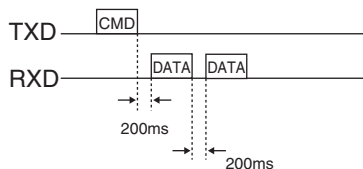
3. コマンドフォーマットとACK/NAK

制御：無手順



- CPUからの送信コマンド 1Byteに対し、200ms以内に ACK(NAK)を応答する。
- 未定義コマンド受信時にのみ、NAKを応答する。
(但し、状態によってはNAK応答するコマンドあり。)
- 前回受信したDATAから5秒以上経過したDATAは、そのパラメータと見なさない。
- タイムアウト発生時のリトライは、1回のみ。その場合、該当コマンドの第一バイトから再送を行なうこととする。

4. SENSEコマンド



2. RS-232C コマンド一覧

BASIC TABLE

→上位 ↓下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				Data 0	ENTER /SET							ALARM FWD				
1				Data 1	CLEAR ERROR							ALARM REV				
2	ERROR			Data 2												
3				Data 3												
4				Data 4												
5				Data 5								SHUTTLE FWD				
6				Data 6		CLEAR						SHUTTLE REV				JVC-1 TABLE
7				Data 7										STATUS SENSE		BASIC TABLE
8				Data 8												
9				Data 9												
A	ACK			PLAY	REV PLAY								REC			REC REQUEST
B	NAK			FWD x3	REV x3						FF					VTR/HDR INQ
C				FWD SLOW	REV SLOW						REW					
D				FWD STILL	REV STILL						FWD STEP					
E				FWD x15	REV x15				DATE SET		REV STEP	DATE SENSE				
F				STOP	STILL				TIME SET			TIME SENSE				

JVC-1 TABLE

→上位 ↓下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				Data 0	ENTER /SET		TIMER ON			TD SKIP FWD		ALARM FWD	OPE LOCK ON			
1				Data 1	CLEAR ERROR		TIMER OFF			TD SKIP REV		ALARM REV	OPE LOCK OFF	DEVICE TYPE		
2	ERROR			Data 2				ROM VER		TD SEARCH				HOURLY METER SENSE		
3				Data 3			DOWN			EVENT SKIP FWD				NETWORK SENSE		
4				Data 4			RIGHT	ON SCREEN SELECT		EVENT SKIP REV						
5				Data 5			Vol +					SHUTTLE FWD				
6				Data 6		CLEAR	Vol -	CANCEL	HDR PB CAMERA SET			SHUTTLE REV		VR STATUS SENSE		JVC-1 TABLE ON
7				Data 7										STATUS SENSE		BASIC TABLE
8				Data 8			LEFT							RECMODE SENSE		
9				Data 9			UP							ALARM MODE SENSE		
A	ACK			PLAY			SEQ						REC	VR MODE SENSE		REC REQUEST
B	NAK						MENU ON				FF			MONITOR MODE SENSE		VTR/HDR INQ
C							MENU OFF	REC STOP			REW			MOTION DETECT SENSE		MAC SENSE
D							MENU ON/OFF	ALARM CANCEL			FWD STEP					
E								MENU BACK	DATE SET		REV STEP	DATE SENSE		MONITOR OUT STATUS SENSE		
F				STOP	STILL	PB STOP			TIME SET			TIME SENSE		ACTIVE SENSE	MENU RESET	

3. コマンド詳細

[]内は対応するテーブルを示す。

3.1. RETURN CODE

- ERROR (02H) [BASIC/JVC-1]

本機が一連のコマンドの前後関係から受け付け不可能なコマンドを受け取るとERRORを返します。このときコマンドを送っても受け付けなくなり、ステータスセンスのみがリターンされます。(ステータスセンスコマンドはエラーモード時も有効とし、応答します。) ERROR返信から約5秒後、再度ERRORを返信しエラーモードを解除します。エラーモードを即座に解除するには、CLEAR ERROR (41H)または、CLEAR (56H)コマンドを入力します。

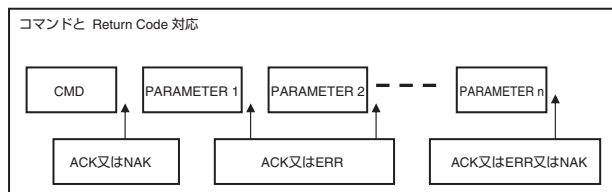
TD SEARCHなど数字をエントリするコマンドの最後に入力した(転送した)数字コマンドを取り消すには、CLEAR ERROR(41H)を入力し、コマンド全体をクリアするときには、CLEAR(56H)コマンドを入力します。エラー中にさらにパラメータを受信した場合はそのパラメータのバッファリングは行ないません。

- ACK (0AH) [BASIC/JVC-1]

動作に関わらず、指定されたテーブル上に定義されたコマンドを受け取った時に返すリターンコードです。

- NAK (0BH) [BASIC/JVC-1]

未定義のコマンド、または、本機としてその機能を有しないコマンドを受け取った時に返すリターンコードです。パラメータの受信間隔が5秒以上あいた場合、NAKを返信し、次のコマンドを受信可能とします。



- STOP (3FH) [BASIC/JVC-1]

STOPモードにします。REC+PLAYモード時はRECモードにします。(再生のみ停止)
記録停止は行ないません。

※ 再生時 : 再生メニュー表示
再生メニュー表示時 : EE画面へ

- REV PLAY (4AH) [BASIC]

: -x1 PLAYモードにします。

- SHUTTLE REV x3 (4BH) [BASIC]

- SHUTTLE REV SLOW (4CH) [BASIC]

- SHUTTLE REV STILL (4DH) [BASIC]

- SHUTTLE REV x15 (4EH) [BASIC]

シャトルリバースモードにします。

- STILL (4FH) [BASIC/JVC-1]

再生中にSTILLモードにします。

- PB STOP (5FH) [JVC-1]

再生側専用のSTOPコマンドです。REC+PLAYモード時はRECモードにします。

※ PB時 : 再生メニュー表示
再生メニュー表示時 : EE画面へ

- TIMER/MODE ON (60H) [JVC-1]

タイマー / 運用切換 : ONにします。

- TIMER/MODE OFF (61H) [JVC-1]

タイマー / 運用切換 : OFFにします。

3.2. 動作コマンド

- PLAY (3AH) [BASIC/JVC-1]

PLAYモードにします。

※ EE時 : 再生メニュー表示
再生メニュー表示時 : 再生 (継続再生選択時)
PB時(一時停止時) : 再生
PB時(その他) : 一時停止

- SHUTTLE FWD x3 (3BH) [BASIC]

- SHUTTLE FWD SLOW (3CH) [BASIC]

- SHUTTLE FWD STILL (3DH) [BASIC]

- SHUTTLE FWD x15 (3EH) [BASIC]

シャトルフォワードモードにします。

- REC STOP (7CH) [JVC-1]

記録を停止します。ただし、アラーム記録は停止しません。

- ALARM CANCEL (7DH) [JVC-1]

アラームを解除し、アラーム記録を停止します。

- MENU BACK (7EH) [JVC-1]

1つ前のメニュー画面に戻します。トップメニュー画面表示時はメニュー画面が消えます。メニュー画面が非表示時はERROR (02H)を返します。

3. コマンド詳細（つづき）

3.2. 動作コマンド（つづき）

- TD SKIP FWD (90H) [JVC-1]
正方向にMENU設定時間×回数分ジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2桁で指定します。PB時のみ有効。(最大99回)

TXD 90H 3 H 3 H
RXD 0AH 0AH 0AH
- TD SKIP REV(91H) [JVC-1]
逆方向にMENU設定時間×回数分ジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2桁で指定します。PB時のみ有効。(最大99回)
- TD SEARCH(92H) [JVC-1]
指定日付位置にキューアップさせるコマンドです。日付は月日年時分を、数字コマンド、10桁で指定します。

月 日 年
TXD 92H 3 H 3 H 3 H 3 H 3 H
RXD 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH

時 分
TXD 3 H 3 H 3 H 3 H
RXD 0AH 0AH 0AH 0AH
- EVENT SKIP FWD (93H) [JVC-1]
正方向に×回数分イベント(一つの記録開始から終わりまでを1イベントとする)ジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2桁で指定します。PB時のみ有効。(最大10回)

TXD 93H 3 H 3 H
RXD 0AH 0AH 0AH
- EVENT SKIP REV(94H) [JVC-1]
逆方向に×回数分イベントジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2桁で指定します。PB時のみ有効。(最大10回)
- FF (ABH) [BASIC/JVC-1]
本機が再生メニュー表示時：最新画へ行き、STILLになります。
本機がPB時：スキップ設定に従い、正方向にアラーム/日時/イベントジャンプします。
- REW (ACH) [BASIC/JVC-1]
本機が再生メニュー表示時：最古画へ行き、STILLになります。

- 本機がPB時：スキップ設定に従い、逆方向にアラーム/日時/イベントジャンプします。
- FWD STEP (ADH) [BASIC/JVC-1]
STILLモードの時、正方向に約1フレーム進みSTILLモードになります。
他の再生モードからはSTILLモードになります。
 - REV STEP (AEH) [BASIC/JVC-1]
STILLモードの時、逆方向に約1フレーム進みSTILLモードになります。
他の再生モードからはSTILLモードになります。
 - ALARM FWD(BOH) [BASIC/JVC-1]
正方向に指定回数分先のアラームジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2桁で指定します。本機がPB時のみ使用可です。(最大10回)

TXD BOH 3 H 3 H
RXD 0AH 0AH 0AH
 - ALARM REV(B1H) [BASIC/JVC-1] (最大10回)
逆方向に指定回数分先のアラームジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2桁で指定します。本機がPB時のみ使用可です。(最大10回)
 - SHUTTLE FWD(B5H) [BASIC/JVC-1]
 - SHUTTLE REV(B6H) [BASIC/JVC-1]
シャトルFWD/REVモードになります。速度は(30-3AH)1桁で指定します。

TXD B5H 3 H
RXD 0AH 0AH

Data	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A
Speed	Still	30-	—	—	—	1	3	5	15	60	360

- OPE LOCK ON (COH) [JVC-1]
本機全てのオペレーションKey動作をロック状態とします。
ロックレベルはメニュー設定に従います。
- OPE LOCK OFF (C1H) [JVC-1]
オペレーションロック状態を解除します。
※ パスコード設定時はパスコード入力画面を表示します。RS-232Cからはパスコードの入力は行なえません。

3. コマンド詳細 (つづき)

3.2. 動作コマンド (つづき)

- REC (FAH CAH) [BASIC/JVC-1]
REC/DUB REQUEST(FAH)コマンドに続いてこのコマンドを送ることにより記録モードになります。但し、ループ記録OFFで残量が0の時はNAK(0BH)がリターンされます。
注意>REC/DUB REQUEST(FAH)コマンドは旧機種との互換性に必須です。

TXD FAH CAH
RXD 0AH 0AH

3.3. 設定コマンド

- SET (決定) (40H) [BASIC/JVC-1]:
122ページ「ENTER」参照
- DOWN (63H) [JVC-1]
- RIGHT (64H) [JVC-1]
- LEFT (68H) [JVC-1]
- UP (69H) [JVC-1]
タイマー PRG設定、アラームサーチ設定時に設定項目をシフトさせます。
メニュー表示時は、「UP」「DOWN」により選択項目をシフトさせます。
- Vol +, - (65H, 66H) [JVC-1]
設定値を+ (順方向)、- (逆方向) で変化させます。
- SEQ (6AH) [JVC-1]
モニター出力画面モードを変更します。
- MENU ON (6BH) [JVC-1]
メニュー表示を行ないます。
- MENU OFF (6CH) [JVC-1]
メニュー表示を消します。
- MENU ON/OFF (6DH) [JVC-1]
メニューの表示／非表示を切り換えます。
- ON SCREEN SELECT (74H) [JVC-1]

第1BYTE 第2BYTE
TXD 74H 00H
RXD 0AH 0AH

オンスクリーン表示内容を切り換えます。(ループ記録ON時はREMAIN表示しない)

第2 BYTE		
bit	ステータス	内容
7	1 / 0	記録停止通知 : 1(ON) / 0(OFF)
6	1 / 0	ワーニング表示 : 1(ON) / 0(OFF)
5	1 / 0	カメラタイトル表示 : 1(ON) / 0(OFF)
4	1 / 0	モード表示 : 1(ON) / 0(OFF)
3	1 / 0	残量表示 : 1(ON) / 0(OFF)
2	1 / 0	アラーム検出表示 : 1(ON) / 0(OFF)
1	1 / 0	アラームカウント表示 : 1(ON) / 0(OFF)
0	1 / 0	日付/時間表示 : 1(ON) / 0(OFF)

- CANCEL (76H)[JVC-1]
プログラムタイマー設定画面ではプログラムデータをキャンセルします。
- HDR PB CAMERA SET (86H) [JVC-1]
再生カメラを指定します。記録時はモニター出力カメラを指定します。
スポット出力モード時は、スポット出力側の出力カメラを指定します。

第1BYTE 第2BYTE 第3BYTE
TXD 86H 00H 00H
RXD 0AH 0AH 0AH

3. コマンド詳細（つづき）

3.3. 設定コマンド（つづき）

第2 BYTE		
bit	ステータス	内容
7～4	"3" 固定	
3～0	0 / 1 / 2	0 : FULL サイズ指定 / 1 : FULL サイズシーケンシャル表示
	3 / 4 / 5	2 : 4分割画面指定 / 3 : 4分割シーケンシャル表示
	6	5 : 6分割画面指定 / 6 : 9分割画面指定

- ※ 再生モード（記録同時再生も含む）時の、FULLサイズシーケンシャル表示、4分割シーケンシャル表示、6分割画面指定は無効。
- ※ FULLサイズシーケンシャル表示 ⇔ 4分割シーケンシャル表示の指定は無効。

第3 BYTE		
bit	ステータス	内容
7～4	"3" 固定	
3～0	8～0	第2BYTE : FULLサイズ指定時 8 : カメラ 9 指定 ～ 0 : カメラ 1 指定
		第2BYTE : 4分割画面指定時 2 : パターンC 1 : パターンB 0 : パターンA
		各設定に応じた数値以外は無効

- ※ 第2BYTE : FULLサイズシーケンシャル表示、4分割シーケンシャル表示、6分割画面、9分割画面指定では第3BYTEは無効です。
- DATE SET(8EH) [BASIC/JVC-1]
月、日、年を本機に設定します。
(NTPクライアント機能が有効な場合、および本機がREC状態の時は設定不可)

月 日 年

TXD 8EH 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H

RXD 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH
- TIME SET(8FH) [BASIC/JVC-1]
時、分、秒を本機に設定します。
(NTPクライアント機能が有効な場合、および本機がREC状態の時は設定不可)

時 分 秒

TXD 8FH 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H

RXD 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH 0AH
- MENU RESET (EFH) [JVC-1]
メニューの設定値を初期化します。
(本機がREC状態、およびオペレーションロック状態の時は不可)

3.4. SENSコマンド

- ROM VER (72H) [JVC-1]
RS-232Cのソフトウェアバージョンを返します。

TXD 72H

RXD 21H 01H 10H

↓ ↓ ↓

RS-232C VERSION を表示

上記の例は Ver1-10
- STATUS SENSE (D7H) [BASIC/JVC-1]
本機のステータスを10バイトで送り返します。

TXD D7H

RXD □□H □□H □□H □□H □□H

第1バイト 第2バイト 第3バイト 第10バイト

STATUS SENSE リターンデータ内容		
byte No.	bit No.	
		PB STATUS
1	bit 7	実行モード： 00H：PB STOP 01H：PLAY 02H：STILL 0BH：SHUTTLE FWD 0CH：SHUTTLE REV 0DH：JOG FWD 0EH：JOG REV
	bit 6	
	bit 5	
	bit 4	
	bit 3	
	bit 2	
	bit 1	
	bit 0	
		REC STATUS (カメラ1)
2	bit 7	バスコードエラーRec中、'1'を出力
	bit 6	Emergency Rec中、'1'を出力
	bit 5	Motion Rec中、'1'を出力
	bit 4	Normal Rec中、'1'を出力
	bit 3	Alarm Rec中、'1'を出力
	bit 2	(未定義)'0'を出力
	bit 1	PreAlarm Rec中、'1'を出力 ※
	bit 0	Time Rec中、'1'を出力
		REC STATUS (カメラ2～9)
3～10	bit7～0	2BYTE目と同じ内容(カメラ2～9)

- ※ PreAlarm Rec が設定されている場合は常に "1" を出力
- DATE SENSE (BEH) [BASIC/JVC-1]
現在設定されている本機内の月、日、年を返します。

TXD BEH

RXD 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H

月 日 年
- TIME SENSE (BFH) [BASIC/JVC-1]
現在設定されている本機内の時、分、秒を返します。

TXD BFH

RXD 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H 3□H

時 分 秒

3. コマンド詳細 (つづき)

3.4. SENSコマンド (つづき)

- DEVICE TYPE (D1H) [JVC-1]

接続されている機器が何かをアスキーコードで返します。

TXD D1H
RXD 35H 30H 39H 49H
5 0 9 1

- HOUR METER SENSE (D2H) [JVC-1]

HOUR METER(時間)を返します。

TXD D2H
RXD 30H 30H 30H 30H 30H 30H
6桁目 5桁目 4桁目 3桁目 2桁目 1桁目

- NETWORK SENSE (D3H) [JVC-1]

ネットワーク設定データを返します。

TXD D3H
RXD 00H 00H 00H 00H 00H
第1バイト 第2バイト 第3バイト 第33バイト

NETWORK SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
ホスト名		
1~16	bit 7~0	ホスト名 (1BYTE目~16BYTE目)
17	bit 7	未定義 ('0' 固定)
	bit 6	未定義 ('0' 固定)
	bit 5	未定義 ('0' 固定)
	bit 4	未定義 ('0' 固定)
	bit 3	未定義 ('0' 固定)
	bit 2	未定義 ('0' 固定)
	bit 1	設定方法: 00: 切 01: 固定 10: DHCP
	bit 0	
IPアドレス		
18から21	bit 7~0	IPアドレス値 (00H~FFH: 4BYTE)
ネットマスク		
22から25	bit 7~0	ネットマスクアドレス値 (00H~FFH: 4BYTE)
ゲートウェイ		
26から29	bit 7~0	ゲートウェイアドレス値 (00H~FFH: 4BYTE)
ネームサーバー		
30から33	bit 7~0	ネームサーバーアドレス値 (00H~FFH: 4BYTE)

- VR STATUS SENSE (D6H) [JVC-1]

本機関連ステータスデータを返します。

TXD D6H
RXD 00H 00H 00H 00H 00H
第1バイト 第2バイト 第3バイト 第8バイト

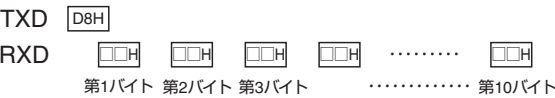
VR STATUS SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
オンスクリーン設定		
1	bit 7	記録停止通知表示 [入] で '1' を出力
	bit 6	ワーニング表示 [入] で '1' を出力
	bit 5	カメラタイトル表示 [入] で '1' を出力
	bit 4	モード表示 [入] で '1' を出力
	bit 3	残量表示 [入] で '1' を出力
	bit 2	アラーム検出表示 [入] で '1' を出力
	bit 1	アラームカウント表示 [入] で '1' を出力
	bit 0	日時表示 [入] で '1' を出力
ブザー設定		
2	bit 7	(未定義) '0' を出力
	bit 6	(未定義) '0' を出力
	bit 5	(未定義) '0' を出力
	bit 4	ボタン操作音 [入] で '1' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	(未定義) '0' を出力
	bit 1	HDDフルブザー設定 [入] で '1' を出力
	bit 0	アラームブザー設定 [入] で '1' を出力
ワーニングブザー設定		
3	bit 7	記録停止 [入] で '1' を出力
	bit 6	停電発生検出 [入] で '1' を出力
	bit 5	パスコード入力不適合 [入] で '1' を出力
	bit 4	ファンモーターエラー [入] で '1' を出力
	bit 3	ハードディスクエラー [入] で '1' を出力
	bit 2	ビデオロス [入] で '1' を出力
	bit 1	
	bit 0	ワーニングブザー設定: 00: 切 01: ユーザ 10: 全て
ブザー動作		
4	bit 7	記録停止ブザーON時、'1' を出力
	bit 6	停電発生検出ブザーON時、'1' を出力
	bit 5	パスコード入力不適合ブザーON時、'1' を出力
	bit 4	ファンモーターエラーブザーON時、'1' を出力
	bit 3	ハードディスクエラーブザーON時、'1' を出力
	bit 2	ビデオロスブザーON時、'1' を出力
	bit 1	HDDフルブザーON時、'1' を出力
	bit 0	アラームブザーON時、'1' を出力
ワーニング1/4		
5	bit 7	Codec1異常で '1' を出力
	bit 6	ファンモーター異常で '1' を出力
	bit 5	初期化動作異常で '1' を出力
	bit 4	EEPROM異常で '1' を出力
	bit 3	ミラーリング異常で '1' を出力
	bit 2	HDD残り僅かで '1' を出力
	bit 1	HDD FULLで '1' を出力
	bit 0	HDD異常で '1' を出力
ワーニング2/4		
6	bit 7	Ethernetアクセス不可で '1' を出力
	bit 6	ファームウェア更新異常で '1' を出力
	bit 5	Flashメモリ異常で '1' を出力
	bit 4	(未定義) '0' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	(未定義) '0' を出力
	bit 1	USB接続異常で '1' を出力
	bit 0	Codec2異常で '1' を出力
ワーニング3/4		
7	bit 7	カメラ 1: 入力異常で '1' を出力
	bit 6	カメラ 2: 入力異常で '1' を出力
	bit 5	カメラ 3: 入力異常で '1' を出力
	bit 4	カメラ 4: 入力異常で '1' を出力
	bit 3	カメラ 5: 入力異常で '1' を出力
	bit 2	カメラ 6: 入力異常で '1' を出力
	bit 1	カメラ 7: 入力異常で '1' を出力
	bit 0	カメラ 8: 入力異常で '1' を出力
ワーニング4/4		
8	bit 7	カメラ 9: 入力異常で '1' を出力
	bit 6	(未定義) '0' を出力
	bit 5	(未定義) '0' を出力
	bit 4	(未定義) '0' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	(未定義) '0' を出力
	bit 1	(未定義) '0' を出力
	bit 0	(未定義) '0' を出力

3. コマンド詳細（つづき）

3.4. SENSコマンド（つづき）

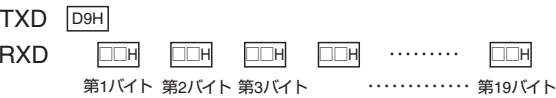
- REC MODE SENSE (D8H) [JVC-1]
入力記録設定ステータスデータを返します。
(現在の運用モードのステータス。タイマー時は通常モード時のステータス。)



REC MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1		入力記録設定（音声）
	bit 7	(未定義) '0' を出力
	bit 6	(未定義) '0' を出力
	bit 5	(未定義) '0' を出力
	bit 4	(未定義) '0' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	通常運用時の音声記録 [有効] で '1' を出力
	bit 1	音声記録 [有効] で '1' を出力
2	bit 0	記録画像モード：滑らか：'0' 高精細：'1'
		入力記録設定（カメラ 1）
	bit 7	(未定義) '0' を出力
	bit 6	通常運用：記録コマ数：
	bit 5	0000：1/10 0001：1/5 0010：1/2 0011：1 0100：2
	bit 4	0101：3 0110：6 0111：10 1000：15 1001：30
	bit 3	1111：NotRec
	bit 2	通常運用：記録画質： 00：L 01：B 10：N 11：H
3～10	bit 1	カメラ 1 [接続あり] で '1' を出力
	bit 0	カメラ 1 [接続あり] で '1' を出力
3～10	bit 7	入力記録設定（カメラ 2～9）
	bit 0	内容は2BYTE目と同じ

- ALARM MODE SENSE (D9H) [JVC-1]
アラーム記録設定ステータスデータを返します。
(現在の運用モードのステータス。タイマー時は通常モード時のステータス。)



ALARM MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1		アラーム記録設定（全般）
	bit 7	バスコード入力エラー時の記録時間：
	bit 6	00：NotRec 01：10秒 10：20秒 11：30秒
	bit 5	エマージェンシー検出時の記録時間：
	bit 4	000：NotRec 001：30秒 010：1分 011：5分 100：10分
	bit 3	101：20分 110：継続 111：マニュアル
	bit 2	アラーム記録時の音声記録 [有効] で '1' を出力
	bit 1	音声記録 [有効] で '1' を出力
2	bit 0	記録画像モード：滑らか：'0' 高精細：'1'
		アラーム記録 設定 1 / 2（カメラ 1）
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	アラーム記録：記録コマ数：
	bit 5	0011：1 0100：2 0101：3 0110：6 0111：10 1000：15
	bit 4	1001：30 1110：Auto 1111：NotRec
	bit 3	記録画質： 00：L 01：B 10：N 11：H
	bit 2	記録画質： 00：L 01：B 10：N 11：H
3	bit 1	記録画質： 00：L 01：B 10：N 11：H
	bit 0	未定義 '0' を出力
		アラーム記録 設定 2 / 2（カメラ 1）
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	記録時間：
	bit 4	000：10 001：15 010：30 011：60 100：180 101：300
	bit 3	110：マニュアル
4/6/,, /18	bit 2	プリセンサ記録時間： 00：10 01：30 10：60(秒) 11：[切]
	bit 1	プリアラーム記録 [有効] で '1' を出力
	bit 0	プリアラーム記録 [有効] で '1' を出力
		アラーム記録設定 1/2（カメラ 2～9）
	bit 7	内容は2BYTE目と同じ
	bit 0	内容は2BYTE目と同じ
		アラーム記録設定 2/2（カメラ 2～9）
	bit 7	内容は3BYTE目と同じ
5/7/,, /19	bit 0	内容は3BYTE目と同じ

3. コマンド詳細 (つづき)

3.4. SENSコマンド (つづき)

- VR MODE SENSE (DAH) [JVC-1]

動作設定ステータスデータを返します。



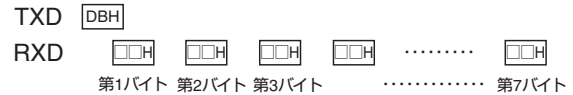
VR MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1	スキップ設定	
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	連続スキップ再生:
	bit 5	00: 切 01: 1秒 10: 5秒 11: 10秒
	bit 4	タイムジャンプ設定:
	bit 3	000: 1分 001: 5分 010: 10分 011: 30分 100: 1時間
	bit 2	101: 4時間 110: 1日 111: 1週間
	bit 1	スキップボタン設定:
2	bit 0	00: タイム 01: アラーム 10: イベント
	動作設定1/5	
	bit 7	ループ記録: (※)
	bit 6	00: 切 01: アラームロック 10: 全て 11: その他
	bit 5	オペレーションロック解除方法 [バスコード] で '1' を出力
	bit 4	オペレーションロック有効範囲:
	bit 3	00: 切 01: 記録停止禁止 10: 全て禁止 11: ユーザ設定
	bit 2	記録表示灯 [入] で '1' を出力
3	bit 1	停電復帰動作:
	bit 0	00: 切 01: 停電前保持 10: 強制記録
	動作設定2/5	
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	記録画像保存期間:
	bit 4	0000: 1日 0001: 3日 0010: 5日 0011: 1週間
	bit 3	0100: 2週間 0101: 3週間 0110: 1ヶ月 0111: 2ヶ月
4	bit 2	1000: 3ヶ月
	bit 1	ループ記録: (※)
	bit 0	00: 切 01: アラームロック 10: 全て 11: その他
	動作設定3/5 (オペレーションロック時の禁止項目)	
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	未定義 '0' を出力
	bit 4	運用操作 [入] で '1' を出力
5	bit 3	モニター切替 [入] で '1' を出力
	bit 2	設定変更 [入] で '1' を出力
	bit 1	再生 [入] で '1' を出力
	bit 0	記録停止 [入] で '1' を出力
	動作設定4/5	
	bit 7	音声2リンク先:
	bit 6	0000: 指定なし 0001: カメラ 1 0010: カメラ 2 0011: カメラ 3
6	bit 5	0100: カメラ 4 0101: カメラ 5 0110: カメラ 6 0111: カメラ 7
	bit 4	1000: カメラ 8 1001: カメラ 9
	bit 3	音声1リンク先:
	bit 2	0000: 指定なし 0001: カメラ 1 0010: カメラ 2 0011: カメラ 3
	bit 1	0100: カメラ 4 0101: カメラ 5 0110: カメラ 6 0111: カメラ 7
	bit 0	1000: カメラ 8 1001: カメラ 9
	動作設定5/5	
	bit 7	未定義 '0' を出力
7	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	ループ記録 (※)
	bit 4	00: その他 01: 1週間 10: 2週間 11: 1ヶ月
	bit 3	ミラーリング運用 [入] で '1' を出力
	bit 2	オートスキャンディスク [入] で '1' を出力
	bit 1	音声出力リンク指定選択以外:
	bit 0	00: 切 01: 音声1 10: 音声2

※ ループ記録は「2byte目bit7、6」または「3byte目bit1、0」と「6byte目bit5、4」の組み合わせで設定値(切/アラームロック/全て/1週間/2週間/1ヶ月)を表現しています。

- MONITOR MODE SENSE (DBH) [JVC-1]

モニター表示設定ステータスデータを返します。



MONITOR MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1	モニター表示設定1/11	
	bit 7	未定義 ('0' 固定)
	bit 6	未定義 ('0' 固定)
	bit 5	ボーダーカラー:
	bit 4	00: 黒 01: 暗い灰色 10: 灰色 11: 明るい灰色
	bit 3	VGA出力[有効]で '1' を出力
	bit 2	未定義 ('0' 固定)
	bit 1	アラーム検出表示:
2	bit 0	00: 切 01: 固定 10: シーケンシャル
	モニター表示設定2/7	
	bit 7	未定義 ('0' 固定)
	bit 6	未定義 ('0' 固定)
	bit 5	未定義 ('0' 固定)
	bit 4	未定義 ('0' 固定)
	bit 3	
	bit 2	4分割画面自動切替設定:
3	bit 1	0001: 1 0010: 2 0011: 3 0100: 5 0101: 10(秒)
	bit 0	
	モニター表示設定3/7	
	bit 7	
	bit 6	自動切替設定(カメラ2):
	bit 5	0000: 切 0001: 1 0010: 2 0011: 3
	bit 4	0100: 5 0101: 10(秒)
	bit 3	
4	bit 2	自動切替設定 (カメラ1):
	bit 1	0000: 切 0001: 1 0010: 2 0011: 3
	bit 0	0100: 5 0101: 10(秒)
	モニター表示設定4/7~6/7	
	4~6	bit7~0 3BYTE目と同じ内容(カメラ3~8)
	モニター表示設定7/7	
	bit 7	未定義 ('0' 固定)
7	bit 6	未定義 ('0' 固定)
	bit 5	未定義 ('0' 固定)
	bit 4	未定義 ('0' 固定)
	bit 3	
	bit 2	自動切替設定 (カメラ9):
	bit 1	0000: 切 0001: 1 0010: 2 0011: 3
	bit 0	0100: 5 0101: 10(秒)

3. コマンド詳細（つづき）

3.4. SENSコマンド（つづき）

- MOTION DETECT SENSE (DCH) [JVC-1]
動き検出設定ステータスデータを返します。
(現在の運用モードのステータス。タイマー時は通常モード時のステータス。)



MOTION DETECT SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1		モーションディテクト設定1／9
	bit 7	動作設定（カメラ1）：
	bit 6	00：切 01：入
		検出感度（カメラ1）：
	bit 5	00H：標準 01H：ユーザー 02H：出入口(高) 03H：出入口
	bit 4	(低) 04H：通路(高) 05H：通路(低) 06H：レジ(高) 07H：
	bit 3	レジ(低) 08H：ATM(高) 09H：ATM(低) 0AH：ロビー(高)
	bit 2	0BH：ロビー(低) 0CH：通用門(高) 0DH：通用門(低)
	bit 1	0EH：駐車場(高) 0FH：駐車場(低) 10H：低照度(高)
	bit 0	11H：低照度(低) 12H：エレベータ 13H：カウンタ
		モーションディテクト2／9～9／9
2～9	bit7～0	1 BYTE目と同じ内容(カメラ2～9)

- MONITOR OUT STATUS SENSE (DEH) [JVC-1]
モニター出力ステータスデータを返します。
- TXD DEH
- RXD

7	6	5	4	3	2	1	0
0:Live	分割モード ※			カメラ番号 ※			
1:PLAY							

- ※ 分割モード
000：9分割、001：4分割-A、010：4分割-B、
011：4分割-C、101：6分割、110：単画面
- ※ カメラ番号
単画面モニター中は、該当のカメラ番号を表す。(1～9)
分割モニター中は、画面左上のカメラ番号を表す。

- MAC SENSE (FCH) [JVC-1]
MACアドレス(6byte)を取得します。
- TXD FCH
- RXD
- 第1バイト 第2バイト 第3バイト 第4バイト 第5バイト 第6バイト

3.5. その他

- Data"0"～"9" (30H～39H) [BASIC/JVC-1]
数字入力に使用します。
- ENTER (40H) [BASIC/JVC-1]
数字コマンドを全て送り終えた後に入力エンドマークとしてこのコマンドを使います。また、フロントパネルの[決定]ボタンと同じ動作を行ないます。
- CLEAR ERROR (41H) [BASIC/JVC-1]
最後に入力した（転送した）数字コマンドを1コマンド分だけ取り消します。または、エラー状態を解除します。
- CLEAR (56H) [BASIC/JVC-1]
現在のモードを解除し、また、エラー状態も解除します。このコマンドを受信後は、再び新たなコマンドを受信可能とします。
- ACTIVE SENSE (DFH) [JVC-1]
ACKを返します。(接続されている機器が、正常動作中であることを調べるためのコマンドです。)
- JVC TABLE 1 ON (F6H) [BASIC/JVC-1]
JVC TABLE 1を有効にする為のコマンドです。一度設定すると、F7Hを出力するまではJVC TABLE 1を持続します。
- BASIC TABLE ON (F7H) [BASIC/JVC-1]
BASIC TABLEをONする為のコマンドです。
- REC/DUB REQUEST (FAH) [BASIC/JVC-1]
RECコマンドを送るとき、このコマンドを前もって送る必要があります。
- VTR/HDR INQ (FBH) [BASIC/JVC-1]
ACKを返します。(接続されている機器が、本機であることを調べるためのコマンドです。)

ご注意
本機にエラーが発生して、ワーニングモードになったときのワーニング解除は、電源OFF-ONでのみ可能です。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

2. 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

3. 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

4. アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

● 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

- ハードディスクレコーダー
VR-509NまたはVR-509BN
- お名前とおところ
- 電話番号
- 故障症状（詳しく）

5. 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は、保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
ハードディスクドライブ	10,000時間のご使用を目安にメンテナンスしてください。
ファンユニット	30,000時間のご使用を目安にメンテナンスしてください。

- メンテナンス時間は、25℃環境で使用した時の目安であり、使用環境により異なります。
- メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または別紙のサービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口へお願いします。

6. 廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

その他

仕様

<一般>

画像圧縮：	MPEG-2（準拠）
記録容量：	160 GB × 2（VR-509N） 250 GB × 2（VR-509BN）
インターフェース：	RS-232C SERIAL LAN
電源：	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力：	55 W
許容動作温度範囲：	5℃～40℃
許容保存温度範囲：	－20℃～60℃
許容動作湿度範囲：	30％～80％
質量：	約6.0 kg

<映像信号系>

映像入力：	1.0 V（p-p）、 75 Ω（BNC不平衡） 9系統（非同期入力対応）
映像出力：	1.0 V（p-p）、 75 Ω（BNC不平衡） スルー 9系統 ビデオ出力×2系統 （前面×1、背面×1） スポット出力×1系統
有効画素数：	720×240（高精細モード） 352×240（滑らかモード）

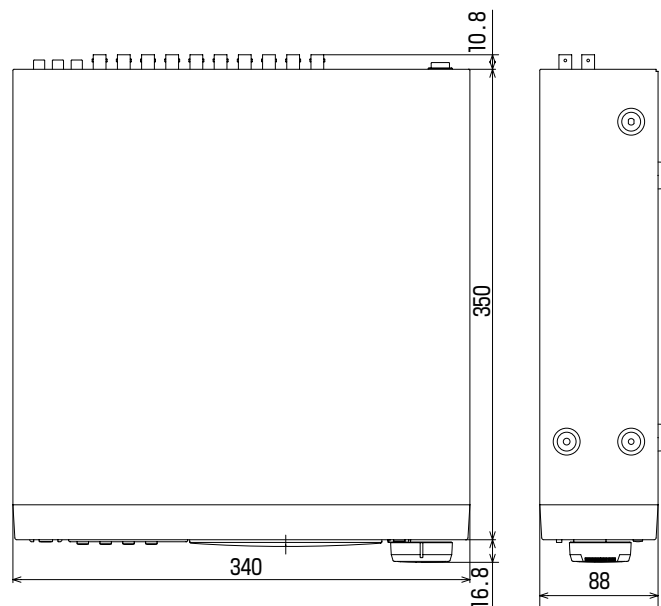
<音声信号系>

音声入力：	2系統
音声出力：	2系統（前面×1、背面×1）
ライン入力レベル：	－8 dBs、50 kΩ（不平衡）
ライン出力レベル：	－8 dBs、1 kΩ（不平衡）
周波数特性：	100 Hz ～ 10 kHz
音声記録方式：	PCM方式 （8 bit 12 kHz サンプリング）

<付属品>

取扱説明書	× 1
保証書	× 1
安全上のご注意	× 1
ビクターサービス窓口	× 1
電源コード（2 m）	× 1
縦置スタンド	× 2

<外観図>



[単位：mm]

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

索引

あ

アラーム	
アラーム端子設定	33
アラーム記録設定	34
アラーム検索	42
アラームリストを消去する	54
動き検出	35
エマージェンシー記録	28
オペレーションロック	49
オンスクリーン表示	46

か

各部の名称とはたらき	8
カメラ台数の変更	30
カメラタイトル	47
基本設定	18
記録	
記録の種類	26
VR-509N：HDD記録時間表	106
VR-509BN：HDD記録時間表	108
アラーム記録	32
通常記録	29

さ

再生	
記録同時再生	40
ジョグ・シャトル	43
スキップ再生	44
分割画面	41
時刻設定	17

た

タイマー	
週間タイマー設定	38
日付指定タイマー設定	39
正しくお使いいただくためのご注意	6
トラブル時の対応	92
取扱説明書の見かた	5

な

日時検索	43
------------	----

は

ハードディスク	
オートスキャンディスク	51
データベースの再構築	52
マニュアルスキャンディスク	51
ミラーリング	53
ハードディスクの初期化	52
ハードディスクの増設	111
パソコン	
設定のダウンロード	74
設定のアップロード	75
パソコンでライブ画を見る	64
パソコンで再生画を見る	68
パソコンで記録予約する	65
メール発報	72
NTPサーバーで時刻を合わせる	73
非表示カメラ	25
フラッシュメモリ	
設定データをフラッシュメモリに保存する	58
設定データをフラッシュメモリから読み込む	58
プリアラーム記録	34, 101
分割画面	20, 41
保存期間指定ループ記録	18, 31, 100

ま

メニュー	
メニュー画面の操作方法	16
メニューの流れ	82
メニュー 一覧	86

ら

ライブ映像	
シーケンシャル	20, 22
分割画面	20, 21
ループ記録	18, 31, 100

アルファベット

LAN	60
Webブラウザ用語解説	98

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950【代表】

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (042) 660-7245